

年 報

2024 年度（令和 6 年度）

No.27

長野県立歴史館

目 次

概 要

I 沿 革	1
1 開館までの歩み	
2 開館後の歩み	
II 機能・組織・運営	10
1 機 能	
2 組織と分掌	
3 運 営	
4 関係法規	
III 施 設	18
1 平面図	
2 諸 室	

事 業

I 令和6年度の主な事業実績	20
II 展 示	21
1 常設展示	
2 企画展示等	
III 教育普及公開	38
1 学校・団体見学 実施記録	
2 企画展関連講演会等	
3 講 座	
4 考古学セミナー	
5 近世史セミナー	
6 講習会	
7 イベント	
8 展示解説	
9 学校との連携	
10 博物館実習	
11 インターンシップ	
12 職場体験学習	
13 サークル育成活動	
14 ボランティア活動	
15 博物館関係職員等研修会	
16 出前講座	

IV 共催事業等	57
V 出版	58
1 長野県立歴史館たより	
2 研究紀要	
3 その他	
VI 閲覧・情報提供	60
1 図書等資料	
2 情報提供	
VII 調査研究	61
1 調査研究の体制と内容	
2 学芸研究会	
3 時代別研究会	
VIII 資料の収集・整理・保存	63
1 資料収集の方針	
2 展示資料	
3 考古資料	
4 文献史料	
IX 広報	69
1 広告・案内	
2 記事・報道	
資料	
I 資料利用	75
II 閲覧利用・情報利用	75
III 利用者	75
IV 収蔵史資料数	79
日誌	81

一 概 要 一

Ⅰ 沿 革

1 開館までの歩み

- 1988年（昭和63）4月……「第二次長野県総合5か年計画」で、「埋蔵文化財、重要な史資料の展示、保存、研究等機能を備えた施設を新設」する方針を決定
6月……「文化財に関する施設建設基本構想懇話会」（県内外の学識経験者12名）を設置
1989年（平成元）7月……懇話会が報告書を提出
1990年（平成2）10月……「県立歴史館（仮称）建設委員会」を設置
1990年（平成2）11月……建設基本構想骨子決定
1991年（平成3）4月……開館準備専任職員配置
1991年（平成3）5月……「県立歴史館（仮称）専門委員会」を設置
1992年（平成4）9月24日…起工式
1994年（平成6）5月……建設工事完成
1994年（平成6）8月……展示工事完成
1994年（平成6）11月03日…開館

2 開館後の歩み

1994（平成6）年度

- 11月 開館記念企画展「赤い土器のクニ」（共催）
11月 資料寄贈者などへの感謝状を贈呈

1995（平成7）年度

- やさしい信濃の歴史学習会、考古資料講座、古文書講座、考古資料保存処理講習会、文献史料保存活用講習会を年間計画に基づいて開催。常設展示のローテーション展示替え実施。また市町村発掘担当者研修会を実施（共催）。
7月 夏季企画展「絵図にみる信濃－江戸時代の村や町－」
8月 特別展示「終戦日8月15日と長野県民」
10月 秋季企画展「信濃における戦国争乱の世界」

1996（平成8）年度

- 新たに歴史館セミナーを年2回開催。7月に博物館実習を初めて実施。
7月 夏季企画展「縄文人の一生－北村遺跡に生きた人びと－」
10月 秋季企画展「木簡が語る古代の信濃－掘り出された地方行政と暮らし－」

1997年1月 館蔵品展

1997（平成9）年度

- 9月に館燻蒸を初めて実施。
7月 夏季企画展「殖産興業と万国博覧会－明治期における長野県と世界の交流－」
8月 長野県立歴史館ホームページ開設
10月 秋季企画展「長野県にみる世界の文化－シルクの歴史と文化－」

1998年1月 館蔵品展

- 3月 皇太子・皇太子妃両殿下行啓

1998（平成10）年度

- 古文書講座を入門講座と解説講座とに分けて実施。また新たに地域セミナーを始め、6月に飯田・下伊那セミナーを実施。
6月 屋代木簡特別展示
7月 夏季企画展「古代シナノの武器と馬具－古墳時代の武人のすがた－」
10月 秋季企画展「諏訪信仰の祭りと文化」。御柱をエントランスに展示開始。

1999年2月 長野県考古資料速報展「新発見・信州話題の考古資料」

1999（平成11）年度

- やさしい信濃の歴史学習会を「やさしい信濃の歴史講座」、考古資料講座を「考古学講座」に改称。
歴史館セミナーを年3回実施。

- 4月 館蔵品展
- 6月 佐久セミナー
- 7月 開館五周年特別展「信濃名宝展－鎌倉時代の文化財－」
- 10月 秋季企画展「蘭学万華鏡－江戸時代 信濃の科学技術－」
- 11月 開館5周年記念式典挙行

2000年1月 考古資料特別公開「躍動する縄文土器・里帰りした信州の出土品－重文新指定御代田町川原田遺跡出土品とその周辺－」

2000(平成12)年度

西暦2000年に合わせて、20世紀の長野県の歴史をふり返る特別展を企画

- 7月 木曾セミナー
- 7月 夏季企画展「千曲川歴史紀行－ともに生きた人びとの記録－」
- 10月 秋季企画展「歴史の宝庫 秋葉みち－信遠古道をたどる－」
- 12月 長野県人権啓発センター開所(講堂棟)
- 2001年1月 長野県の20世紀展「信州に生きた20世紀の女たち」
- 3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2000」(共催事業)
- 3月 ホームページ全面更新 独自ドメイン(www.npmh.net)取得

2001(平成13)年度

- 5月 館蔵品展「屏風の世界」
- 7月 夏季企画展「阿久遺跡と縄文人の世界」諏訪セミナー
- 10月 秋季企画展「文人墨客がつどう－十九世紀北信濃の文芸ネットワーク－」
- 2002年1月 特別公開「雛人形と雛道具『天下の糸平』田中家コレクション」
- 3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2001」(共催事業)

2002(平成14)年度

- 5月 テーマ展「北村縄文人の時代－仮面土偶をつくった人びと－」
- 7月 夏季企画展「世界と地域を見つめた長野県教育－信山育材－」北安曇セミナー
- 10月 秋季企画展「開設四百年 中山道－信濃二十六宿と間宿－」
- 2003年1月 特別公開「雛人形と雛道具－田中平八コレクションと北信濃の雛人形－」
- 3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2002」(共催事業)

2003(平成15)年度

夏休み中、7月19日～8月24日の間、体験講座「石のアクセサリーに挑戦」を毎日実施した。講座開設に際して、当館として初めてボランティアを受け入れた。その後、「ヒロシマ・ナガサキ巡回原爆展」の折り鶴、「雛人形と雛道具展」のお雛様作り、および赤外線カメラの解説にボランティアを受け入れた。また一階エントランスに簡易展示コーナーを設置した。入館者数は4000人ほど前年度を上回り、3年連続の増加となった。

- 5月 テーマ展「おらが善光寺さん－秘仏の寺ものがたり－」
- 7月 夏季企画展「SOS ふるさとの文化財をすくえ－伝えたい古人の心と技－」上伊那セミナー
- 9月 秋季企画展「もみじ 夕焼け 里の秋－唱歌・童謡のふるさと信州－」同時開催「ヒロシマ・ナガサキ巡回原爆展－風化させてはならない歴史－」
- 2004年1月 特別公開「重要文化財 神子柴遺跡の石器群－石の時代の槍と斧－」
- 同時公開「雛人形と雛道具－子どもの祝い－」
- 3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2003」(共催事業)

2004(平成16)年度

開館10周年の節目の年に当たり、総入館者数100万人を突破した。企画展では開館以来初めて年間を通じたテーマ(「人と物の交流」)を設定し、秋季展では入場者数1万人を越えるなど健闘した。夏季展では善光寺道ウォーキング、秋季企画展ではドングリゴマづくり、冬季展では折雛づくりなど参加型活動を模索した年でもあった。民話データベースの公開、小・中生向けの調べ学習対応の図書を配備した。

- 5月 春季展「神がみへの願い 人びとの祈り－古代のまつり－」
- 7月 開館10周年記念式典夏季展「善光寺道－街道を行き来した人・物・文化－」
- 松本セミナー「松本地域の歴史と風土」
- 10月 秋季展「中世信濃武士意外伝－義仲から幸村まで－」
- 2005年1月 新春特別公開「新春屏風絵図展」
- 冬季展「天下の糸平ゆかりの雛人形－横浜を目指した信州の生糸商人たち－」

3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘 2004」(共催事業)

2005(平成17)年度

運営管理について、4月1日より、長野県文化振興事業団から長野県教育委員会に直営化された。

企画展では、親しみやすさやわかりやすさを追求し、館職員による博物館ミュージカルに挑戦したり、県下に伝わる人形芝居の公演を行ったりした。また、時宜に適した企画として六角木幢展を実施したほか、森將軍塚まつりなどをとおして地域社会との連携を積極的に進めた。更には、学校教育や社会教育との連携も拡大し、総合的な学習の時間や公民館講座などの様々な学習活動へ職員を派遣するなどした。

5月 春季特別展「里帰りした赤羽刀-GHQ 接收刀剣の輝き」

7月 夏季企画展「地下4mの「縄文伝説」-屋代遺跡群 愛と出会いの4千年-」飯山公開講座「善光寺地震における飯山の被害状況」ほか

10月 秋季企画展「信州舞台物語-団十郎も須磨子もやってきた」

11月 特別公開「六角木幢-極楽浄土への道しるべ」(共催事業)

2006年1月 特別公開「雛人形と雛道具-身だしなみとよそおい」

3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘 2006」(共催事業)

2006(平成18)年度

県教委の直営となった2年目は、年間通じて入館者を確保するために、企画展示室をフル活用して年5回の企画展を実施し、特に指定文化財と館蔵品公開を目的にした「信州の歴史遺産Ⅰ」を初めて開催した。学校や社会教育との連携を深めて出前授業や講演を行い、県外学校の団体向けの旅行業者はじめ、県内に宿泊施設のある千代田区・大田区・渋谷区・板橋区・練馬区・江戸川区・西東京市・八王子市・武蔵野市・三鷹市・府中市の教育委員会に対して広報活動をおこなった。こうした努力の積み重ねによって、開館2年目(平成7年度)の13万人に次ぐ112,230人を記録することができた。

5月 春季展「古瓦からみた信濃の古代-神津猛・米山一政資料を中心に」

7月 夏季企画展「幕末の信州-時代を駆けた草莽たち」

9月 秋季企画展「戦時下の子どもたち-信州の十五年戦争」

11月 「信州の歴史遺産Ⅰ-新指定長野県宝と歴史館のお宝」

2007年1月 冬季展「信濃の人形-いのりと願い」

3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘 2007」(共催事業)

2007(平成19)年度

展示スペースを工夫拡大し、全国的規模の展示である文化庁巡回展「発掘された日本列島 2007-新発見考古資料速報展」を初めて開催した。3月の埋蔵文化財センター速報展では歴史的発見である中野市柳沢遺跡出土の銅鐸・銅戈を展示する事ができた。企画展示の充実や県内外の学校との連携、地域への出前講座などを更に進め、開館2年目に次ぐ117,236人の入館者を記録する事ができた。

5月 春季展「埋もれていた信州遺産の発見-長野県埋蔵文化財センター25年の歩みから」

7月 夏季展「絵地図の魅力-私の城下町」

9月 文化庁巡回展「発掘された日本列島 2007-新発見考古資料速報展」

10月 秋季企画展「武田・上杉・信濃武士」前期・後期

2008年1月 冬季展「信濃の人形展-雛人形と郷土の人形」

3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘 2008」(共催事業)

2008(平成20)年度

春季の「うつわは語る」展、夏季の「大庄屋って何?」展、秋季の「よみがえる氷河時代の狩人」展、冬季の「信州の歴史遺産Ⅱ」展の展覧会を実施するとともに、学校見学への対応、一般来館者に対する体験学習(勾玉づくり)の実施、出前講座の実施など、展示以外の諸行事にも全力をあげた年であった。特に冬期間の自主事業「信州ふれあい歴史講座」は盛況で、歴史館に対する期待をひしひしと感ずることができた。

5月 春季展「うつわは語る -縄文から近世まで」

7月 夏季企画展「大庄屋って何? -安曇郡・清水家文書の350年」

9月 秋季企画展「よみがえる氷河時代の狩人」

12月 冬季展「信州の歴史遺産Ⅱ -長野県宝と歴史館のお宝」

2009年3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘 2009」(共催事業)

2009(平成21)年度

開館15周年と信濃史料刊行40周年の年に当たり、信濃毎日新聞社等との共催でアーカイブをテーマとした夏季展を実施した。南信地域の県民に当館講座の受講機会を提供することを目的に、飯田市美術館を会場に2回の公開講座を実施した。

- 4月 春季企画展「善光寺信仰―流転と遍歴の動化―」
- 8月 夏季展「信州 知の遺産の系譜―歴史を記録した先人たち―」
- 9月 秋季企画展「山を越え川に沿う―信州弥生文化の確立―」
- 12月 冬季展「信州の歴史遺産Ⅲ―諏訪地域の‘いのり’と‘まつり’―」

2010年3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘 2010」（共催事業）

2010(平成22)年度

今年度からの5ヵ年計画として、当館の中期目標を策定した。ひめゆり平和祈念資料館・朝日新聞社と共催で春季企画展を開催した。外部団体との本格的な共催は当館初の企画である。当館が収蔵している信濃町日向林B遺跡遺物が重要文化財指定を受けた。

- 5月 春季企画展「ひめゆり 平和への祈り〔沖縄戦から65年〕」
- 7月 夏季展「あの世への想い―日本人はどのように埋葬されてきたか―」
- 9月 秋季企画展「東の牛伏寺 西の若澤寺―古代に創建された松本平の二つの寺院―」
- 12月 冬季展「信州の歴史遺産Ⅳ―文字のちから 墨書土器から新聞の時代まで―」

2011年3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘 2011」（共催事業）

2011(平成23)年度

利用者の目線に立ち「元気に・明るく・楽しく」をモットーに利用者サービスに徹することを掲げた。館蔵品を中心とした企画展・季節展に取り組んだ。外部団体との連携にも意欲的に取り組み、八十二文化財団との共催事業「大人の遠足」を実施するとともに、信州大学との連携に関する覚書を締結した。

- 5月 春季展「武士の家宝―かたりつがれた御家の由緒―」
- 7月 夏季企画展「激動を生きぬく―信濃武士市河氏の400年―」
- 9月 秋季企画展「観光地の描き方―浮世絵版画から観光パンフレットまで―」
- 12月 冬季展「信州の歴史遺産Ⅴ―郷土のお宝『重文・県宝』を見よう―」

2012年3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘 2012」（共催事業）

2012(平成24)年度

利用者目線に立ち、引き続き利用者サービスに徹することに力を入れた。企画展示では、年度前半は昭和戦前期に焦点を当てた展示・講座を実施した。後半では長野県の縄文土器の優品をはじめ一堂に会する展示を行い、縄文土器の世界を広げた。中期目標に基づく博物館評価のあり方について検討し、本格実施に備えた。外部団体との連携では、新たに長野県カルチャーセンターとの連携企画を行い、「信濃史料」に関する東京大学史料編纂所との共同研究も行った。

- 5月 春季企画展「長野県の満洲移民―三つの大日向をたどる―」
- 7月 夏季展「戦争と宣伝 阿智村ポスターが語る」
- 9月 秋季企画展「縄文土器展」：前期展「八ヶ岳山麓の名作」 後期展「千曲川流域、土器1万年の旅」

2013年1月 冬季展「愛娘の調度品―姫君様の婚礼道具から雛人形まで―」

3月 埋蔵文化財センター30周年企画展「掘ってわかった信州の歴史 長野県の遺跡発掘 2013」（共催事業）

2013(平成25)年度

利用者の立場に立って、心が通って楽しく、発見のある内容とサービスに力点を置いた。夏季企画展では、「信州の野球史」を取り上げた。スポーツに関する初めての企画ということもあり、全国からの観覧者があった。秋季企画展の「刃が語る信濃」については、一般にはなじみのない刀剣の展示であったが、関心のある方は何回も熱心に来場された。冬季展「山国の水害」では、戊の満水と善光寺地震を取り上げたところ、災害に関する関心度が高く好評だった。

- 4月 天皇・皇后両陛下下行幸啓
- 6月 夏季企画展「信州の野球史―大正から昭和初期にかけて全国屈指の強さを誇った中等学校野球―」
- 9月 秋季企画展「刃が語る信濃―武器、象徴、そして芸術へ―」
- 11月 冬季展「山国の水害―戊の満水と善光寺地震―」

2014年2月 館蔵品展「戦前の観光信州―パンフレットでたどる昭和初期の鉄道・山岳・温泉―」

3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘 2014」（共催事業）

2014(平成26)年度

利用者の立場に立って、学術的である上、県民の関心をそそる内容とサービスに力点を置いた。館蔵品展では「歴史に煌めく日本の美―信濃の歴史を彩る名品たち―」ということで歴史館の優品を展示した。夏季展では、信州山の日制定に伴い「山とともに生きる」と題して、県内の山関係の展示を行った。秋季企画展の「信濃武士の決断」については、戦国時代の信濃武士の生き様について展示をした。冬季展「縄文土器

展」縄文中期の展示で評判になった。春季企画展では、「山と海の回廊をゆく」と題して、北陸新幹線延伸に伴うタイムリーな企画で関心度が高く好評だった。

6月 館蔵品展「歴史に煌めく日本の美—信濃の歴史を彩る名品たち—」

7月 夏季展「山とともに生きる—「信州山の日」制定を記念して—」

9月 秋季企画展「信濃武士の決断—信長・秀吉・家康の時代—」

11月 冬季展「縄文土器展—デコボコかざりのはじまり—」

2015年2月 春季企画展「山と海の廻廊をゆく—信濃と北陸をつなぐ道—」

2015(平成27)年度

利用者目線に立つとともに、学術的には未開拓分野の研究を深め、その成果を展示した。また、市町村や民間の団体の協力を得た成果を発表する展示をおこなった。「長野県の遺跡発掘2015」は、長野県埋蔵文化財センター、市町村教育委員会の協力を得て当館が主催し長野県の最新の発掘成果を展示する初めての試みであった。戦後70年企画「長野県民の1945—疎開・動員体験と上原良司—」は戦後70年を経、戦争体験の風化、体験の継承の難しさが指摘されていることに鑑み、1945年当時の長野県民の戦争体験を長野空襲、動員、疎開、上原良司などを切り口に取り上げた。戦争体験者から体験を聞く証言会や、長野県内の市町村等が編集した戦争体験証言集を収集した。アメリカ軍資料、上原良司関係資料など新資料の掘り起こしをおこなった。タイムリーな企画として好評であった。秋季企画展「樹木と人の交渉史」は当館が継続して取り組んでいる木製品保存処理作業の成果を、「樹木と人の関わり」の観点で展示した。旧石器時代から近世までを生業・信仰などに係わる資料で展示した。館全体を展示スペースと位置づける新しい試みをおこなった。冬季展「地図の明治維新—残された明治初期の町村地図—」は、当館が収蔵する絵図地図約2700点の中から皇国地誌作成にあたって付図として作成されたと考えられる明治初期の絵図地図についての研究成果の展示であった。平成26年度よりおこなっている長野県測量設計業協会との共同研究「長野県絵図地図研究会」の成果をベースとした館蔵品展であったが、県下各地域の絵図地図を展示したことで全县から見学者が訪れ好評であった。

5月 「長野県の遺跡発掘2015」

7月 戦後70年企画「長野県民の1945—疎開・動員体験と上原良司—」

10月 秋季企画展「樹木と人の交渉史—発掘された木製品、樹木信仰にみる3万年の歴史—」

12月 冬季展「地図の明治維新—残された明治初期の町村地図—」

2016年3月 「長野県の遺跡発掘2016」

2016(平成28)年度

笹本正治館長を迎え、「県民のための歴史館」を目標に、多方面にわたって積極的に広報活動をおこなった。6月には真田氏を取り上げた館主催の連続講座「歴史館ふるさと講座 in 千曲」(5回)を実施、延べ600人の聴講者があった。8月には戦争と平和を考える連続講座「歴史館から考える戦争と平和」(4回)を開催、同様多数の聴講者があった。平成29年1月には長野県ケーブルテレビジョンとの連携協定に調印、情報発信力の強化を図った。

平成28年巡回展・埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2016」は従来の伊那・安曇野2会場に加え、佐久会場(佐久市近代美術館)での開催を実施した。

企画展示では秋季企画展で木曽地域の歴史を取り上げた。同時期に木曽が日本遺産登録を受けたことで、タイムリーな企画となった。木曽馬や木曽各地の民俗芸能を歴史館に招いたほか、常設展示の各時代にも木曽関連展示コーナーを設けるなど、積極的に木曽文化の発信を図った。

冬季展「信濃国の城と城下町—発掘調査が謎を解く—」は、県内市町村教育委員会との共同研究の成果を発表したものである。

出前講座は121回、9300人ほどが聴講した。昨年の年74回、4300人に比べほぼ倍増であった。

「やさしい信濃の歴史講座」の出前は従来の上田・松本に加え、箕輪で実施した。

平成31年度の「開館25年」に合わせて課題の洗い出しが行われ、常設展示のなかに小学生向けの近現代コーナーを設置する方針が決定した。次年度検討を行うこととなった。また、本年度は長野県にとっては「信州学」元年であり、高校生向けの教材も作成された。当館としても歴史を基礎とするオリジナルな信州学テキストの刊行を計画、次年度に編集・刊行を行うこととした。

ブックレットは「水」とテーマとした。

「開館25年」記念展示として、国宝土偶を一堂に展示する企画が立案され、準備に入った。

老朽化した施設の修繕として、屋根防水改修、講堂の空調改修を行った。

3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2016」

7月 夏季企画展「夢をのせた信州の鉄道—失われた鉄道の軌跡—」

9月 秋季企画展「木曽の宝—文化の十字路—」

12月 冬季展「信濃国の城と城下町ー発掘調査が謎を解くー」

2017年3月 「長野県の遺跡発掘 2017」

2017(平成29)年度

平成28年度同様「県民のための歴史館」を目標に、多方面にわたって積極的に広報活動をおこなった。6月から7月には信州の災害史を取り上げた館主催の連続講座「自然と向かい合いくらしを築く」(5回)を実施、延べ900人近い聴講者があった。講座の様子は長野県ケーブルテレビジョンで配信された。

長野県・長野県教育委員会・(一社)長野県環境保全協会等で実行委員会を構成する「信州環境フェア 2017」(7/29・30 於ビックハット)に参加し「戌の満水」の展示を行った。

平成29年巡回展「長野県の遺跡発掘 2017」は昨年に続き伊那(伊那文化会館)・安曇野(豊科郷土資料館)・佐久(浅間縄文ミュージアム)で実施した。

企画展示では、夏季企画展「長野県誕生！ー公文書・古文書から読みとくー」で長野県の明治維新の歴史を取り上げた。当館が所蔵する豊富な行政文書を核にすえた展示であったが、幕末の混乱期から長野県が成立する明治初期を詳細に辿る企画であったが、期間中に図録が完売するなど、高い評価を受けた。オープニングセレモニーには阿部守一長野県知事が出席した。

秋季企画展「進化する縄文土器～流れるもようと区画もよう～」は、平成26年度冬季展「縄文土器展～デコボコかざりのはじまり～」に続くもので、縄文時代中期中葉のなかごろ(約5,300～5,100年前)における縄文土器の飛躍的な進化を取り上げた。図録は館内のみでなく、信毎書籍出版センターから刊行された。

冬季展「田中芳男ー「虫捕御用」の明治維新」は、飯田出身で「日本における博物館の父」と呼ばれる田中芳男の生涯と業績を取り上げた。昨年度秋季企画展での木曽地域との連携同様、この展示では飯田市および飯田市美術館との連携に努めた。オープニングセレモニーには太田寛長野県副知事、牧野光朗飯田市長、上岡美保東京農業大学「食と農」の博物館副館長が出席した。

この展示は歴史館としては初めて特定の人物を取り上げたものであったが、多くの共感を得ることができた。

出前講座は123回、8600人ほどが聴講した。昨年とほぼ同数であった。

「やさしい信濃の歴史講座」の出前は従来の上田・松本、箕輪に加え諏訪で実施した。

館運営に企業等の賛助を得る「歴史館パートナーの日」を初めて実施した。南信に拠点をおくKOA株式会社の協賛を受け12月16日(土)を「KOAの日」と命名、入館無料とした。約500人が来館した。バックヤード探検、新購入史料(「きそのぐわんしょ」)の公開、プラ板作りなどのイベントを実施した。

文献史料課では8月に新規事業として「ティーンズ古文書講座」を実施した。4日(2.5時間×4日)、中学生から大学生まで19人の参加があった。若年層向けの古文書講座は全国でもまれで、マスコミにも取り上げられた。次年度も継続することとなった。

歴史館版信州学テキスト(『日常生活からひもとく信州』)を信濃毎日新聞社より刊行した。全4巻を予定し、今回は「信州を学ぶ◎足元を探る編」をテーマに、衣食住を特集した。

親子ふれあいコーナーのコンセプトについて検討を行った。

ブックレットは「道」をテーマとした。

3月 巡回展「長野県の遺跡発掘 2017」

7月 夏季企画展「長野県誕生！ー公文書・古文書から読みとくー」

9月 秋季企画展「縄文土器展Ⅱ 進化する縄文土器～流れるもようと区画もよう～」

12月 冬季展「田中芳男ー「虫捕御用」の明治維新」

2018年3月 「長野県の遺跡発掘 2018」

2018(平成30)年度

「県民により必要とされ、愛される歴史館」を目指して積極的に活動をおこなった。他館との連携強化にむけて、山梨県立博物館と他県博物館と初めてとなる連携協定を10月26日に締結した。

巡回展「長野県の遺跡発掘 2018」は歴史館の他、県内3箇所で開催した。企画展については、それぞれ独自の視点から展示を行い好評であった。また、ミニ展示として、5月に『県歌50年』作詞家「浅井湧の書を見る」、6月に『信州の「野球史」夏』を行い、タイムリーな企画となった。講座については、信州学講座として歴史館で9回、出前講座として上田・箕輪・諏訪・松本・飯田の5箇所で開催した。

館運営に企業の賛助を得る「歴史館パートナーの日」を昨年のKOA株式会社に加え、長野都市ガスの協賛を受け、入館無料として実施した。

歴史館版信州学テキスト第2巻『広い世界とつながる信州』を信濃毎日新聞社より刊行した。

外壁工事のため7月30日～9月14日の期間が休館となった。また、講堂の天井改修工事のため11月4日～3月31日の期間が講堂使用不可となった。

- 3月 巡回展「長野県の遺跡発掘 2018」
- 6月 夏季企画展「君は河童を見たか！ー水辺の出会いー」
- 9月 秋季企画展「最古の信州ブランド黒曜石ー先史社会の石材獲得と流通ー」
- 12月 冬季展「自然を見つめた田淵行男」

2019年3月 巡回展「長野県の遺跡発掘 2019 長野県の考古学ー時代を映す“匠”の技ー」

2019(令和元)年度

開館25周年を迎え、記念事業を実施。特別企画として、「長野県立歴史館の名品」、「戦国 小笠原三代」、「土偶展」を開催し、何れも好評であり来館者より高い評価を受けた。特に10月26日(土)から11月10日(日)まで実施した特別企画土偶展 前期展「国宝土偶ー縄文文化の多様な個性ー」は、現在日本において指定を受けている国宝土偶5箇を展示した。入館者数は15,041名を数え、非常に盛況であった。

講座は、信州学講座として歴史館で5回(2回は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)、出前講座として安曇野・上田・箕輪・諏訪の4箇所で実施しいずれも好評であった。

館運営に対して企業等の賛助を得る「歴史館パートナーの日」はKOA株式会社、千曲市から協賛を受けて実施した。特に千曲市からは特別企画土偶展 前期展開催に向けて多大な支援を頂いた。特別企画土偶展の開催期間中に「千曲市の日」を設け、千曲市民の入館を無料としたところ、711名の千曲市民の来館があり地域に歴史館を知っていただく絶好の機会となった。

他館との連携強化として、11月22日山梨県立考古博物館、同23日群馬県立歴史博物館と連携協定を締結した。

歴史館版信州学テキスト第3巻『新たな時代にはばたく信州』を信濃毎日新聞社より刊行した。

- 4月 巡回展「長野県の遺跡発掘 2019 長野県の考古学ー時代を映す“匠”の技ー」
- 7月 収蔵品展「長野県立歴史館の名品」
- 9月 秋季企画展「戦国 小笠原三代ー長時・貞慶・秀政ー」
- 10月 特別企画土偶展 前期展「国宝土偶ー縄文文化の多様な個性ー」
- 後期展「中部高地の土偶ー暮らしに寄り添う小さな女神ー」

2020年3月 春季展「長野県の考古学ーいのちをつなぐ技と交流ー」

2020(令和2)年度

笹本正治館長は特別館長に役職を改め、引き続き館運営の指導にあたった。

昨年度から続く新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、4月15日(水)から5月6日(水)、さらに延長して5月31日(日)までの期間を休館とした。また、学校見学、館主催の講座・イベント等については7月31日(金)まで中止とし、再開後も来館者の安全・安心を第一とした館運営に努めた。

企画展についてはコロナ禍での影響を受けつつも展示に工夫をして開催し、いずれも好評であった。特に秋季企画展「稲作とクニの誕生ー信州と北部九州ー」では、国宝の金印を県内初披露する予定だったが、来館者の密集を避けるために断念、また北部九州の資料についても感染拡大地域からの集荷を取りやめてパネル展示に切り替えるなど大幅な変更を余儀なくされたが、県内出土品の充実した展示により、高い評価を得た。

講座は、信州学講座として歴史館で3回(3回は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)、出前講座として飯田・木曽・箕輪の3箇所で実施しいずれも好評であった。

6月には地元である千曲市との間で、昨年の特別企画土偶展における連携協力をきっかけとして、県内市町村では初となる連携協定を締結した。また、他館とのさらなる連携強化のため、10月27日新潟県立歴史博物館とも連携協定を締結した。

- 3月 春季展「長野県の考古学ーいのちをつなぐ技と交流ー」
- 7月 夏季企画展「地酒王国 信州」
- 9月 秋季企画展「稲作とクニの誕生ー信州と北部九州ー」

2021年1月 冬季展「洋画家・書家・コレクター 中村不折ー伊那谷から世界へ」

3月 所蔵品展「至宝の名品ー学芸員のイチ押し 絵画工芸編ー」

2021(令和3)年度

今年度も新型コロナウイルス感染症の影響は大きく、9月3日(金)から9月12日(日)まで臨時休館せざるを得ない状況となった。学校見学や館主催の講座などは、昨年度からの人数制限や事前申込の対応を引き続き行い、来館者の安全・安心を第一とした館運営に努めた。

企画展については、コロナ禍での影響を受けつつも、資料選定や展示に工夫をして開催することができた。夏季企画展「青少年義勇軍が見た満州」は、県内すべての教育会の丹念な調査をもとにした新視点からの展示などを行い、日を追うにつれ来館者が増加するなど高い関心と呼んだ。秋季企画展「全盛期の縄文土

器」では、県外から借用した国宝・重要文化財の展示もあったが、それに劣らぬ県内縄文土器の魅力を発信することに重きを置いた。冬季企画展「郷愁の画家 丸山晩霞」も、本県ゆかりの人物に焦点をあてる目的で平成29年度より行っている企画展の一環であり、いずれも県立博物館として、本県の歴史を紐解き県民の文化に寄与することを考えての企画である。すべての企画展で展示図録が期間終了を待たずに完売するなど非常に好評であった。

講座は、信州学講座として歴史館で6回、出前講座として上田・安曇野(飯山は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)の2箇所で開催した上での実施であったが、いずれも好評であった。

11月には、県内自治体では昨年の千曲市に続いて2例目となる連携協定を、須坂市と締結した。これは当館の基本目標である「県内博物館・文書館等の中核、歴史情報の拠点としての役割充実」活動の一環であり、具体的活動として11月21日を「須坂市民の日」に設定し、須坂市民観覧料無料、当館所蔵の須坂市関連資料の特別公開などを実施した。多くの須坂市民が来館した。今後は史資料の貸借や人的交流などを行う予定で、これを更なる連携強化を進める上でのモデルケースとしていきたい。

3月 所蔵品展「至宝の名品 一学芸員のイチ押し 絵画工芸編一」

7月 夏季企画展「青少年義勇軍が見た満州 一創られた大陸の夢」

9月 秋季企画展「全盛期の縄文土器一圧倒する褶曲文一」

2022年1月 冬季企画展「没後80年 郷愁の画家 丸山晩霞 一師友とその時代」

3月 所蔵品展「至宝の名品 一学芸員のイチ押し 考古資料編一 大地からのメッセージ」

2022(令和4)年度

臨時休館こそなかったが、今年度も新型コロナウイルス感染症の影響は大きかった。当館の所在する長野圏域に最大の警戒レベル5が発出された際には、閲覧室閉鎖・閲覧業務停止の対応としたが、その日数は、本年度開館日288日中144日に及んだ。これは、何より来館者の安全・安心を第一とした館運営に努めた結果である。

企画展については、コロナ禍における様々な影響を想定し、資料の借用を早くから計画的に行うなど工夫を重ね、すべて開催することができた。

夏季企画展「山伏一佐久の修験 大井法華堂の世界一」は、古文書・仏像などに加え、お堂まで展示し、展示室に修験の世界を体感できる空間を作り上げ、非常に好評であった。秋季企画展「諏訪と武田氏」は、本年が7年に一度の御柱祭開催という年、冬季企画展「高遠藩の遺産一最後の藩主が残したもの一」は、展示の中心をなした宮田村指定文化財が長野県宝に指定されるなど、タイムリーな展示となった。今年度の企画展は、佐久、諏訪、高遠といずれも県内地域を取り上げ、地元との連携をより深めることができた。県内博物館として、県内地域との連携、県民の文化向上は第一の使命であり、今後も、地域と結びつく活動をさらに続けていく。

当館主催の講座についても、新型コロナウイルス感染症対応として、人数制限・事前申込・検温・消毒などを講じた上で開催した。古文書講座では、募集開始2日で定数満杯になる講座があった。信州学講座や企画展講座でも、事前に定数に達するものが多く、いずれも好評であった。コロナ禍においても県民の学習意欲が変わるところはないばかりかむしろ高まったと感じるほどであった。

今後もこういった声に応えるべく、当館で行う企画展や県立歴史館講座の内容をさらに充実させると同時に、外部向けのお出かけ歴史館や職員出前講座、地域展などのアウトリーチ活動を広く周知することで、県立歴史館としての使命・役割を一層果たしていく。

「歴史館パートナーの日」として、6月11日に「Goolightの日」、1月21日に「KOAの日」を実施した。

近年、社会情勢の変化により、近世・近代文書の散逸が進んでいる。県民にとって重要な資料の散逸防止措置の一環として、クラウドファンディングに取り組んだ。12月16日から2023年3月15日までの90日間「武田晴信書状購入プロジェクト」を実施し、315万円の目標設定に対し334万円の寄付をいただいた。資料は令和5年度に購入し、県民への披露の機会を計画する予定である。

3月 所蔵品展「至宝の名品 一学芸員のイチ押し 考古資料編一 大地からのメッセージ」

7月 夏季企画展「山伏一佐久の修験 大井法華堂の世界一」

10月 秋季企画展「諏訪と武田氏」

2023年1月 冬季企画展「高遠藩の遺産 一最後の藩主が残したもの一」

3月 所蔵品展「至宝の名品 学芸員のイチ押し 古文書編 一読めなくても面白い一」

2023(令和5)年度

今年度は新型コロナウイルス感染症が5月8日より5類感染症へ移行された。歴史館も年度途中より規制を緩和しほぼ通常通りの運営となったが、来館者の安全・安心を第一とした館運営に努めた。企画展については、すべて開催することができた。夏季企画展「主張する古墳～新たなシナノの古墳時代像～」は、展示室での解説動画上映、森將軍塚古墳をプリントした古墳マットを設置するなど新たな展示手法を取り入れ

た。また、フォトコンテストなど新たなイベント等を通じて現地に残る古墳来訪を促す工夫も取り入れた。秋季企画展「信州やきもの紀行～江戸から明治へ～」は、県内のやきもの資料を集成し、図録を含め、歴史的な側面からまとめることができた点は、大きな成果だった。冬季企画展「和田 英 ～糸づくりに懸けた明治の女性～」は、特定の女性にスポットを当てた初めての企画展であった。シルクラベルの展示も好評であった。

「歴史館パートナーの日」として、11月19日に「須坂市民の日」、1月20日に「KOAの日」を実施した。

昨年度実施したクラウドファンディングで購入した「武田晴信書状」を披露するため、8月11日に笹本特別館長の講座と特別閲覧会を行い、好評を博した。

3月 所蔵品展「至宝の名品 ー学芸員のイチ押し 古文書編～読めなくても面白い～」

7月 夏季企画展「主張する古墳～新たなシナノの古墳時代像～」

10月 秋季企画展「信州やきもの紀行～江戸から明治へ～」

2024年1月 冬季企画展「和田 英 ～糸づくりに懸けた明治の女性～」

3月 所蔵品展「至宝の名品 学芸員のイチオシ 近現代歴史資料編～長野県民がみた幕末から現代～」

2024(令和6)年度

今年度は開館30周年を迎え、30周年を冠した企画展を行った。夏季企画展「疾風怒濤 木曾義仲～文書と絵画で見る義仲の一生～」では立川談慶氏による寄席を行い、好評を博した。手づくりの甲冑を着て「はいチーズ!」や「義仲の花押をなぞってみよう」など体験イベントを行った。また、巴御前の顔出しパネルを作成し自撮りするコーナーを設定するなど趣向をこらした企画を行った。秋季企画展「描かれた川中島合戦～屏風・錦絵にみる戦の世界～」では、「太刀と軍配」を用意し撮影できる場所を設定した。冬季企画展「佐久間象山遺墨展～書は人なり～」では、書家による書の実演を行い、書道ファンを満足させた。

「歴史館パートナーの日」として、11月23日に「須坂市民の日」、1月18日に「KOAの日」を実施し多くの来館者があった。クラウドファンディングを実施し、「真田昌行書状」を購入した。

3月 所蔵品展「至宝の名品 学芸員のイチオシ 近現代歴史資料編～長野県民がみた幕末から現代～」

7月 夏季企画展「疾風怒濤 木曾義仲～文書と絵画で見る義仲の一生～」

10月 秋季企画展「描かれた川中島合戦～屏風・錦絵に見る戦の世界～」

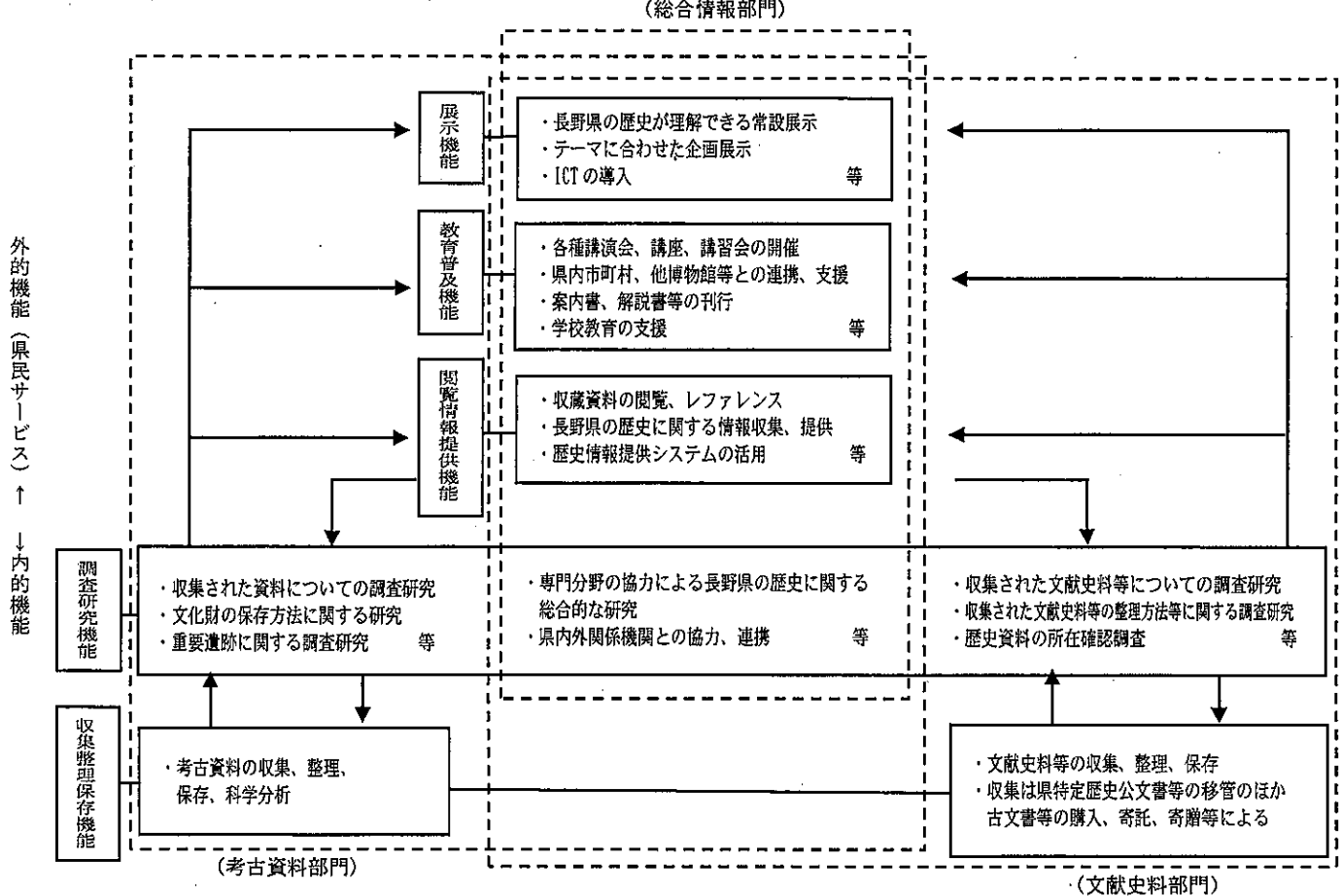
2025年1月 冬季企画展「佐久間象山遺墨展～書は人なり～」

3月 所蔵品展「令和7年所蔵品展 原始～開館30年のあゆみ展～」

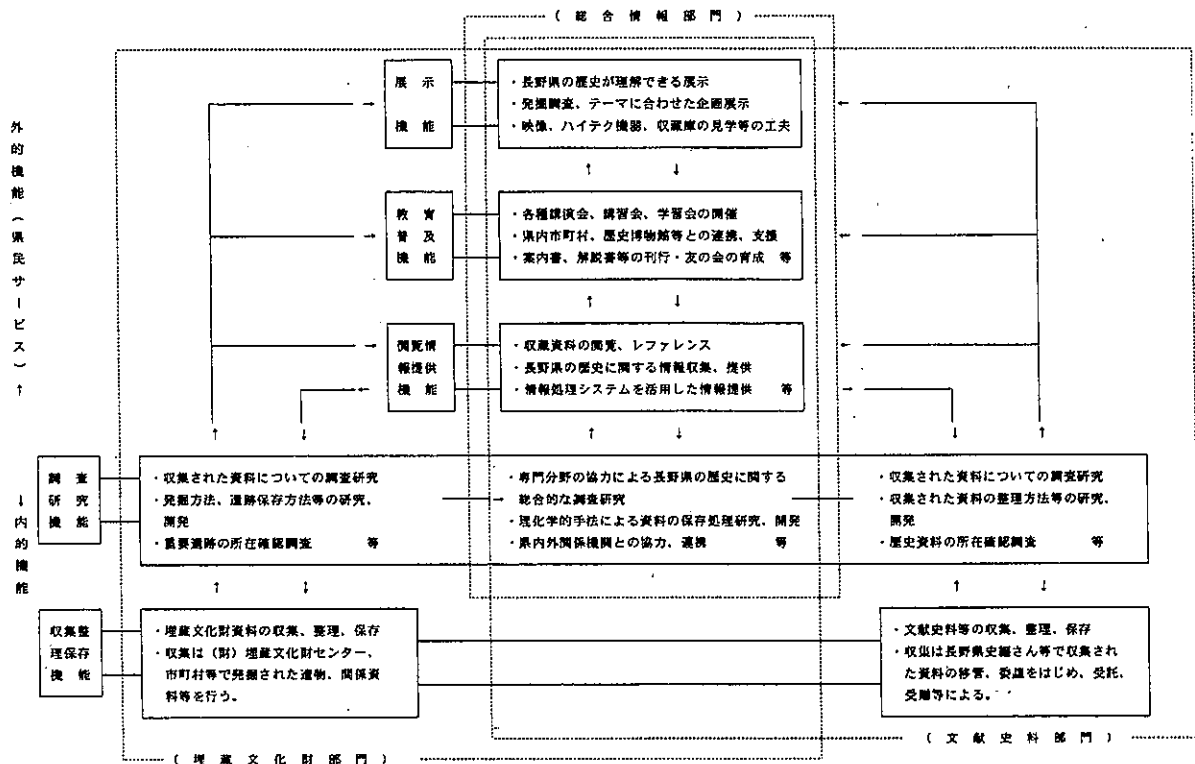
II 機能・組織・運営

1 機能

概念図（令和4年4月1日現在）



<参考> 県立歴史館機能構成図（平成元年7月「文化財に関する施設建設基本構想懇談会報告書」による）



建設基本構想骨子（平成2年11月建設委員会決定）

1 施設の性格

- (1) 発掘調査により出土した埋蔵文化財資料及び歴史的に貴重な行政文書、古文書等の史資料について、収集、整理、保存、調査研究、閲覧、情報提供、教育普及及び展示を行う歴史博物館的施設とする。
- (2) 文化財への親しみと理解が深められるよう、県民の学習ニーズに対応し、歴史学習活動を支援する。

2 設置場所

更埴市大字屋代字清水（森將軍塚古墳付近）

3 館の機能

主要な機能は、「展示」、「教育普及」、「閲覧、情報提供」、「調査研究」及び「収集、整理、保存」で構成する。

(1) 展示

- ア 埋蔵文化財、文献史料等による長野県の歴史が理解できる常設展示を行う。
- イ 発掘調査、テーマ等に合わせた企画展示、特別展示、巡回展示を行う。
- ウ 映像、ハイテク機器等を活用した楽しく興味を持てる展示を行い、館内の整理作業工程、収蔵庫等の見学コースを設定する。

(2) 教育普及

- ア 各種講演会、講習会、学習会を開催する。
- イ 県内の市町村、歴史博物館、歴史民俗資料館等と連携し活動を支援する。

(3) 閲覧、情報提供

- ア 収蔵資料を閲覧に供する。
- イ 長野県に関する情報を収集し、情報処理システムを活用した提供を行う。

(4) 調査研究

- ア 収集された資料について、調査研究を行い、その成果を展示、教育普及、閲覧及び情報提供に反映させる。
- イ 専門分野の協力による長野県の歴史に関する調査研究を行う。
- ウ 発掘調査、保存処理、整理方法等に関する研究、開発を行う。
- エ 重要遺跡、歴史資料の所在調査を行う。

(5) 収集、整理、保存

- ア 長野県に対する埋蔵文化財資料及び行政文書、古文書等の文献史資料を収集し、整理分類して収蔵する。
- イ 資料の収集は、県内外で発掘された遺物、関係資料や県史編さん等で収集された資料の移管、委譲をはじめ、

受託、受贈、購入、複製収集等による。

4 館の組織

主要な組織は、「総合情報部門」、「埋蔵文化財部門」、「文献史料部門」及び「管理部門」で構成する。

(1) 総合情報部門

- ア 展示の企画、開催、教育普及活動等
- イ 長野県の歴史に関する調査研究及び情報の収集、整理、提供

(2) 埋蔵文化財部門

- ア 埋蔵文化財資料の収集、整理、保存
- イ 遺跡、遺物の保存、活用等のための調査研究

(3) 文献史料部門

- ア 行政文書、古文書などの収集、整理、保存
- イ 古文書等の所在確認、収集資料の保存、活用等のための調査研究

(4) 管理部門

- ア 庶務、会計
- イ 施設、設備の管理

5 敷地の概要

取得面積 約 19,500 m²
（用途別内訳）
建物面積 6,500 m²程度
駐車場 4,500 m²程度
外構面積 6,500 m²程度
屋外展示 2,000 m²程度

6 施設の概要

建築面積 6,500 m²程度
延べ床面積 10,000 m²程度
（部門別内訳）
総合情報部門 3,100 m²程度
埋蔵文化財部門 2,750 m²程度
文献史料部門 1,850 m²程度
管理部門 2,300 m²程度

7 建設計画

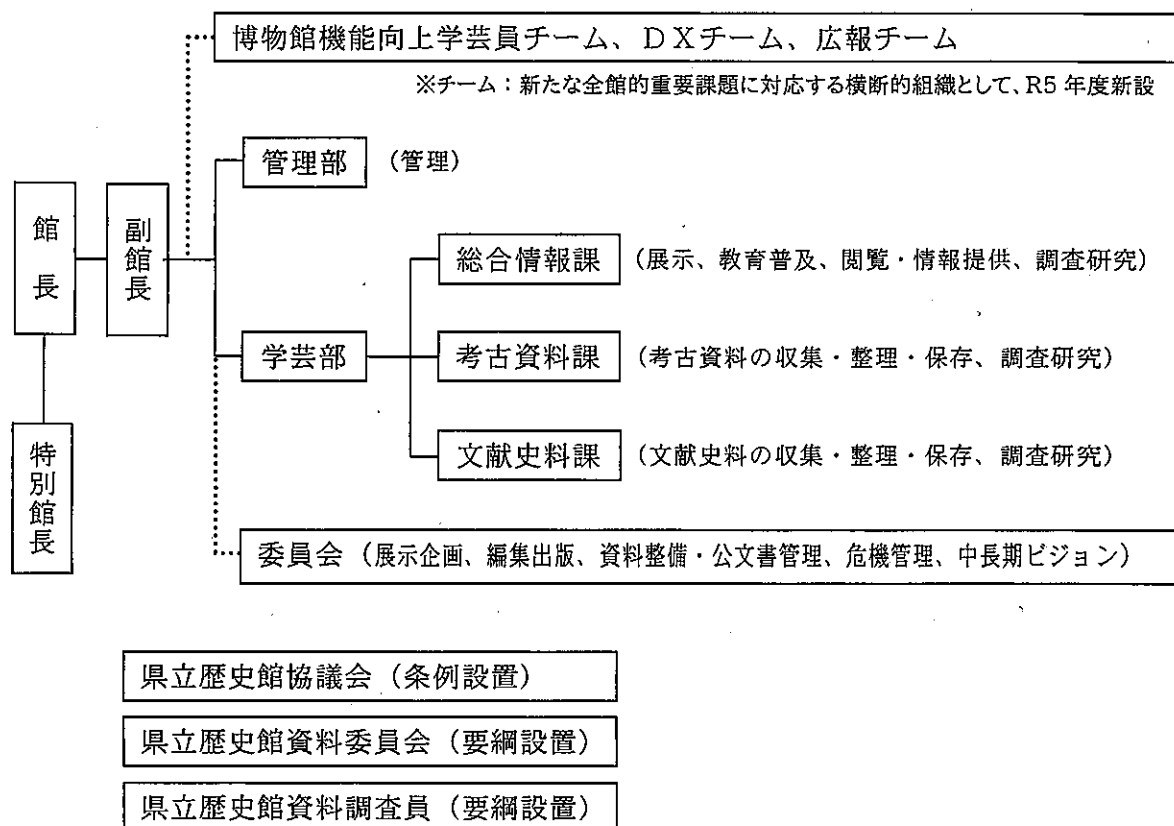
平成4年 着工
平成5年 完成
平成6年（春） 開館

8 施設建設に伴う留意点

更埴市における歴史公園構想の中核的施設となるため、土地利用・施設外観・展示・植栽計画において整合を図る。

2 組織と分掌

○組織図(令和6年度)



○事務分掌

部 課		分 掌 事 務
学 芸 部	管 理 部	(1) 庶務及び会計に関すること。 (2) 組織及び人事に関すること。 (3) 施設、設備の維持管理に関すること。
	総 合 情 報 課	(1) 歴史的資料（考古資料及び文献史料を除く。）の収集、整理、保存及び調査研究並びに展示及び閲覧に関すること。 (2) 歴史に関する教育普及（講演・講座、研修等）及び情報提供に関すること。 (3) 図書資料の受入れ、整理及び閲覧に関すること。 (4) 各種刊行物の編集及び出版に関すること。
	考 古 資 料 課	(1) 考古資料の収集、整理、保存及び調査研究並びに展示及び閲覧に関すること。 (2) 考古資料の保存処理及び科学分析に関すること。 (3) 考古資料に関する教育普及（講演・講座、研修等）及び情報提供に関すること。 (4) 考古資料に関する目録、報告書等の管理に関すること。
	文 献 史 料 課	(1) 文献史料（古文書、行政文書等）の収集、整理、保存及び調査研究並びに展示及び閲覧に関すること。 (2) 文献史料に関する教育普及（講演・講座、研修等）及び情報提供に関すること。 (3) 文献史料に関する目録、報告書等の管理に関すること。

3 運 営

1 運営方針

長野県の歴史・文化の拠点として、考古資料、文献史料（古文書、行政文書）、その他の歴史資料を収集、整理、保存及び調査研究し、展示及び閲覧等により県民に公開、情報提供するとともに、県民の文化財に対する理解の促進や歴史学習を支援する役割を担うことにより、県民の教養と文化振興の向上に寄与する。

2 事業計画の概要

(1) 重点事業

- ア 博物館DXの基礎となる収蔵資料のデジタルアーカイブ化及び活用の推進
- イ 博物館機能強化のための学芸員有資格者の専門性発揮による業務の推進
- ウ 広報活動基本方針に基づく効果的な広報の実施
- エ 考古資料保存処理の計画的な推進
- オ 公文書に関する事務の効率的かつ着実な実施
- カ 展示の見直し、施設・設備の更新・機能向上や環境整備など、館のリニューアルのあり方の検討及び可能な事項の改善
- キ 他の博物館や県内市町村等と連携した事業の推進
- ク 来館者の安全・安心の確保

(2) 歴史資料の収集・整理・保存

- ア 信州にゆかりのある歴史資料の収集、整理及び保存
- イ 考古資料の整理・保存処理及び科学分析
- ウ 長野県の行政文書（特定歴史公文書を含む）の整理及び保存

(3) 調査研究

- ア 今後の展示計画も想定した長野県の歴史に関する調査研究
- イ 他団体等との共同研究 ・長野県行政文書研究会 ・長野県青年運動史研究会

(4) 展示・閲覧・情報提供

- ア 展示の充実
 - (7) 常設展示（計画的な展示替え）
 - (4) 企画展示
 - a 所蔵品展「至宝の名品 学芸員のイチオシ 近現代歴史資料編～長野県民がみた幕末から現代～」(3/23～6/16)
 - b 夏季企画展「疾風怒濤 木曾義仲～文書と絵画でみる義仲の一生～」(7/13～8/25)
 - c 秋季企画展「描かれた川中島合戦～屏風・錦絵にみる戦の世界～」(10/12～11/24)
 - d 冬季企画展「佐久間象山遺墨展～書は人なり～」(1/11～2/24)
- イ 博物館DXの推進（収蔵資料のデータベース化、展示解説アプリの開発）
- ウ 歴史資料の貸出し
- エ 他団体との連携
 - (7) 県内外博物館、県内市町村等との連携協定に基づく事業の推進
 - (4) 信州大学との連携による研究・展示等の充実
 - (9) 他団体との連携による講座（信濃史学会 信州近世史セミナー 等）の開催
 - (4) 「歴史館パートナーの日」（企業・自治体協賛）の開催
- オ 収蔵資料に関するレファレンス
- カ 体験学習及びイベントの開催（歴史館でこどもの日、歴史館で夏休み、開館記念日 等）
- キ 調査研究成果や展示に関する刊行物の発行・発信（展示図録、研究紀要、ブックレット等）
- ク 県立歴史館たより、県立歴史館ホームページ、SNS等を活用した情報提供
- ケ マスコミを通じた歴史情報の発信（信毎コラム「しなの歴史再見」等）

(5) 教育普及（学校教育・生涯学習支援等）

- ア 学校見学の効果的・効率的な実施
- イ おでかけ歴史館（子ども向け、特に南信・木曾地域をはじめとする学校・公民館等の訪問）
- ウ 各種講演・講座の充実
 - 県立歴史館講座（4回）、出前講座（2回）、考古学講座（5回）、特設考古学講座（3回）、考古学探訪会（1回）、古文書講座（25回）、ティーンズ古文書講座（2回）、古文書フォローアップ講座（2回）、古文書入門教室（1回）
 - 県立歴史館出前講座（一般向け・アウトリーチ型）
- エ 地域展示（市町村の博物館・公民館等公共施設）のあり方の検討及び実施
- オ 技術講習会の実施（考古資料保存技術講習会、文献史料保存活用講習会 等）
- カ 職場体験学習・インターンシップ、博物館実習、教職員研修等

(6) ボランティアの活用・育成

各種事業活動（展示解説、資料整理・保存、図書整理、体験イベント等）の支

(3) 職員名簿（令和7年3月31日現在）

館長 小松 健一		—— 特別館長 笹本 正治	
副館長 新津 尚治			
管理部長 小松 健一（兼）		学芸部長 新津 尚治（兼）	
管理部	総合情報課	考古資料課	文献史料課
課長補佐 棚秋 明美	課 長 水澤 教子	課 長 櫻井 秀雄	課 長 村石 正行
主 任 柳町 紫織	主任・文化財専門員 柴田 洋孝	主査・文化財専門員 石丸 敦史	文化財指導主事 花岡 康隆
主 事 東福寺 一司	主任・学芸員 林 誠	文化財指導主事 白沢 勝彦	文化財指導主事 新井 寛子
職 員 手島 良子	主 事 竹節 鮎	文化財指導主事 西山 克己	文化財指導主事 鈴木 実
職 員 大日方恭子	文化財指導主事 黒川 稔	職 員 小林 伸子	職 員 北島 祥至
職 員 竹内 順子	文化財指導主事 河野 智枝	職 員 水野 聖也	職 員 宮坂 由紀夫
職 員 中山 真結	文化財指導主事 小林 寿英	職 員 島田 久美	職 員 土屋 英夫
	文化財指導主事 中山 敦	職 員 柄澤 登紀子	職 員 佐藤 敦
	文化財指導主事 鈴木 幸香	職 員 清水 秋子	職 員 児玉 武志
	文化財指導主事 町田 勝則	職 員 中山 直子	職 員 西澤 美代子
	職 員 六川 成美	職 員 宮崎 静雄	職 員 小山 麻里
	職 員 小松 亜紀		職 員 山口まゆみ
			職 員 酒井 亮

（注）「特別館長」及び「職員」は、「会計年度任用職員」

(4) 長野県立歴史館協議会委員（五十音順）

氏 名	役 職
植田 平	公募
浮貝 貴子	公募
倉石あつ子	前安曇野市豊科郷土博物館職員
久留島 浩	国立歴史民俗博物館名誉教授
後藤 芳孝	信濃史学会会長
酒井 賢一	千曲市森將軍塚古墳館館長
佐藤 真耶	特定非営利活動法人エリアネット職員
三井 有奈	坂城町教育委員
矢島 宏雄	長野県考古学会会長
山崎 俊子	前千曲市立東小学校校長

(6) 長野県立歴史館資料委員会委員（五十音順）

氏 名	役 職	分 野
浅倉 有子	上越教育大学特任教授	中世・（近世）
石川日出志	明治大学教授	考古
井上 聡	東京大学史料編纂所准教授	中世
織田 顕行	飯田市美術博物館学芸員	美術工芸
原田 和彦	長野市立博物館専門員	古代・中世
樋口 明里	長野市立博物館主査学芸員	民俗

(5) 長野県立歴史館資料調査員

氏 名	担 当 範 囲
小須田基弘	佐久市・南佐久郡
牧野 和人	小諸市・北佐久郡
倉澤 正幸	上田市・東御市・小県郡
高見 俊樹	岡谷市・諏訪市・茅野市・諏訪郡
唐木 孝雄	伊那市・駒ヶ根市・上伊那郡
前澤 健	飯田市・下伊那郡
松尾 輝明	木曽郡
遠藤 正教	松本市・塩尻市・東筑摩郡
伊藤 信一	安曇野市・東筑摩郡
小林 茂喜	大町市・北安曇郡
中島 丈晴	千曲市・埴科郡
天野 義孝	須坂市・上高井郡
寺島 正友	中野市・下高井郡
田玉 徳明	長野市・上水内郡
小柳 義男	長野市・上水内郡
望月 静雄	飯山市・下水内郡

4 関係法規

長野県立歴史館条例（平成6年長野県条例第24号）

（趣旨）

第1条 この条例は、博物館法（昭和26年法律第285号）及び地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）並びに地方自治法（昭和22年法律第67号）の規定に基づき、歴史館の設置及びその管理等に関し必要な事項を定めるものとする。

（設置）

第2条 考古資料、歴史的価値を有する文書、その他歴史資料等を収集し、保存して、広く県民の利用に供し、その教養及び文化の振興に寄与するため、長野県立歴史館（以下「歴史館」という。）を千曲市に設置する。

（職員）

第3条 歴史館に、博物館法第4条第1項及び第3項に規定する職員のほか、事務職員、技術職員その他の所要の職員を置く。

（協議会）

第4条 歴史館に、博物館法第23条の規定による歴史館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

2 協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者のうちから知事が任命する。

3 協議会の委員の定数は10名以内とし、その任期は2年とする。ただし、補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。

（使用の許可）

第5条 歴史館を使用しようとする者は、知事の許可を受けなければならない。

（使用料の納付）

第6条 歴史館の展示資料を観覧する者は、使用料を納付しなければならない。

（使用料の額）

第7条 前条の使用料の額は、観覧1回につき1,000円の範囲内でその都度知事が定める額とする。

（使用料の減免）

第8条 知事は、次の各号のいずれかに該当し、かつ、特に必要があると認めるときは、使用料を減免することができる。

(1) 児童、生徒及びこれらの引率者が、学校の教育課程に基づく教育活動として観覧するとき。

(2) 前号に定めるもののほか、特別の理由があるとき。

（管理等の委任）

第9条 この条例に定めるもののほか、歴史館の管理及びこの条例の施行に関し必要な事項は、長野県教育委員会が定める。

附 則

この条例は、平成6年11月3日から施行する。

附 則（平成15年7月24日条例第47号）

この条例は、平成15年9月1日から施行する。

附 則（平成17年3月28日条例第37号）

この条例は、平成17年4月1日から施行する。

附 則（平成24年3月22日条例第40号）

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

令和5年12月25日条例第26号

附 則（令和5年3月20日条例第3号）

この条例は、令和5年4月1日から施行する。

附 則（令和5年12月25日条例第26号）

この条例は、平成6年11月3日から施行する。

長野県立歴史館管理規則（平成6年教育委員会規則第5号）

（趣旨）

第1条 この規則は、長野県立歴史館条例（平成6年長野県条例第24号。以下「条例」という。）第9条の規定により、長野県立歴史館（以下「歴史館」という。）の管理等に関し必要な事項を定めるものとする。

（休館日）

第2条 歴史館の休館日は、次に掲げるとおりとする。ただし、知事は、必要があると認めるときは、これを変更し、又は臨時に休館日を定めることができる。

(1) 月曜日（その日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「休日」という。）に当たるときは、火曜日）

(2) 休日の翌日

(3) 12月28日から翌年1月3日まで

（開館時間）

第3条 歴史館の開館時間は、午前9時から午後5時までとする。ただし、知事は、必要があると認めるときは、これを変更することができる。

（歴史館協議会）

第4条 条例第4条の規定による歴史館協議会は、歴史館の長が招集する。

2 歴史館協議会を分けて定例会及び臨時会とし、定例会は毎年1回、臨時会は必要に応じて招集する。

3 歴史館協議会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。

（使用の許可等）

第5条 条例第5条の規定により許可を受けようとする者は、歴史館に保存されている資料を閲覧する場合にあつては長野県立歴史館閲覧申込書（様式第1号）を知事に提出し、展示資料を閲覧する場合にあつてはその旨を知事に申し出なければならない。

2 教育委員会は、前項の規定による許可をしたときは、閲覧許可書又は観覧券（様式第2号）を交付するものとする。

（閲覧の制限）

第6条 教育委員会は、歴史館に保存されている資料のうち、次に掲げるものの閲覧を制限することができる。

(1) 法令の定めるところにより公開ができないもの

(2) 個人に関する資料で、他人に知れたくないと認められるもの

(3) 法人その他の団体に関する資料で、閲覧に供することにより当該法人その他の団体に不利益を与えるおそれがあると認められるもの

(4) 資料の傷み等のため保存上支障のあるもの

(5) 資料の整理が完了していないもの

(6) 寄贈者又は寄託者と利用の制限について特約があるもの

(7) 前各号に定めるもののほか、公益上の理由等により閲覧に供することが不適当と認められるもの

(遵守事項)

第7条 歴史館の利用者は、次の各号に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 歴史館の施設、資料等を損傷し、汚損し、又は紛失しないこと。
- (2) 歴史館内において他人の迷惑になるような行動をしないこと。
- (3) 所定の場所以外で飲食し、又は喫煙しないこと。
- (4) 歴史館内に爆発物、可燃物、銃砲刀剣類等の危険物を持ち込まないこと。
- (5) 前各号に定めるもののほか、歴史館の秩序の維持について知事が定める事項。

(入館の制限等)

第8条 知事は、めいていしている者その他歴史館の管理上著しく支障があると認められる者の入館を禁止し、又は退館を命ずることができる。

(使用許可の取消し等)

第9条 知事は、歴史館の利用者が次の各号のいずれかに該当するときは、使用許可の取消し、使用の停止又は使用条件の変更をすることができる。

- (1) 第7条の規定に違反したとき。
- (2) 使用の許可に付した条件に違反したとき。

(損害の賠償)

第10条 歴史館の利用者は、歴史館の施設、資料等を損傷し、汚損し、又は紛失したときは、遅滞なく知事に届け出て、その指示に従い、原状に復し、又はその損害を賠償しなければならない。

(補則)

第11条 この規則に定めるもののほか、歴史館の管理等について必要な事項は、知事が定める。

附 則

この規則は、平成6年11月3日から施行する。

附 則 (平成17年3月28日教育委員会規則第5号)

この規則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則 (平成24年3月22日教育委員会規則第5号)

この規則は、平成24年4月1日から施行する。

附 則 (令和6年4月1日交付長野県規則第34号)

この規則は、公布の日から施行する。

長野県組織規則

令和6年3月29日規則第25号

【必要部分のみ抜粋】

(文化振興課)

第14条の3 文化振興課は、次の各号に掲げる事務をつかさどる。

- (1) 芸術文化に関すること。
- (2) 文化財に関すること。
- (3) 博物館に関すること。
- (4) 銃砲刀剣類の登録及び刀剣類の製作の承認に関すること。
- (5) ユネスコ活動に関すること。
- (6) 文化会館、県立美術館及び県立歴史館に関すること
- (7) 美術館協議会、文化財保護審議会及び銃砲刀剣類登録審査委

員の庶務に関すること。

第56条 法律、政令又は条例の規定に基づき、次の各号に掲げる現地機関を置く。

(33) 長野県立歴史館条例(平成6年長野県条例第24号)による長野県立歴史館

第37目の3 歴史館

追加〔令和6年規則56号〕

(業務)

第146条の9 長野県立歴史館は、長野県立歴史館条例に規定するところにより、考古資料、歴史的価値を有する文書、その他歴史資料等(第146条の11第3項において「歴史的資料」と総称する。)を収集し、保存して、広く県民の利用に供し、その教養及び文化の振興に寄与することを業務とするところである。

(位置)

第146条の10 長野県立歴史館の位置は、長野県立歴史館条例に規定するところにより、千曲市である。

(内部組織)

第146条の11 長野県立歴史館に、その事務を分掌させるため、管理部及び学芸部を置く。

2 管理部は、次の各号に掲げる事務をつかさどる。

- (1) 庶務及び会計に関すること。
 - (2) 長野県立歴史館協議会の庶務に関すること。
 - (3) その他学芸部の所管に属さないこと。
- 3 学芸部は、次の各号に掲げる事務をつかさどる。
- (1) 歴史的資料の展示及び閲覧に関すること。
 - (2) 歴史に関する各種刊行物の編集に関すること。
 - (3) 考古資料の収集、整理及び保存に関すること。
 - (4) 埋蔵文化財の保存処理及び保存科学に関すること。
 - (5) 埋蔵文化財に関する調査研究及び研修等の実施に関すること。

- (6) 文献史料(歴史的価値を有する文書その他の記録をいう。以下この項において同じ。)の収集、整理及び保存に関すること。
- (7) 文献史料に関する調査研究及び研修等の実施に関すること。
- (8) 歴史的資料(考古資料及び文献史料を除く。次号において同じ。)の収集、整理及び保存に関すること。
- (9) 歴史的資料に関する調査研究に関すること。
- (10) その他歴史に関する教育の普及、情報の収集及び利用者への提供並びに相談に関すること。

4 学芸部に、その事務を分掌させるため、課を置き、その名称及び分掌事務は、次の表のとおりとする。

名称	分掌事務
総合情報課	前項第1号、第2号及び第8号から第10号までの事項
考古資料課	前項第3号から第5号までの事項
文献史料課	前項第6号及び第7号の事項

長野県立歴史館協議会運営細則

(趣旨)

第1条 この細則は、長野県立歴史館条例（平成6年条例第24号）第4条及び長野県立歴史館管理規則（令和6年長野県規則規則第34号）第4条で規定するもののほか、長野県立歴史館協議会（以下「協議会」という。）の運営に必要な事項を定めるものとする。

（会長及び副会長）

第2条 協議会に会長及び副会長を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選とする。

3 会長は会務を総理し、協議会を代表する。

4 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代理する。

（会議）

第3条 協議会の会議は、会長がその議長となる。

2 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

（庶務）

第4条 協議会の庶務は、長野県立歴史館において処理する。

（委任）

第5条 この細則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

附 則

この細則は、平成24年10月1日から施行する。

附 則

この細則は、令和6年4月1日から施行する。

長野県立歴史館資料選定会議設置要綱

（設置）

第1条 長野県立歴史館（以下「歴史館」という。）が収集する歴史資料（購入資料または寄贈・寄託を受けた資料をいう。以下同じ。）及び館蔵資料の活用等について意見を聴取するため、歴史館資料選定会議を設置する。

（協議事項）

第2条 会議は、収集する歴史資料の選定、評価及び館蔵資料の活用方策等に関する事項について協議する。

（構成）

第3条 会議の構成員数は、7名以内とする。

2 構成員は、学識経験者のうちから、歴史館長（以下「館長」という。）が委嘱する。

3 構成員の任期は2年とし、再任を妨げない。補欠のため就任した構成員の任期は、前任者の残任期間とする。

4 館長は、収集しようとする歴史資料について、構成員以外の学識経験者から意見を聴取する必要があると判断した場合は、学識経験者のうちから、臨時的に構成員を委嘱することができる。ただし、委嘱期間は、委嘱した日から当該歴史資料について協議する会議開催日までとする。

（会長及び副会長）

第4条 会議に会長及び副会長を置く。

2 会長及び副会長は、構成員の互選とする。

3 会長は会務を総理し、会議を代表する。

（会議）

第5条 会議は、館長が招集する。

2 会議の議長は、会長が務める。会長に事故があるときは副会長が代行する。

3 館長は、緊急を要する事項について、書面等での回答をもって会議に代えることができる。

（庶務）

第6条 会議の庶務は、歴史館において処理する。

附 則

この要綱は、平成7年7月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成25年11月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成31年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、令和7年1月1日から施行する。

長野県立歴史館資料調査員設置要綱

（趣旨）

第1条 この要綱は、長野県立歴史館（以下「歴史館」という。）の資料収集に当たり、県内における資料の所在、分布等の調査を行うため、資料調査員（以下「調査員」という。）の設置について必要な事項を定めるものとする。

（委嘱）

第2条 調査員は、歴史館長（以下「館長」という。）が委嘱する。

2 調査員には、調査員証（様式第1号）を交付する。

3 調査員証は第6条に規定する調査以外に用いてはならない。

（任期）

第3条 調査員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠者の任期は前任者の残任期間とする。

（員数及び調査区域）

第4条 調査員は、16名以内とし、調査区域とその員数は別表のとおりとする。

（調査対象）

第5条 調査対象は、原始から現代に至る歴史的価値ある史資料とする。

（調査方法及び報告）

第6条 調査員は、必要に応じて資料所蔵者を訪問して、資料の有無、保存状況、所蔵者の変更その他館長が指示した事項について調査を行い、その調査結果を館長に報告するものとする。

（守秘義務等）

第7条 調査員は、調査に際しては人権を尊重し、プライバシーの保護に配慮するものとし、職務上知り得た秘密を洩らしてはならない。

（会議）

第8条 調査員の情報交換、調査事項の指示のため、館長は必要に応じて調査員会議を開催するものとする。

附 則

この要綱は、平成7年10月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成18年5月26日から施行する。

III 施設

敷地面積 19,396 m²
 建築面積 6,702 m² (延床面積 10,457 m²)
 鉄筋コンクリート造、地上2階

管理部門

事務室、会議室、エントランスホール 等

総合情報部門

常設展示室 (1, 278 m²)、企画展示室 (292 m²)、講堂 (238 席)、第一研修室 (実習室) (186 m²)、第二研修室 (148 m²)、閲覧室 (159 m²)、展示準備室、図書室、情報処理室、展示スペース (小展示室) 等

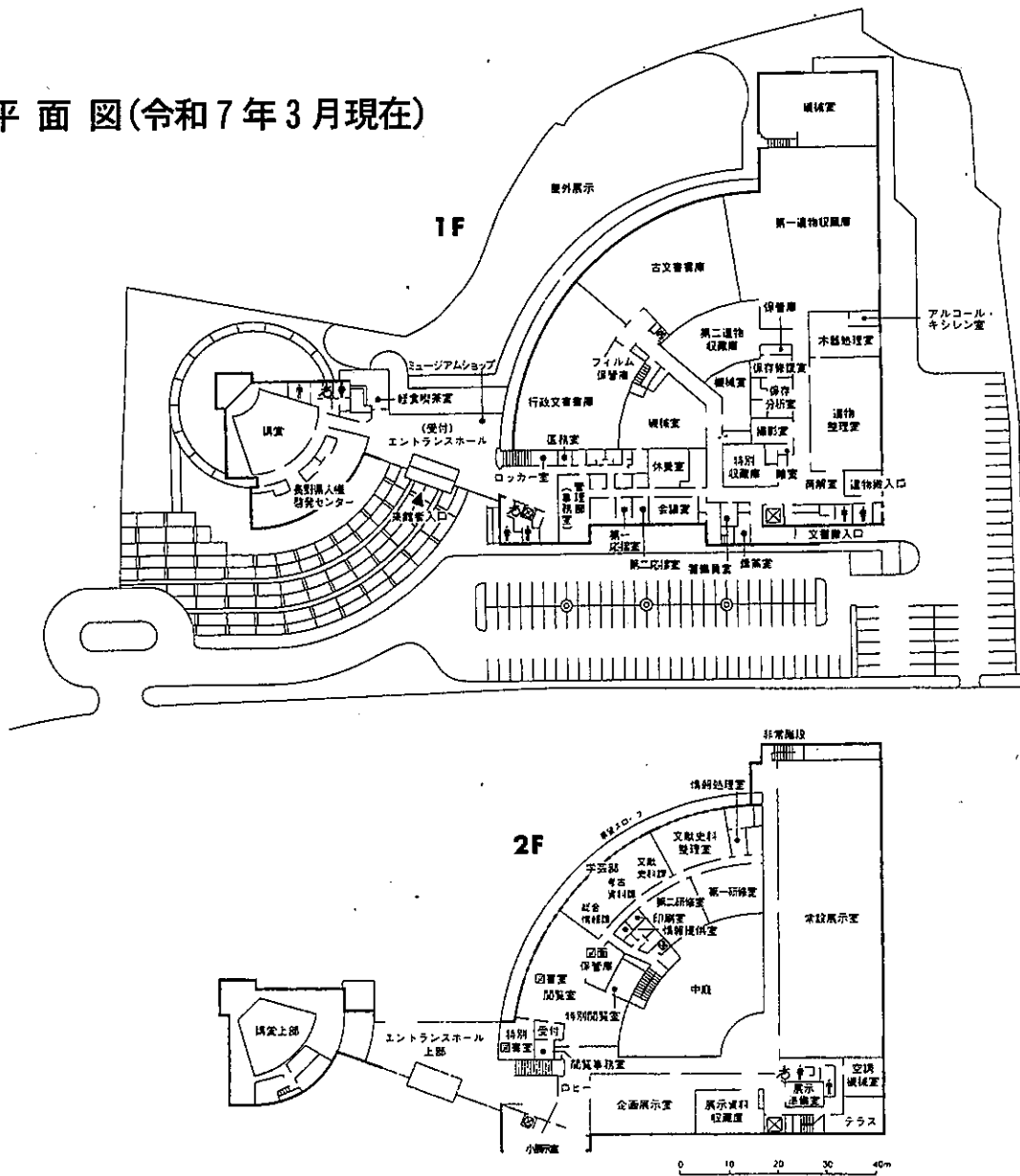
考古資料部門

遺物整理室 (348 m²)、第一遺物收藏庫 (982 m²)、
第二遺物收藏庫 (215 m²)、木器處理室、保存分析室、
保存修復室 等

文献史料部門

文献史料整理室 (145 m²)、行政文書書庫 (592 m²)、
古文書書庫 (583 m²)、薰蒸室、フィルム保管庫 等

1 平面図(令和7年3月現在)



2 諸 室

部門	室 名	面積 (㎡)	用 途	備 考
学 芸 部 門	常設展示室	1,278	長野県の歴史についての展示	2 階
	企画展示室	292	企画展、特別展、巡回展、速報展など短期間の展示	
	展示資料収蔵庫	131	考古・文献史料以外の展示資料及び企画展示用資料の収蔵	
	展示準備室	42	展示用機材・備品の保管、展示準備作業スペース	
	閲覧室	159	行政文書・図書等の収蔵資料の閲覧	
	特別閲覧室	42	古文書、絵図等特殊資料の閲覧	
	閲覧事務室	16	閲覧に関する事務、各種問合せ・相談の対応	
	図書室	232	図書資料等保管	
	特別図書室	53	特別図書・貴重図書の保管	
	情報処理室	33	歴史情報の処理、提供	
	小展示室	73	企画展、特別展、巡回展、速報展など短期間の展示	
	第一研修室	186	少人数の各種研修、講習	
	第二研修室	148	少人数の各種研修、講習	
	図面保管室	41	発掘調査関係図面保管	
	文献史料整理室	145	文献史料の分類整理、台帳・目録作成	
	学芸部室	148	学芸部職員の執務	
学 芸 部 門	講堂	225	多人数の各種講演、講座、映写による歴史学習	1 階
	撮影・現像室	55	資史料撮影、現像	
	遺物整理室	348	遺物の水洗い・注記・接合・復元	
	保存分析室	45	出土遺物類の各種保存処理・分析	
	木器処理室	97	出土木器の保存処理	
	休養室	37	整理作業員等の休憩、昼食	
	保存修復室	39	遺物の修復	
	X線分析室	13	遺物の分析	
	蛍光X線分析室	12	遺物の分析	
	アルコールキシレン室	19	遺物の保存処理	
	第一遺物収蔵庫	982	出土土器・石器類の収蔵	
	第二遺物収蔵庫	215	出土木器の収蔵	
	特別収蔵庫	71	重要な史資料の収蔵	
	行政文書書庫	592	行政文書・行政資料の保管	
	古文書書庫	583	寄贈、寄託等の古文書の保管	
	フィルム保管庫	42	マイクロフィルム、映画フィルム等の保管	
	燻蒸室	19	搬入資料の燻蒸	
	小 計	6,413		
管 理 部 門	事務室	130	管理部門職員の執務	1 階
	会議室	59	諸会議用	
	エントランスホール	431	受付、ミュージアムショップ等	
	その他諸室等	3,236	第一応接室、第二応接室、医務室、機械室、軽食喫茶室、廊下 等	
	小 計	3,856		
長野県人権啓発センター		188		1 階
合 計		10,457		

一 事 業

I 令和6年度の主な事業実績

事業名		実施時期	利用者数	備考
自 主 事 業	常 設 展	年間 (292日)	29,159	
	所蔵品展「至宝の名品学芸員のイチオシ 近現代歴史資料編 ～長野県民がみた幕末から現代～」	4月1日～ 6月16日	7,861	8426人 (3月～6 月) 565人 (7月)
	夏季企画展「疾風怒濤 木曾義仲～文書と絵画でみる義仲の 一生～」	7月13日～ 8月25日	5,226	
	秋季企画展「描かれた川中島合戦～屏風・錦絵にみる戦の世 界～」	10月12日～ 11月24日	4,793	
	冬季企画展「佐久間象山遺墨展～書は人なり～」	1月11日～ 2月24日	2,569	
	所蔵品展「原始～開館30年のあゆみ展～」	3月15日～ (3月31日)	1,054	
	企画展関連講演会等 10回実施	7月～ 2月	1,399	
	県立歴史館講座 7回実施	5月～ 3月	445	
	県立歴史館の信州学出前講座in大桑・諏訪・箕輪・中川	9月～11月	89	
	考古学体験講座 3回 ティーンズ考古学講座	8～12月	39	
	考古資料保存技術講習会2回	2・3月	27	
	古文書講座 30回実施	5月～3月	992	ティーンズ、フォ ローアアップ、古文 書入門含む
	出前講座 45回実施	4月～3月	2,257	
共 催 事 業 等	お出かけ歴史館 3回実施 (小学校・公民館等)	7・1・3月	141	
	各種講習会・イベント 9回実施	5月～3月	1,259	こどもの日、理 文チャレンジ、 夏休み、企業連 携、クリスマス 映画会
	その他 史資料等の閲覧	4月～ 3月	2,618	
	考古学セミナー	6・9・2月	199	長野県 考古学会
	近世史セミナー	12月	77	信濃史学会
	長野県史料保存活用連絡協議会講習会 4回実施	5・10・11・ 1月	136	県史料協
	古文書愛好会 読む会 8回実施 演習 23回実施 総会講演会 探訪会	6～2月	635	古文書 愛好会
	信州大学学芸員資格取得講座 (博物館展示論・メディア論)	9月・2月	108	信州大学
	博物館関係職員等研修会	2月	102	県博協
	長野県総合教育センター研修	7月	18	県総合教育 センター
	地域展他連携展示 (中央4県)	1月	1,067	
	アーカイブス・カレッジ	11月	272	国文学研究資料 館
	計		62,542	

Ⅱ 展 示

1 常設展示

共通テーマ

「信濃の風土と人びとのくらし」.

(1) 常設展示のねらい

長野県は中央高地に位置し、古くから東日本と西日本、太平洋側と日本海側を結ぶ結節点として、さまざまな文化の交流の場となり、独自の風土と文化をはぐくんできた。そうした風土と文化がつくられてきた歴史的背景と変遷を明らかにし、その成果を考古資料と文献史料などを活用した展示を通じて、信濃の歴史に触れ、歴史学習を深められる場を提供する。

① 常設展示を構成する柱

・課題とテーマをもった展示

東アジアや日本列島の歴史のなかにおける信濃の位置と歴史的変遷の大筋を明らかにするとともに、人びとの生活と風土の諸相を具体的に示す。

・時代性を浮きぼりにする展示

時代ごとの人びとの生活を追体験できるような、臨場感あふれるものとする。

・学問のジャンルをこえた学際的展示

信濃の地方史の特徴といわれる学際的、

総合的な歴史研究の成果を生かして、わかりやすく楽しく学び、考えることのできる展示とする。

② 常設展示の方法

常設展示は、歴史館に収蔵される考古資料や文献史料を活用しながら、ローテーション展示など多様な手段を用いた展示とする。

③ 常設展示の内容

・過去を追体験できるメイン展示

原始、古代・中世、近世、近現代の各時代に当時の様子を再現した実物大の環境復原模型を置き、その時代を追体験できるようにする。

・テーマに沿って学習できる周辺展示

各時代の特徴ある史資料を、中テーマと小テーマ、二つのテーマを設けて展示し、より深い学習ができるようにする。

・マルチメディアによる詳しい解説

展示の理解を助けるために、映像と音声と文字情報で詳しい解説をする。

・各時代の植生を再現し、復原された遺構を展示する屋外展示

「縄文の森」「万葉の野」「中世の林」を配置する。

(2) 構成

木曾ヒノキが語る信濃の歴史

中テーマ	展示期間	主な展示資料
赤沢自然休養林と年輪 (実物大環境復原)	令和6年4月～令和7年3月	ヒノキ立林、植生
	令和6年4月～令和7年3月 令和6年9月～令和7年1月 (※福井県年縞博物館と相互貸借事業)	木曾ヒノキ年輪、信濃の歴史年表 水月湖年縞ステンドグラス

原始 信濃の風土がはぐくんだ原始の生活

中テーマ ナウマンゾウと黒曜石

大陸と陸続きだった氷河時代に日本列島にやって来たナウマンゾウは、その後渡ってきた先土器時代（旧石器時代）の人びとと遭遇した。信濃最初の人びとは、現在の北海道なみの寒さのなかで、黒曜石などでつくった道具を使って狩猟生活をおこなっていた。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
最古の狩人	令和6年4月～令和7年3月	ナウマンゾウ模型（実物大環境復原）、ナウマンゾウ第1臼歯模型 他
最初に住んだ人びと	令和6年4月～令和7年3月	竹佐中原遺跡（複製）・香坂山遺跡・日向林B遺跡・大久保南遺跡石器 他
発達した狩りの道具	令和6年4月～令和7年3月	神子柴遺跡（複製）、矢出川遺跡石器 他

中テーマ 中央高地の縄文文化

1万6,000年前、食料の採集・狩猟を基礎に、土器を使う縄文文化がはじまった。約5,500～4,500年前の縄文中期、信州は列島最大規模の人口密集地となった。展示前半は草創期から早期、後半は前期・中期、そして後期の順に生活道具の土器・石器や地域間交流を示す黒曜石やヒスイ大珠などを展示した。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
弓矢と土器の出現	令和6年4月～令和7年3月	星光山荘B遺跡・東裏遺跡他の草創期～早期の尖底土器・石器、栃原岩陰遺跡骨角製装身具（複製） 他
定住のはじまり	令和6年4月～令和7年3月	松原遺跡土器・石器・装身具
華やかな土器文化と生業	令和6年4月～令和7年3月	郷土遺跡土器・石器、屋代遺跡群動物・魚骨、土器・石器、県宝「曾利

		遺跡水煙文土器」（複製）、「国宝土偶「縄文のピーナス」（複製）他
寒冷化する環境の中で	令和6年4月～令和7年3月	国宝土偶「仮面の女神」（複製）、北村遺跡土器・石器、佐野遺跡土器・土偶・石器 他 (※佐野遺跡出土品は山ノ内町から借用)
縄文のムラ（環境復原）	令和6年4月～令和7年3月	竪穴住居、高床建物、縄文の秋の植栽・動物 他

中テーマ 稲をつくった弥生人

3,000年前、大陸から新しい文化と縄文文化の伝統の上に、九州北部では水田稲作をする弥生文化が生まれた。500年後、長野県の地域にも、稲作のくらしがはじまった。令和元年度の「土偶展」から引き続き土偶形容器や人面付き土器などの展示を継続した。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
弥生時代のムラ	令和6年4月～令和7年3月	松原遺跡土器、篠ノ井遺跡群土器・石器、森平遺跡石器、柴宮遺跡銅鐸（複製）他
土偶の変容	令和6年4月～令和7年3月	力石条里遺跡土偶形容器・人形土器、松原遺跡人面付土器他

中テーマ 古墳に葬られた人びと

4世紀ごろ、農業が生み出した富を手にした有力者が、人びとの上に立った。その力は、古墳に示されている。5世紀の有力者は、武人として近畿地方の有力者に結びつき、朝鮮半島との交流もおこなった。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
ムラの生活	令和6年4月～令和7年3月	篠ノ井遺跡群・榎田遺跡土器
馬と科野の武人	令和6年4月～令和7年3月	松原1号墳勾玉 妙前王塚古墳短甲（複製）他
朝鮮半島からの文化	令和6年4月～令和7年3月	大室古墳（複製）、天冠（複製）、帯金具（複製） 他

古代 信濃国のなりたちと人びとの暮らし

中テーマ 条里と水田

人々は自然を開発し、調和を保ちながら農業を営んできた。土地に刻まれている農業の歴史が、ほりだされた水田の跡から読み取れる。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
水田の跡を掘る	令和6年4月～令和7年3月	石川条里遺跡の土層
水田と農具の変化	令和6年4月～令和7年3月	木製農具(鍬、鋤、杵、槌、えぶり)
条里水田	令和6年4月～令和7年3月	グラフィックパネル

中テーマ 都と信濃

7世紀ごろ法律をよりどころとする律令政治が始まった。全国は60以上の国ぐにからなり、国のもとに郡が置かれた。信濃国は10郡に分かれ、人びとはそれまでより都を意識したくらしをおくるようになった。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
東山道を結ぶ	令和6年4月～令和7年3月	藤原宮木簡(複製)、平城京木簡(複製)、長岡京木簡(複製)、延喜式(九条家本・複製)、信濃国印、信濃白布
屋代木簡の世界	令和6年4月～令和7年3月	屋代遺跡群出土刀子・硯(実物)、屋代遺跡群⑥区発掘調査模型、木簡(複製)、米山一政・新津猛寄贈古代瓦、善光寺縁起(実物)

中テーマ 平安時代の村の暮らし

多くの農民が貧しくくらす一方で、豊かな農民があらわれた。彼らは、11～12世紀、武力をたくわえて領主へと成長する。古文書などではわからない彼らのくらしの実態を、発掘調査が明らかにしている。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
富裕農民の世界	令和6年4月～令和7年3月	須恵器大甕、銅印(複製)、円面硯、帯金具、墨書土器
	令和6年4月～令和7年3月	吉田川西遺跡出土緑釉碗・緑釉皿・土師器皿(重要文化財)
	令和6年4月～令和7年3月	貞観寺田地目録(複製)、極楽寺鰐口・磬(複製)

中世 信濃武士と百姓の暮らし

中テーマ 武士の争乱と信濃

領主としての武士は、貴族などと結んで荘園や牧をひらき、騎馬戦を得意とする武装集団となった。しかし、信濃は大名が育たないまま、隣国大名の奪い合う場となっていた。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
合戦図と武士の世界	令和6年4月～10月	源平合戦図屏風
木曾義仲と荘園	令和6年11月～令和7年2月	市河親宗軍忠状・某軍勢催促状（市河文書・複製）、 太平記絵詞（複製）
太刀と刀	令和7年3月～	太刀（銘不明） 刀（銘信舎）

中テーマ 鎌倉時代の善光寺門前

鎌倉時代には、土地の開発がすすんだ。しかし、災害・飢え・伝染病が絶えなかった。善光寺門前の日常生活とはなやかな仏の世界。ここでは現世と来世、地獄と極楽が隣りあった。

テーマ	展示期間	主な展示資料
善光寺と中世の祈り	令和6年4月～令和7年3月	善光寺仏中尊像、密教法具、一遍聖 絵（複製）、一遍上人絵伝（複製）
鎌倉時代の善光寺門前 （実物大環境復原）	令和6年4月～令和7年3月	棚店、在家、仏師屋、寺庵

中テーマ 交通と流通

信濃の武士や寺院・神社は、日本各地や中国・朝鮮と交流し、たくさんの品物や文化をとりいれた。寺社の門前や人の集まるところには市が立って、商業がさかんになり交通も発達した。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
商人と市	令和6年4月～9月	一遍上人絵伝（複製）、宋銭・明銭、 常滑焼
東アジアと信濃	令和6年10月～令和7年3月	青磁花瓶、青磁盤、宋銭・明銭、常 滑焼、湖亭春望図（複製）

近世 江戸時代の町と村の暮らし

中テーマ 領主と町・村

江戸時代になると武士は城下町に住み、役人として俸禄を得る官僚的な制度が確立し、文書によって広い地域を統一的に支配した。村には検地を受けて百姓身分となった人びとが住んだ。村では、大庄屋や番所の番人などの役目を果たした村役人もいた。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
農耕図の世界	令和6年4月～9月	岩波其残「四季耕作図」
大名と百姓	令和6年10月～令和7年3月	松代城下町絵図、真田幸貫像、大名婚礼調度
正保信濃国絵図	令和6年4月～令和7年3月	正保の信濃国絵図（複製）、田野口通人詰御改帳

中テーマ 庶民生活の高まり

農家のくらしは、18世紀に大きく変わった。農業技術が進んで収穫が増し、商品作物の栽培や諸かせぎも発達して収入を得、麻から木綿へ、1日2食から3食へなど、衣食住が向上し、村の社会生活も変わりはじめた。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
くらしの高まり	令和6年4月～令和7年3月	パネル「木綿と染色」「機織り機の変遷」、大麻・カラムシ等の実物
江戸時代の農家	令和6年4月～令和7年3月	江戸前期中層農家（実物大環境復原）、農家で使った生活用品や作業用具

中テーマ 中馬と地場産業の発達

貨幣経済の発達により、信濃国を通る中山道や北国街道などの街道を、さまざまな人や物が流通した。信濃では馬の背に荷物を積んで直接相手先へとどける中馬といわれる輸送手段が発達した。この中馬の活動と結びあって、信濃各地の地場産業が発達した。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
中馬と塩の道	令和6年4月～令和7年3月	ランドサット図
信州中馬	令和6年4月～令和7年3月	中馬装束模型、映像「信州中馬」
中山道福島宿	令和6年4月～9月	木曾街道六十九次之内（複製）
北国往来の宿と旅人	令和6年10月～令和7年3月	溶姫君御下宿帳、溶姫下賜品、矢代宿宿割図

中テーマ 信州文化と民衆意識

江戸時代後半になると、庶民の手による庶民のための文化が各地で発達し、生活が豊かになっていった。本を購入し、本から学ぶことも増えた。酒屋が誕生し、宿場や村でも酒が消費された。松代藩士佐久間象山などが外国の進んだ技術を学んだ。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
豪農の世界	令和6年4月～9月	婚礼の祝い膳（複製）
一揆と世直し	令和6年4月～9月	からかさ連判状（複製）、一揆記録書（模造）
近世の学問	令和6年10月～令和7年3月	寺子屋机、信州祢津三童之図
物見遊山	令和6年10月～令和7年3月	諸国名所百景、旅の携行品、江戸より松代迄道中記
祭りの人形芝居	令和6年4月～令和7年3月	黒田人形、映像「黒田人形『鎌倉三代記』」

近現代 世界につながる県民の暮らし

中テーマ 蚕糸王国長野県

江戸時代末から明治初めにかけて外国との交流が始まると、長野県はいち早く器械製糸をとりいれた。繭・蚕種・生糸などの生産の近代化をはかった結果、日本一の「蚕糸王国」となった。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
長野県の誕生	令和6年4月～令和7年3月	五榜の掲示、筑摩県長野県設置布告、筑摩県絵図、筑摩県の印章、旧筑摩県下大区改正に付達指令（全）、旧筑摩県引継書（一、二）、筑摩県博覧会錦絵
お蚕さま	令和6年4月～令和7年3月	蚕の発育順序模型、蚕種原紙、生糸製糸組合奉納絵馬、蚕玉様の押絵
世界につながる蚕糸業	令和6年4月～令和7年3月	「蚕と桑からの産物」の掛図、器械製糸生糸、シルクラベル
近代の製糸工場	令和6年4月～令和7年3月	富岡製糸場錦絵、埴科郡西条邑六工製糸場之図、工女募集告諭書、横浜開港之図、繰糸鍋

工女の生活	令和6年4月～令和7年3月	製糸工女の服装、教婦の服装、工女の食事
近代の製糸工場（実物大環境復原）	令和6年4月～令和7年3月	ボイラー、水車、繰糸器
長野県の近代化遺産	令和6年4月～令和7年3月	近代化遺産写真パネル

中テーマ 長野県の大正時代

「国会を開き人民の代表を送ろう、政党をつくろう」という自由民権運動を長野県は全国に先がけてくり広げた。大正に入ると、デモクラシーの時代風潮をうけて個人を尊重する教育や、人権を尊重する運動を展開した。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
信州教育	令和6年4月～令和7年3月	黒板、児童用二人掛け机、算盤（五つ玉）、農民美術作品、織物標本
おもちゃ（トピックス）	令和6年4月～令和7年3月	出世双六、キューピー人形、たこ、戦争おもちゃ
戦前の観光信州	令和6年4月～令和7年3月	鳥瞰図『長野電鉄沿線温泉名所案内』 『諏訪大観』 ・観光パンフレット資料

中テーマ 昭和恐慌と満州移民

蚕糸王国長野県は昭和初めの大恐慌で大打撃を受けた。そこから抜け出すため県は満州（中国東北区）移民を積極的にすすめた。移民者や兵士たちの尊い命が奪われ「銃後」の県民も苦しんだ。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
様々な戦争体験	令和6年4月～令和7年3月	満州愛川村風景写真、黒台信濃村からの手紙、出陣日記、被弾した卓袱台、満洲視察講演草稿、満洲旅行の葉、満洲物産図、満洲更級郷開拓団の様子（スケッチ）陸軍3式戦闘機キ61「飛燕」模型 児玉勝子日記 昭和20年

中テーマ 地域とくらしの変化

1945年、終戦を機に日本は民主主義の国として再出発した。1960年代から経済は大いに発展し、生活も向上した。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
長野県の高度経済成長	令和6年4月～令和7年3月	扇風機、蓄音機、真空管式ステレオ、球体洗濯機、攪拌式洗濯機、一槽式洗濯機、足踏み式ミシン、木製冷蔵庫、電気冷蔵庫、ナショナルホームラジオ、4号電話機、オルゴール、腕時計、長野県の平成史パネル、

マルチメディア 「マルチメディア 長野県の歴史散歩」

リース契約を更新した。昨年度に引き続き感染対策（手指消毒用アルコールの設置）を講じ、運用。

一次メニュー	二次メニュー
各時代をみる	原始・古代・中世・近世・近現代の衣食住を映像と解説でみて調べる
各時代をくらべる	原始・古代・中世・近世・近現代の衣食住を比較しながらその違いを学習する
歴史クイズ	原始・古代・中世・近世・近現代コーナーと全時代から歴史クイズを出題
歴史ビデオ	大地に歴史を掘る 古代高速道・東山道 木曾式伐木運材図絵 犀川線のあゆみ
唱歌・童謡のふるさと信州	県内を代表的する唱歌・童謡の歌詞 楽しく学べる童謡・唱歌クイズ

屋外展示 歴史のこみち		
中テーマ	展示期間	主な展示資料
縄文の森	令和6年4月～令和7年3月	植栽
5,000～6,000年前、縄文人が生活の舞台とした森は、クリ、コナラ、クヌギなどの木の実をもたらし、縄文人はこれら森の資源を積極的に活用し、アク（シブ）をぬいたりして食べた。また、漆を使って木器や土器を美しく仕上げた。		敷石住居跡 石棺墓の石組み
万葉の野	令和6年4月～令和7年3月	植栽

古代の野は、原則としてだれもが自由に利用できる地であり、その動植物は人びとの生活にとってかかせないものであった。人びとの心情は、万葉集の数多くの歌に詠まれている。		竪穴式石室
中世の林	令和6年4月～令和7年3月	植栽
中世では、屋敷のまわりに柿・梨・胡桃・柘榴・唐桃などの果物類が植えてあった。村のあちこちには栗林や竹林もあった。枯死した柳を伐採した。		五輪塔群

(3) 新規小テーマ

今年度なし。

2 企画展示等

● 2024 年所蔵品展「至宝の名品 学芸員のイチオシ 近現代歴史資料編～長野県民がみた幕末から現代～」

令和 6 年 3 月 23 日(土)～6 月 16 日(日)

(開催日数 86 日間)

観覧者数 8,426 人

主催 長野県立歴史館

後援 信濃毎日新聞社・朝日新聞長野総局・読売新聞長野支局・毎日新聞長野支局・産経新聞社長野支局・中日新聞社・長野市民新聞社・市民タイムス・市民新聞グループ(7 紙)・長野日報社・南信州新聞社・NHK 長野放送局・SBC 信越放送、NB S 長野放送、TSB テレビ信州、abn 長野朝日放送、(一社)長野県ケーブルテレビ協議会、FM 長野、FM ぜんこうじ、屋代有線放送電話農業協同組合・(公財)八十二文化財団

〈展示趣旨〉

長野県立歴史館では令和 2 年から当館の所蔵品を公開する所蔵品展を開催してきた。今回の所蔵品展では、幕末以降の近現代史に関する史料に焦点を当てる。近現代は、記録媒体・方法の多様化や大衆消費社会の成立等によって、それ以前の時代とは比較にならないほどの膨大な数量・種類の史料が残存しており、当館でも多様な近現代史料を収集してきた。その中から今回の所蔵品展では、近年に当館所蔵となったものや、これまで公開する機会がなかったものを中心に公開する。

展示史料は、「近現代史料の多様性を示すもの」・「近現代史上の画期となるできごとや近現代における時代・社

会の変化を象徴するもの」という 2 つの観点に基づいて選定した上で、7 つのテーマに分類して展示を構成した。

この 7 つのテーマの展示を通じて、急激な時代や社会の変化をともしなれた近・現代という時代に長野県民がどのように向き合ったかを知ってもらいたい。また、多様な近現代史料を未来に伝えていくための収集・整理・保存活動を続けてきた県立歴史館の役割を知ってもらいたい。

〈主な展示資料〉

近年当館所蔵になったものや、これまで公開する機会がなかったもの

- ①岩波其残「農耕図」
 - ②清水家文書「黒船来航図関係資料」
 - ③明治 11 年明治天皇巡幸「信中古器真図乾・坤」「御巡幸一件(乾)」「御巡幸一件留(全)」「北陸道御巡幸図」「北陸東海道御巡幸長野県関係概要図」「宮内省下賜品」
 - ④満州移民関係資料「ゆめか」「丸田恒雄満州更級郡郷絵画資料」「終戦の記」「出陣日記」
 - ⑤企業疎開と地域「日本測定器株式会社疎開資料」(「工場図面」、「井深大の手紙」)
 - ⑥埋蔵文化財調査記録「平出遺跡」「郷土遺跡」「篠ノ井遺跡群」
 - ⑦雑誌創刊号コレクション「月間フランチエイジング」「別冊信州」(小展示室)
- 展示総数 111 点

〈印刷物〉

ポスター	B2 判 片面カラー	2,000 部
チラシ	A4 判 両面カラー	18,000 部
招待券	カラー	3,000 部

〈担当〉

主管課長 水澤教子

総合情報課 小林寿英 鈴木幸香 河野智枝

考古資料課 白沢勝彦

文献史料課 花岡康隆

●夏季企画展

「疾風怒濤 木曾義仲～文書と絵画で見る
義仲の一生～」

令和6年（2024年）7月13日（土）～8
月25日（日）（開催日数 39 日間）

観覧者数 5,226 人

主催 長野県立歴史館

後援 木曾町 南木曾町 上松町

木祖村 王滝村 大桑村

上田市 上田市教育委員会

富山県小矢部市

信濃毎日新聞社、朝日新聞長野総局、
読売新聞長野支局、毎日新聞長野支
局、産経新聞社長野支局、中日新聞
社、長野市民新聞社、市民タイムス、
市民新聞グループ、長野日報社、南
信州新聞社、NHK長野放送局、S
BC信越放送、NBS長野放送、T
SBテレビ信州、abn長野朝日放
送、（一社）長野県ケーブルテレビ
協議会、FM長野、FMぜんこうじ、
屋代有線放送電話農業共同組合、
（公財）八十二文化財団

〈展示趣旨〉

長野県歌「信濃の国」で歌われた木曾
義仲が近江国打出浜で没して 840 年で
す。義仲が生きた時代は争乱と飢饉が全
国で頻発した困難な時代でした。

当時の武士は、京都で摂関家に武芸
の技術で仕える貴族としての武士がい
ます。彼らを京武者といいました。義仲

の祖父為義、父義賢はまさに京武者の代
表格です。彼らは地方に下向し地方の武
士を糾合しながら勢力を拡大していき
ます。義仲が信濃で中原兼遠の婿となっ
て挙兵したのもそうした文脈でとらえ
ることができます。以仁王とともに平家
打倒の挙兵をした源頼政の養子になっ
た源仲家は義仲の兄でした。義仲の挙兵
はこうした広いネットワークでとらえ
る必要があります。

本企画展では、木曾義仲の実像を京都
とのつながりでとらえなおしました。横
田河原の戦いや北陸への転戦を経た義
仲の華々しい戦績は華麗な屏風・絵巻等
で紹介します。京都に入った義仲は平家
を追い出しました。義仲が京都で出した
書状も初公開します。

義仲は後白河法皇と対立したため法
皇を幽閉し政権維持をはかるクーデタ
ーをおこないます。新たに関白には義仲
の義兄松殿師家が就任しました。義仲は
平家から没収した荘園を継承し征東大
将軍に任じられましたが源頼朝による
追討軍に都を追われます。義仲は琵琶湖
辺の打出浜で戦死しました。入京した際
の義仲の兵力は5万騎、最後はわずか五
騎となってしまいました。義仲の敗北は、
地域ごとに分散した武士の糾合に失敗
した結果ともいえます。

しかし義仲は江戸時代歌舞伎や浄瑠
璃などで数多く演じられています。その
栄枯盛衰の生涯は俳人松尾芭蕉や、新井
白石などから共感されています。府立第
三中学生徒だった芥川龍之介は義仲を
「慕うべき情熱家」として高く評価して
います。敗者として描かれる義仲がかく
も愛された理由は何か。企画展を通じて
皆さんと一緒に考えていきたいと思い

ます。

〈展示構成〉

《企画展示室》

プロローグ いまなぜ義仲か

テーマ1 平家の進出と北信濃

テーマ2 木曾義仲の挙兵と転戦一都
と東国のネットワーク

テーマ3 義仲の政務と文書

テーマ4 義仲の没落

エピローグ 後世の義仲像

《第2展示室》

「義仲のあと 鎌倉幕府と市河文書」

重要文化財「市河文書」(複製 当館蔵)
のうち平安時代・鎌倉時代の文書7点を展
示し、義仲没後の信濃が鎌倉幕府の支配下
に置かれていったことを明示していく。

《廊下展示》

パネルでたどる義仲旧跡紀行

〈主な展示資料〉

- ・木曾義仲像(義仲寺)・鳥羽院庁下文(重要文化財 当館蔵)・平家某下文(原本重要文化財 市河文書 複製)・台記(国立歴史民俗博物館蔵)・源平盛衰記平家物語・木曾義仲合戦図屏風(左隻 国立歴史民俗博物館)・木曾義仲合戦図屏風(1隻 当館)・きそのぐわんしょ(卷子 当館)・奉納齋藤実盛兜(原本重要文化財 複製 多太神社)・雑録追加七「木曾義仲下文写」(石川県立図書館)・木曾義仲下文(重要文化財 本間美術館 市河文書)・木曾義仲書状(国宝 東大寺文書)・木曾義仲下文案(国宝 東大寺薬師院文書)・吉記(国立歴史民俗博物館蔵)・甘露寺家所蔵本・木曾義仲合戦図屏風(左隻 国立歴史民俗博物館)・浮世絵(当館)・木曾義仲最期図屏風(最上義光歴史館)・木曾物語絵巻 下(国学院大学図書館)・木曾義

仲出陣之図(掛幅 当館)・平某下文
(梶原景時下文力 当館) など

〈行事〉

(1) オープニングセレモニー

7/12(金) 15:30~16:30 展示室前

出席者 落語家立川談慶、荒井 武志、
竹内 正美(長野県議会議員)、直江崇
(県民文化部長)

(2) 講演会

開館30周年記念寄席

(講堂) 参加者 217名

7月13日(土) 13:30~15:00

演題 落語「源平盛衰記」

落語「柳田格之進」

講師 立川談慶(立川流真打・落語家)

(3) 記念講演会 参加者 207名

7月27日(土) 13:30~15:00

演題「源頼朝と木曾義仲」

講師 長村祥知(富山大学講師)

※終了後講演会ギャラリートーク

(4) 企画展講座1 参加者 135名

8月10日(土) 13:30~15:00

演題「木曾義仲武将列伝!」

講師 村石正行(当館文献史料課長)

※終了後講演会ギャラリートーク

(5) 企画展講座2 参加者 145名

8月10日(土) 13:30~15:00

演題「義仲 北陸路をゆくー義仲合
戦ばなしー」

講師 村石正行(当館文献史料課長)

※終了後講演会ギャラリートーク

(6) 体験イベント「手づくりの甲冑を着

て「はいチーズ!」

内容 段ボールで制作した甲冑を着用
し武士の装いを体験する企画。

実施日 8月3日(土)・4日(日)・

10日(土)・11日(日)・12日(月)

参加者 68名

(7) 体験学習「義仲の花押をなぞってみよう」

内容 義仲の花押をなぞり紙に書写する体験学習。会期中随時実施。

〈印刷物〉

- (1) 図録 A4 判 100 頁 1300 部
- (2) ポスター 2,100 枚
- (3) チラシ 23,000 枚
- (4) 招待券 3,500 枚
- (5) リーフレット 5,000 部
- (6) 史料翻刻 2000 部

〈担当者〉

主管課長 村石正行
文献史料課 新井寛子 鈴木 実
花岡康隆
総合情報課 中山 敦

●秋季企画展

「描かれた川中島合戦～屏風・錦絵にみる戦の世界～」

令和 6 年 10 月 12 日(土)～11 月 24 日(日)

(開催日数 44 日)

総観覧者数 4,793 人

主催 長野県立歴史館

後援 信濃毎日新聞社、朝日新聞長野総局、
読売新聞長野支局、毎日新聞長野支局、
産経新聞社長野支局、中日新聞社、
長野市民新聞社、市民タイムス、
市民新聞グループ、長野日報社
南信州新聞社、NHK長野放送局、S
BC 信越放送、NBS 長野放送、T S
B テレビ信州、a b n 長野朝日放送、
(一社)長野県ケーブルテレビ協議会、
FM 長野、FM ぜんこうじ、屋代有線
放送電話農業協同組合、(公財) 八十二文化財団

〈展示趣旨〉

川中島合戦は第 5 回の戦いを終えてから令和 6(2024)年で 460 年にあたる。川中島で行われた第 4 回の戦いが有名だが、川中島合戦の評価は現在に至っても様々な意見がある。殊に、今回展示する岩国本と和歌山本といわれる川中島合戦図屏風は一騎打ちの場面が両屏風に描かれまずそこに目が向くが、今企画展では信州の武将や地元の民にもスポットを当て屏風を違った視点から見る機会にした。

「描かれた川中島合戦」という観点から、以下の点に着目し、描かれた戦の世界を後世の人がどう見ていたかを紹介。

①県内外皆様の御協力をいただいで購入した史料を展示したり、長野・新潟・山梨の三県連携でそれぞれの館で所蔵する貴重な史料を相互貸借したりすることで、伝来する川中島合戦の一面を見ていただき、来館者に川中島合戦に関心をもっていただく。

②今回の展示では、武田方が作成した「甲陽軍鑑」をもとにした川中島合戦図屏風(岩国本)と、「北越軍談」・「川中島五箇度合戦記」等をもとに上杉 方から描かれた川中島合戦図屏風(和歌山本)を一堂に展示する。その 2 隻は歴史の事実を反映しているものではない。では何が描かれていて、何のために描かれ、なぜ場面が違うのか。製作の経緯を説明しながら描かれた川中島合戦を紹介する。また、戦に関わった信州人はどこに描かれているのかも紹介する。

③合戦図屏風では勇猛さが描かれる一方、反面では残忍な場面も描かれる。屏風が問いかけるものは何か。企画展を通じて皆さんと一緒に考えていきたい。

④江戸時代以降、川中島合戦はいろいろな作者によって描かれている。江戸時代から明治時代に描かれた川中島合戦の錦絵を娯楽の一つとして味わうとともに、時代とともに川中島合戦を当時の人たちがどう見ていたのかを視点の一つに紹介する。

〈展示構成〉

《企画展示室》

第一章 書き記された川中島合戦

第二章 屏風に描かれた川中島合戦

第三章 錦絵に描かれた川中島合戦

《小展示室》 「描かれた信濃武士」 信州武士をキャプションにて紹介

「村上義清」「井上清政」「高梨政頼」「保科正俊」「真田幸綱」「島津月下斎（忠直）」

「望月信雅」「栗田讃岐（永寿）」「芦田信守（下野守）」「相木市兵衛」

〈主な展示資料〉

武田信玄書状（当館蔵）、「市河文書」武田晴信書状（市河藤若あて）（山梨県博蔵）、「宝翰集」上杉政虎感状（新潟県博蔵の2点）、山本勘助画像（山梨県博蔵）、「軍法兵法記」「甲陽軍鑑」「甲陽軍鑑大全」「武田三大軍記」「甲陽軍鑑評判鈍之記」「北越軍談」「越後軍記」

「北越太平記」「管窺武鑑」（当館蔵）、武田信玄、上杉謙信画像（当館蔵）、川中島合戦図屏風（岩国本）（山口・柏原美術館蔵）、川中島合戦図屏風（和歌山本）（和歌山県立博物館蔵）川中島合戦図屏風（当館寄託）、川中島合戦図屏風（枕屏風）（当館寄託）、山本勘助入道道鬼斎 乾より、川中嶋大合戦之図 坤より、永禄四年川中島大合戦。上杉・村上・鬼兒島・和田四将之図、上杉景虎・馬場美濃守、原隼人亮（川中島大合戦組討尽）（当館蔵）、川中島合戦謙信車懸図、武田上杉川中島大合戦図、二代国綱信州川中嶋武田上杉和睦図、信州川中嶋武田の正兵西条山を引き返し雨宮の渡りを越え越

後方甘粕近江守と戦ふ図（長野市博蔵）

〈行事〉

(1) オープニングセレモニー

10月12日（金） 企画展示室前

出席者 小原清文（新潟県立歴史博物館長）、荒井 武志、竹内 正美（長野県議会議員）池田昌代（県民文化部次長）

(2) 企画展講演 1

「川中島合戦の真実」

10月19日（土）13時30分～15時00分

笹本 正治（当館特別館長）

参加人数 114名

(3) 企画展講演 2

「絵画に見る川中島合戦」

11月16日（土）13時30分～15時00分

守屋 正彦（山梨県立博物館長）

参加人数 86名

(4) 企画展講座

「新・川中島合戦論」

11月2日（土）13時30分～15時00分

村石 正行（当館 文献史料課長）

参加人数 117名

〈印刷物〉

ポスター B2判 片面カラー 2,100枚

チラシ A4判 両面カラー 23,000枚

招待券 カラー 3,500枚

図録 A4判カラー80頁 1,300部

〈担当〉

主管課長 水澤教子

総合情報課 黒川稔 柴田洋孝 鈴木幸香

●冬季企画展

「佐久間象山遺墨展 ～書は人なり～」

会期：令和7年（2025）1月11日（土）～2月24日（月・祝）

開館日数：38日 入場者：2,569人

主催：長野県立歴史館／

後援：信濃毎日新聞社、朝日新聞長野総

局、読売新聞長野支局、毎日新聞長野支局、産経新聞社長野支局、中日新聞社、長野市民新聞社、市民タイムス、市民新聞グループ、長野日報社、南信州新聞社、NHK長野放送局、SBC信越放送、NBS長野放送、TSBテレビ信州、abn長野朝日放送、(一社)長野県ケーブルテレビ協議会、FM長野、FMぜんこうじ、屋代有線放送電話農業協同組合、(公財)八十二文化財団／
協力：真田宝物館、台東区立書道博物館、鑛山館

〈展示趣旨〉

令和7年(2025)は、松代出身の儒学者で砲術などの洋学にも通じた佐久間象山(しょうざん/ぞうざん)(1811~1864)の没後160年の節目の年にあたります。象山は、学者・思想家としてのみならず、中国文化全般におよぶ深い教養を持つ「文人」としても一流で、とりわけその書は生前より高い評価を受けていました。

象山は若くして中国東晋の王羲之を手本に学び、さらに30代後半には唐代の顔真卿の拓本を入手したのを契機に、その作品は顔真卿の強い影響を感じさせる厳格で力強い書風へと一変しました。

その遺墨は、地元長野市を中心に北信地域に数多く残されています。しかも、その年代は、幼少期から晩年までに及びます。

一方、象山を支えた八田家、関家など地元の有力者など交流のあった人たちに宛てた書簡は、象山の日常をうかがうのに有効だけでなく、その人となりを彷彿させる貴重な資料でもあります。

本展では多方面に活躍した象山の業績のうち、地元に残された書と文人画に加えて、私的な書簡とそこに記された実物

資料を合わせて紹介、書法を厳格に追究した幕末の文人としての側面と、日常を生きた人間としての象山を紹介しました。

〈展示構成〉

企画展示室

はじめに／Ⅰ章 初期作品／Ⅱ章 行書、楷書／Ⅲ章 隸書の碑と扁額／Ⅳ章 文人画／Ⅴ章 書簡と実物資料／Ⅵ章 一晩年／おわりに—メッセージ
特集：古典と臨書1 顔真卿／古典と臨書2 瘞鶴銘／古典と臨書3 石門頌／雅号と印／扁額／

小展示室

高等学校書道班との共催企画

参加校：屋代高等学校、屋代南高等学校
校／内容：高校生の作品展示

〈主な借用先〉

真田宝物館、千曲市教育委員会、台東区立書道博物館ほか

〈行事〉

(1) オープニングセレモニー

1月10日(金) 13:00~14:00

企画展示室前

来賓：関昇一郎(長野県副知事)／降幡浩樹(真田宝物館長)／屋代高校、屋代南高校の皆さん／荒井武志、竹内正美(長野県議会議員)

(2) トークセッション

1月25日(土) 13:00／登壇：川村龍洲氏(書家)、中村信宏氏(台東区立書道博物館学芸員)／演題：書家としての佐久間象山／入場者：172名

(3) 講演会

2月15日(土) 13:00／演題：佐久間象山研究の現在／講師：降幡浩樹(真田宝物館長)／入場者：157名

(4) 体験イベント めりえ絵はがき制作体験

日時：会期中／場所：企画展示室前（2席設置）／内容：佐久間象山作品から双鉤法で輪郭をとり、印刷した絵葉書（8種類）に彩色する／画材：水彩色鉛筆、水筆など

〈印刷物〉

図録：A4判120ページ 1,300部 会期中販売数331冊

ポスター：B2判 2,100枚

チラシ：A4判 18,000枚

招待券：3,000枚

ぬりえ絵はがき：8種類各200枚

〈担当〉

主担当：林誠、河野智枝、小林寿英

主管課長：水澤教子

●令和7年所蔵品展 「原始～開館30年のあゆみ展～」

令和7年(2025年)3月15日(土)～6月15日(日) (開館78日)

観覧者数1054人(3月15日～3月30日)

主催 長野県立歴史館

後援 信濃毎日新聞社・朝日新聞長野総局・読売新聞長野支局・毎日新聞長野支局・産経新聞社長野支局・中日新聞社・長野市民新聞社・市民タイムス・市民新聞グループ(7紙)・長野日報社・南信州新聞社・NHK長野放送局、SBC信越放送、NB S長野放送、TSBテレビ信州、abn長野朝日放送、(一社)長野県ケーブルテレビ協議会、FM長野、FMぜんこうじ・屋代有線放送電話農業協同組合・〈公財〉八十二文化財団

〈展示趣旨〉

当館が30年間に収集した考古資料を対象とし、これまで展示の機会が少なかった所蔵品を中心に展示する。また長野県

史(考古資料編)刊行後36年が経過し、長野県が蓄積した成果を総括する。

〈主な展示資料〉 全て当館蔵

信濃町日向林B遺跡台形石器、斧形石器、佐久市下茂内遺跡槍先形尖頭器接合資料、信濃町東裏遺跡土器・石器、宮田村中越遺跡土器・石器、長野市松原遺跡土器・石器、塩尻市吉田向井遺跡土器、小諸市郷土遺跡土器・石器、小諸市岩下遺跡石器、安曇野市北村遺跡出土人骨、高森町北原遺跡土器・石器、長野市東町遺跡土器、長野市榎田遺跡石器、長野市篠ノ井遺跡群土器・鉄器・青銅器、飯田市殿原遺跡土器・石器、長野県石川条里遺跡土器・石製品、坂城町東平古墳埴輪、上田市陣馬塚古墳直刀、伊那市富県出土鉄馬、飯田市神送塚古墳陶馬、長野市大室古墳群土馬、清水原古墳土馬、阿智村神坂峠玉類、立科町雨飾峠馬具、軽井沢町入山峠玉類、正倉院白布(レプリカ)、「信濃国印」(復元)など

〈行事〉

(1) オープニングセレモニー

3月14日(金) 15:00～17:00

企画展示室前

来賓：山岸喜昭、荒井武志、竹内正美(長野県議会議員)

※15:00～16:00政治情勢により、報道関係者を対象に2回に分けて実施

〈印刷物〉

ポスター B2判 片面カラー 2,100部

チラシ A4判 両面カラー 18,000部

招待券 カラー 3,000部

「歴史館まなび隊」 6,000部

〈担当〉

主管課長 水澤教子

総合情報課 町田勝則 河野智枝

柴田洋孝 小松亜紀

考古資料課 石丸敦史

原始時代別研究会会員

Ⅲ 教育普及公開

1 学校・団体見学 実施記録

(1) 学校見学 実施記録

月	日	曜	時 間	団 体 名	児童数	引率数	学級数	グループ数	解説
4	9	火	13:00-14:30	屋代高等学校附属中学校1年	80	5	2	2	有
4	11	木	9:10-10:40	長野市立南部小学校6年	81	3	3	3	有
4	12	金	9:10-10:40	長野市立塩崎小学校6年	43	5	2	2	有
4	19	金	10:40-14:30	中野市立中野小学校6年	140	7	4	4	有
4	25	木	9:10-10:40	長野市立川中島小学校6年	91	5	3	3	有
5	1	水	9:10-10:40	長野市立古里小学校6年	99	5	3	3	有
5	1	水	10:40-12:10	長野市立三本柳小学校6年	113	5	4	4	有
5	2	木	9:10-10:40	東御市立滋野小学校6年	35	3	2	2	有
5	2	木	10:40-12:10	佐久市立中佐都小学校6年	69	5	2	2	有
5	2	木	13:00-14:30	長野市立長沼小学校6年	11	2	1	1	有
5	8	水	9:10-10:40	千曲市立東小学校6年	41	2	2	2	有
5	8	水	10:40-12:10	飯山市立秋津小学校6年	16	2	1	1	有
5	9	木	10:40-12:10	長野市立通明小学校6年	121	6	4	4	有
5	10	金	9:10-10:40	上田市立東小学校6年	79	4	3	3	有
5	10	金	10:40-12:10	軽井沢町立軽井沢中部小学校6年	70	4	2	2	有
5	10	金	13:00-14:30	千曲市立五加小学校6年	75	5	3	3	有
5	14	火	9:30-11:00	長野市立昭和小学校6年	102	5	3	3	有
5	14	火	10:40-12:10	千曲市立埴生小学校6年	92	4	3	3	有
5	14	火	13:00-14:30	長野市立樺花小学校6年	74	3	3	3	有
5	15	水	9:10-10:40	長野市立朝陽小学校6年	109	7	3	3	有
5	15	水	10:40-12:10	長野市立中条小学校6年	28	10	1	1	有
5	15	水		長野市立七二会小学校6年					有
5	15	水		長野市立信州新町小学校6年					有
5	15	水		小川村立小川小学校6年					有
5	16	木	9:10-10:40	長野市立川田小学校6年	31	2	1	1	有
5	16	木	9:10-10:40	長野市立共和小学校6年	46	3	2	2	有
5	16	木	10:40-12:10	南牧村立南牧北小学校6年	15	4	1	1	有
5	16	木		南牧村立南牧南小学校6年					有
5	16	木	10:40-12:10	長野市立三輪小学校6年	60	3	2	2	有
5	16	木	13:00-14:30	長野市立柳原小学校6年	66	3	2	2	有
5	17	金	9:10-10:40	上田市立北小学校6年	82	7	3	3	有
5	17	金	10:20-10:40	南長野幼稚園年中	41	7	1	1	無
5	17	金	10:40-12:10	安曇野市立穂高北小学校6年	98	7	3	3	有
5	17	金	13:00-14:30	長野市立若槻小学校6年	67	4	2	2	有
5	17	金	14:30-15:30	千曲市立上山田小学校6年	23	3	1	1	有
5	17	金	14:30-16:00	長野市立松代小学校6年	36	3	2	2	有
5	21	火	10:40-12:10	大町市立大町東小学校6年	18	2	1	1	有
5	22	水	9:10-10:40	松川村立松川小学校6年	82	5	3	3	有
5	22	水	10:50-11:50	稲荷山養護学校高等部総合コース2年	24	19	2	2	有
5	23	木	9:10-10:40	学習院大学史学科1年	126	9	2	2	有
5	24	金	9:10-10:40	池田小学校6年	62	5	3	3	有
5	24	金		会染小学校6年					
5	24	金	10:40-12:10	長野市立信里小学校6年	6	2	1	1	有
5	24	金	11:25-12:10	東京都大田区立北糀谷小学校6年	42	6	2	1	無
5	28	火	9:10-10:40	安曇野市立豊科東小学校6年	26	4	1	1	有
5	28	火	9:10-10:40	安曇野市立三郷小学校6年	148	7	5	5	有
5	28	火	13:00-14:30	東京都大田区立赤松小学校6年	50	7	2	2	有
5	29	水	10:40-12:10	須坂市立仁礼小学校6年	23	2	1	1	有
5	29	水	10:40-12:10	中野市立高丘小学校6年	35	2	1	1	有
5	30	木	9:10-10:40	須坂市立豊丘小学校6年	9	2	1	1	有
5	30	木	9:30-10:40	群馬県長野原町立中央小学校6年	11	5	1	1	有
5	30	木	10:40-11:40	東京都大田区立東六郷小学校6年	53	7	2	2	有
5	31	金	9:10-10:40	上田市立川西小学校6年	46	3	2	2	有
5	31	金	10:40-12:10	飯綱町立三水小学校6年	27	2	1	1	有
6	4	火	9:10-10:40	東京都大田区立中萩中小学校6年	63	8	2	2	有
6	4	火	10:40-12:10	長野市立城東小学校6年	57	5	2	2	有
6	4	火	13:00-14:30	須坂市立栗ヶ丘小学校6年	79	6	3	3	有
6	4	火	14:30-15:30	東京都大田区立矢口東小学校6年	53	6	1	1	無
6	5	水	9:10-10:40	長野市立青木島小学校6年	116	5	4	4	有
6	5	水	10:40-12:10	坂城町立村上小学校6年	21	2	1	1	有
6	5	水	10:40-12:10	生坂村立生坂小学校6年	11	3	1	1	有
6	6	木	9:10-10:40	上田市立本原小学校6年	37	3	2	2	有
6	6	木	9:10-10:40	白馬村立白馬南小学校6年	20	2	1	1	有
6	6	木	10:40-12:00	松本市立芳川小学校6年	107	6	4	4	有
6	6	木	13:00-14:30	安曇野市立豊科南小学校6年	115	5	4	4	有
6	7	金	9:10-10:40	松本市立二子小学校6年	37	4	2	2	有

6	7	金	9:10-10:40	長野市立豊野東小学校6年	22	2	1	1	有
6	7	金	10:40-12:10	上田市立神川小学校6年	73	4	4	3	有
6	7	金	13:00-14:30	長野市立浅川小学校6年	53	3	2	2	有
6	7	金	13:00-14:30	青木村立青木小学校6年	33	3	1	1	有
6	7	金	14:30-16:00	長野市立芋井小6年	44	5	2	2	有
				長野市立加茂小6年					
				長野市立鬼無里小6年					
6	11	火	9:10-10:40	大町市立大町北小学校6年	42	4	2	2	有
6	11	火	9:10-10:40	上田市立傍陽小学校6年	17	3	1	1	有
6	11	火	10:40-14:30	松本市立鎌田小学校6年	127	7	4	4	有
6	11	火	10:40-12:10	安曇野市立明北小学校6年	9	2	1	1	有
6	12	水	9:10-10:40	長野市立保科小学校6年	18	2	1	1	有
6	12	水	9:10-10:40	佐久市立中込小学校	52	2	2	2	有
6	12	水	10:40-12:10	山ノ内町立東小学校6年	28	2	1	1	有
6	12	水	10:40-12:10	千曲市立屋代小学校6年	82	4	3	3	有
6	13	木	9:10-10:40	長野市立篠ノ井西小学校6年	108	5	3	3	有
6	13	木	9:10-10:40	栄村立栄小学校6年	7	3	1	1	有
6	13	木	10:40-12:10	上田市立神科小学校6年	110	5	4	4	有
6	13	木	13:00-14:30	大町市立美麻小中学校6年	9	2	1	1	有
6	13	木	13:00-14:30	中野市立平野小学校6年	69	5	2	2	有
6	13	木	14:30-16:00	東京都練馬区立大泉第一小学校5・6年	87	12	4	4	有
6	14	金	9:10-10:40	上田市立中塩田小学校6年	84	4	3	3	有
6	14	金	9:10-10:40	千曲市立更級小学校6年	28	2	1	1	有
6	14	金	10:40-12:10	上田市立長小学校6年	18	2	1	1	有
6	14	金	10:40-12:10	麻績村立麻績小学校6年	20	3	1	1	有
6	14	金	13:00-14:30	上田市立塩川小学校6年	27	2	1	1	有
6	14	金	13:00-14:30	飯山市立飯山小学校6年	30	4	1	1	有
6	18	火	9:10-10:40	佐久市立東小学校6年	42	3	2	2	有
6	18	火	10:40-12:10	上田市立清明小学校6年	50	4	2	2	有
6	18	火	10:40-12:10	須坂市立豊洲小学校6年	28	2	1	1	有
6	18	火	13:00-14:30	上田市立川辺小学校6年	78	5	3	3	有
6	19	水	9:10-10:40	東御市立祢津小学校6年	44	3	2	2	有
6	19	水	10:40-12:10	信濃町立信濃小中学校6年	40	4	2	2	有
6	19	水	13:00-14:30	東京都練馬区立光が丘春の風小学校6年	81	12	3	3	有
6	20	木	9:10-10:40	松本市立梓川小学校6年	142	5	4	4	有
6	20	木	10:40-12:10	長野市立大豆島小学校6年	111	5	4	4	有
6	20	木	13:00-14:20	上田市立城下小学校6年	59	4	2	2	有
6	21	金	9:10-10:40	佐久平浅間小学校6年	126	7	4	4	有
6	21	金	10:40-12:10	松本市立田川小学校6年	42	4	2	2	有
6	21	金	10:40-12:10	須坂市立旭ヶ丘小学校6年	34	2	1	1	有
6	21	金	13:00-14:30	北相木小学校6年	22	4	2	2	有
				南相木小学校6年					
6	21	金	13:00-14:30	長野市立鍋屋田小学校6年	27	3	1	1	有
6	21	金	14:30-16:00	箕輪町立箕輪中部小学校4年	95	8	3	3	有
6	25	火	9:10-10:40	上田市立南小学校6年	109	5	4	4	有
6	25	火	10:40-12:10	松本市立本郷小学校6年	65	3	2	2	有
6	25	火	10:40-12:10	東京都東大田区立糎谷小学校6年	54	9	2	2	有
6	25	火	13:00-14:30	安曇野市立明南小学校6年	35	3	1	1	有
6	25	火	13:00-14:30	須坂市立井上小学校	46	3	2	2	有
6	25	火	14:30-16:00	東京都大田区立大森第三小学校6年	86	9	3	3	有
6	26	水	9:10-10:40	御代田町立御代田南小学校6年	94	5	3	3	有
6	26	水	10:40-12:00	木島平村立木島平小学校6年	40	3	2	2	有
6	27	木	9:10-10:40	長野市立下米鉋小学校6年	90	4	3	3	有
6	27	木	13:00-14:30	長野市立徳間小学校6年	100	5	3	3	有
6	28	金	9:10-10:40	松本市立源池小学校6年	46	2	2	2	有
6	28	金	9:10-10:40	長野市立寺尾小学校6年	18	2	1	1	有
6	28	金	10:40-12:10	上田市立西小学校6年	58	3	2	2	有
6	28	金	10:40-12:10	長野市立大岡小学校6年	3	1	1	1	有
6	28	金	10:40-12:10	須坂市立高甫小学校6年	25	2	1	1	有
6	28	金	13:00-14:30	須坂市立日野小学校6年	47	4	2	2	有
6	28	金	14:30-16:00	伊那市立西箕輪小学校4年	65	6	2	2	有
7	2	火	9:30-10:20	東京都大田区立馬込第二小学校6年	69	6	2	2	有
7	2	火	10:40-12:10	安曇野市立豊科北小学校6年	87	6	3	3	有
7	2	火	13:00-14:30	飯綱町立牟礼小学校6年	46	4	2	2	有
7	3	水	10:40-12:10	佐久穂町立佐久穂小学校6年	86	4	3	3	有
7	4	木	9:10-10:40	長野市立芹田小学校6年	116	7	4	4	有
7	4	木	10:40-12:10	小諸市立東小学校6年	67	4	3	3	有
7	5	金	9:10-10:40	千曲市立治田小学校6年	53	3	2	2	有
7	5	金	9:10-10:40	東御市立田中小学校6年	77	4	3	3	有
7	5	金	10:40-11:30	あかね保育園	22	4	2	2	有
7	5	金	13:00-14:30	松本市立菅野小学校6年	94	4	3	3	有
7	5	金	13:00-14:30	野沢温泉小学校6年	18	2	1	1	有
7	10	水	9:30-10:40	東京都大田区立入新井第四小学校6年	68	7	2	2	有

7	10	水	10:40-12:10	塩尻市立吉田小学校	98	4	3	3	有
7	10	水	13:00-14:30	飯綱学園グリーン・ヒルズ小学校	8	2	1	1	有
7	12	金	9:10-10:40	佐久市立浅科小学校6年	44	3	2	3	有
7	12	金	10:40-12:10	千曲市立戸倉小学校6学年	42	4	2	2	有
7	12	金	10:40-12:10	軽井沢町立東部小学校6年	24	3	1	1	有
7	17	水	9:10-10:40	信州大学教育学部附属松本小学校6年	69	4	2	2	有
7	18	木	12:40-13:30	伊那養護学校高等部2年	22	12	2	2	有
7	19	金	9:10-10:40	佐久市立佐久城山小学校6年	63	4	2	2	有
7	19	金	10:40-12:10	東御市立和小学校6年	50	4	2	2	有
7	19	金	13:00-14:30	佐久市立望月小学校6年	56	3	2	2	有
7	19	金		小海町立小海小学校6年	22	2	1	1	有
7	23	火	10:00-12:00	鎌倉学園中・高等学校中1～高2年	19	1	1	1	無
8	28	水	10:30-12:00	早稲田大学大学院	10	2	1	1	有
8	29	木	9:10-10:40	上田市立浦里小学校6年	8	2	1	1	有
9	3	火	9:10-10:40	長野市立安茂里小学校6年	32	2	1	1	有
9	5	木	10:40-12:10	上田市立丸子北小学校6年	58	3	2	2	有
9	6	金	9:10-10:40	駒ヶ根市立赤穂小学校4年	97	6	3	3	有
9	6	金	10:40-12:10	長野市立城山小学校6年	63	5	2	2	有
9	6	金	10:40-12:10	白馬村立白馬北小学校6年	34	2	2	2	有
9	6	金	13:00-14:30	小諸市立美南が丘小学校6年	94	6	3	3	有
9	20	金	9:10-10:10	伊那市立西春近北小学校4年	27	4	1	1	有
9	20	金	10:40-11:40	伊那市立伊那東小学校	98	5	3	3	有
9	20	金	13:00-14:30	長野市立豊野小学校6年	56	3	2	2	有
9	23	月	13:00-14:30	東京都大田区立中富小学校6年	22	4	1	1	有
9	23	月	13:00-14:30	東京都練馬区立光が丘夏の雲小学校6年	82	10	3	3	有
9	27	金	13:00-14:30	須坂市立森上小学校6年	39	2	2	2	有
10	1	火	9:10-10:40	坂城町立坂城小学校6年	31	2	1	1	有
10	1	火	10:40-12:10	上田市立丸子中央小学校6年	64	3	2	2	有
10	3	木	9:10-10:40	東京都大田区立山王小学校6年	129	10	4	4	有
10	3	木	10:40-12:10	坂城町南条小学校6年	41	2	2	2	有
10	4	金	9:10-10:40	長野市立緑が丘小学校5年	95	5	3	3	有
10	4	金	10:40-12:10	長野市立湯谷小学校6年	63	3	2	2	有
10	8	火	9:10-10:40	大田区立仲六郷小学校6年	35	4	1	1	有
10	8	火	13:00-14:30	高山村立高山小学校6年	41	4	2	2	有
10	10	木	13:40-16:00	東京都大田区立東甫小学校6年	37	5	1	1	有
10	11	金	9:10-10:10	伊那市立高遠北小学校	10	3	1	1	有
10	11	金	9:10-10:40	大町市立大町西小学校6年	42	2	2	2	有
10	18	金	13:00-14:30	長野市立吉田小学校6年	104	7	3	3	有
10	22	火	14:30-15:20	東京都大田区立志茂田小学校6年	50	8	2	2	有
10	23	水	10:30-12:10	東京都大田区立道塚小学校6年	101	9	2	2	無
10	24	木	10:40-12:10	佐久市立岸野小学校6年	14	2	1	1	有
10	25	金	10:00-10:40	長野市綿内保育園 年少	11	4	1	1	有
10	29	火	10:40-12:10	上田市立塩尻小学校6年	25	2	1	1	有
10	29	火	10:40-12:10	長野市立山王小学校6年	38	5	2	2	有
10	31	木	10:40-11:40	上田市立塩田西小学校6年	37	4	2	2	有
11	1	金	10:40-12:10	山ノ内町立南小6年	16	2	1	1	有
11	1	金	14:30-16:00	伊那市立伊那小学校4年	97	6	3	3	有
11	1	金	15:15-16:15	飯田市立座光寺小学校4年	35	4	1	1	有
11	6	水	9:00-10:00	箕輪町立箕輪東小学校4年	22	6	1	1	有
11	7	木	9:10-10:40	中野市立日野小学校6年	12	2	1	1	有
11	7	木	10:40-12:10	佐久市立泉小学校6年	29	3	1	1	有
11	8	金	9:10-10:40	長野市立東条小学校6年	23	2	1	1	有
11	12	火	9:10-10:40	飯山市立常盤小学校6年	8	2	1	1	有
11	14	木	9:10-10:30	須坂市立日滝小学校6年	54	3	2	2	有
11	15	金	10:40-12:10	中野市立高社小6年	58	3	2	2	有
11	19	火	10:40-12:10	長野市立松ヶ丘小学校6年	27	3	1	1	有
11	22	金	9:10-10:40	須坂市小山小学校6年	59	3	2	2	有
11	27	水	12:30-13:30	東京都練馬区立豊玉小学校5年	87	9	3	3	無
11	29	金	10:40-12:10	上田市立武石小学校6年	23	2	1	1	有
11	29	金	14:30-16:00	大町市立大町南小学校6年	37	3	2	2	有
12	3	火	13:00-14:30	千曲市立八幡小学校6年	31	2	1	1	有
12	6	金	14:00-15:30	諏訪二葉高等学校1年	40	2	1	1	有
12	10	火	10:40-12:10	佐久市立白田小学校6年	93	5	3	3	有
1	11	土	10:15	清泉女学院短期大学	19	1	1	1	無
1	21	火	9:30-15:00	信州大学工学部学芸員養成課程	27	1	1	1	有
3	25	火	14:30-16:00	屋代高等学校地歴班	9	1	1	1	有
合計					10651	829	398	397	

(2) 教育関係機関視察及び見学 実施記録

月	日	曜	時 間	団 体 名	人数	引率数	グループ数	解説
7	26	金	10:00-11:00	東京都大田区教育委員会	69	—	2	有
10	10	木	14:30-16:30	更埴教育課程研究協議会(社会科)	42	—	1	有
8	23	金	11:00-12:30	大桑村教育委員会(生涯学習課係)	20	—	1	有

10	10	木	10:45-11:45	大町市教育委員会 生涯学習課	5	—	1	有
合計					136	0	5	

(3) 一般団体見学 実施記録

月	日	曜	時 間	団 体 名	人数	引率数	グループ数	解説
4	11	木	9:00	大成産業	1	—	1	無
5	18	土	10:00-11:00	花工房福祉会 エコーンファミリー	22	6	1	無
5	30	木	14:20-15:20	NPO法人 五つ葉福祉会	15	7	1	有
7	2	火	14:30-16:00	上田市高齢者学園	33	3	1	有
7	25	木	13:00-15:30	天神山 天法寺	21	—	1	有
7	25	木	13:00-14:00	放課後等デイサービス はびねす若里	12	5	1	無
7	30	火	10:00-11:30	信州丸子義仲祭り実行委員会	20	—	1	有
8	6	火	10:30-11:30	大勸進養育院 三帰寮さんきつずやしま	4	3	1	無
8	7	水	10:30-12:00	ひふみ千曲桜堂教室	8	5	1	有
8	8	木	13:30	長野シニア大学	50	—	1	無
8	22	木	9:30-11:30	本郷地区景観整備委員会 文化財保存整備委員会	15	—	1	無
9	8	日	14:00-15:00	箕輪町公民館 なでしこ学級	22	2	1	有
9	26	木	15:10-16:30	小布施町交通安全協会	21	—	1	有
10	5	土	10:00-11:30	屋代4区	20	—	1	無
10	9	水	9:00-10:00	上田人権擁護委員協議会	20	—	1	無
10	14	月	10:00-12:00	岡谷交通安全協会(岡谷交通少年団)	10	7	1	有
10	26	土	14:15-15:25	東松山市シルバー人材センター親睦会	84	—	1	無
10	31	木	14:30-16:00	埼玉県秩父市文化財保護審議委員会	9	—	1	無
11	6	水	10:40-11:40	筑北村公民館	11	—	1	有
11	9	土	12:40-13:20	グランツーリズム歴史への旅	18	—	1	無
11	10	日	13:45-15:30	山梨県韮崎市旭公民館	49	—	1	有
11	14	木	9:50-11:20	千曲市若宮長寿会	12	—	1	有
11	14	木	10:00-11:00	松代文化財ボランティアの会	21	—	1	有
11	16	土	10:20-11:40	森のようちえんびっぴ ぼろびっぴ	35	5	1	無
11	17	日	15:15	箕輪町 北小河内区会	9	—	1	無
11	22	金	9:45-10:45	年金者連盟塩尻支部	21	—	1	無
11	26	火	9:00-11:30	文化財に親しむ会	32	—	1	無
12	12	木	13:20-14:30	ユーラシアの旅	12	—	1	有
12	13	金	13:40-14:20	松本市新村地区人権啓発協議会	15	—	1	無
1	7	火	10:40-11:40	放課後等デイサービス スマイルひろば匠	1	1	1	有
1	18	土	9:30-12:40	歴史館ツアー	21	19	1	有
1	21	火	13:00-14:00	千曲市議会	7	—	1	有
1	24	金	10:00	松代文化財ボランティアの会	9	—	1	無
1	26	日	10:00-15:30	中条公民館	56	—	1	無
3	6	木	10:00-10:30	御代田町公民館 いきいき学級	28	—	1	有
3	15	土	10:20-13:30	エコーンファミリー	23	—	1	無
合計					767	63	36	

2 企画展関連講演会等

月 日	テーマ	講 師	参加 人数
7月13日 (土)	【夏季企画展関連】 夏季企画展イベント 歴史館寄席 「源平盛衰記」義仲を題材とした唯一の 落語	立川談慶氏（落語家立川流真打）	217
7月27日 (土)	夏季企画展講演会① 「源頼朝と木曾義仲」	長村祥知氏（富山大学講師）	207
8月10日 (土)	企画展関連講座② 「木曾義仲武将列伝！」	村石正行（当館文献史料課長）	135
8月24日 (土)	企画展関連講座③ 「義仲 北陸路をゆくー義仲合戦ばなしー」	村石正行（当館文献史料課長）	145
10月19日 (土)	【秋季企画展関連】 企画展講演会① 「川中島合戦の真実」	笹本正治（当館特別館長）	114
11月2日 (土)	企画展講演会② 「新・川中島合戦論」	村石正行（当館文献史料課長）	117
11月16日 (土)	企画展講演会③ 「絵画に見る川中島合戦」	守屋正彦氏（山梨県立博物館長）	86
11月19日 (火)	対談「川中島合戦図屏風」	中島千波氏（日本画家） 笹本正治（当館特別館長）	49
1月25日 (土)	【冬季企画展関連】 企画展講演会① トークセッション 「書家としての佐久間象山」	川村龍洲氏（驥山館館長） 中村信宏氏 （台東区立書道博物館学芸員）	172
2月15日 (土)	企画展講演会② 「佐久間象山研究の現在」	降幡浩樹氏 （真田宝物館館長）	157

計 1,399

3 講座

(1) 県立歴史館講座①館内

月 日	テーマ	講 師	参加者数
5月18日(土)	薙鎌を知っていますか	笹本正治 (当館特別館長)	69
6月15日(土)	岩波其残の俳画(農耕図)について	小野和英 氏 (長野県大町岳陽高等学校教諭)	43
7月6日(土)	県宝屋代木簡出土 30 周年特別講座	水澤教子 (当館学芸部総合情報課長)	72
9月28日(土)	峠の祭祀	櫻井秀雄 (当館学芸部考古資料課長)	70
12月14日(土)	八ヶ岳山麓の縄文中期文化	町田勝則 (当館学芸部総合情報課)	61
2月1日(土)	善光寺平の古代木製品が語ることー石川条里遺跡の木製農具を中心としてー	臼居直之 (安曇野市誌専門調査員)	54
3月1日(土)	所蔵品展 原始 ～開館 30 年のあゆみ展	町田勝則 (当館学芸部総合情報課)	76

(7 回分) 計 445

②県立歴史館出前講座 in 大桑

月 日	場所	テーマ	講 師	参加者数
9月21日(土)	大桑村役場多目的ホール	木曾谷・大桑村の縄文時代 ～縄文遺跡から文化を探る～	町田勝則 (当館学芸部総合情報課)	14

③県立歴史館出前講座 in 諏訪

月 日	場所	テーマ	講 師	参加者数
10月5日(土)	諏訪市博物館 学習室	古文書を大切にしよう ー古文書からみる諏訪信仰と京都版方氏ー	村石正行 (当館学芸部文獻史料課)	29

④県立歴史館出前講座 in 箕輪

月 日	場所	テーマ	講 師	参加者数
10月26日(土)	箕輪町郷土博物館	縄文土器を読み解く視点 ー土器文様・技術・胎土からー	水澤教子 (当館学芸部総合情報課長)	30

⑤県立歴史館出前講座 in 中川

月 日	場所	テーマ	講 師	参加者数
11月30日(土)	中川文化センター	信濃南朝方勢力の実像	花岡康隆 (当館学芸部文獻史料課)	16
		信濃の仏教と古代寺院	柴田洋孝 (当館学芸部総合情報課)	

②～⑤) 計 89 人

(2) 考古資料課関連講座

①ティーンズ考古学講座（土器や石器など考古資料に興味がある学生）

月 日	テ ー マ	講 師	参加者数
8月8日(木)	1日目 考古資料の観察の仕方など、考古学を初歩から学びます	石丸敦史 (当館学芸部考古資料課) 白沢勝彦 (当館学芸部考古資料課)	3
8月9日(金)	2日目 考古資料の観察の仕方など、考古学を初歩から学びます	石丸敦史 (当館学芸部考古資料課) 白沢勝彦 (当館学芸部考古資料課)	2

計 5人

②考古学体験講座 「考古資料を見て、触れて、～考古資料の保存、保管～」

月 日	テ ー マ	講 師	参加者数
10月20日(日)	遺跡から出土した木製品 ～木製品の観察と保存処理実習～	石丸敦史 他 (当館学芸部考古資料課)	8
11月17日(日)	遺跡から出土した金属製品 ～金属製品の観察と科学分析実習～	白沢勝彦 他 (当館学芸部考古資料課)	13
12月15日(日)	遺跡から出土した土器 ～土師器と須恵器の観察と分析～	西山克己 他 (当館学芸部考古資料課)	13

計 34人

(3) 古文書講座

①初級

日 時	テ ー マ	講 師	参加者数
A: 5月26日(日) B: 5月23日(木)	楽しい古文書の学習をスタートしよう ～触書(松平豊前守様被成御渡候御書付写)～	新井寛子 (当館学芸部文献史料課)	44 49
A: 6月23日(日) B: 6月20日(木)	古文書によく登場する文字を読んでみよう ～触書(松平豊前守様被成御渡候御書付写)～	新井寛子 (当館学芸部文献史料課)	43 46
A: 7月28日(日) B: 7月27日(木)	江戸時代の地方(じかた)文書を読もう① ～伊那郡飯島家資料を中心に～	鈴木 実 (当館学芸部文献史料課)	43 45
A: 8月18日(日) B: 8月22日(木)	江戸時代の地方(じかた)文書を読もう② ～伊那郡飯島家資料～	鈴木 実 (当館学芸部文献史料課)	44 43
A: 10月6日(日) B: 10月3日(木)	江戸時代の地方文書を読もう③ ～川田宿御高札之写～	新井寛子 (当館学芸部文献史料課)	39 43

②中級

日 時	テ ー マ	講 師	参加者数
A: 5月25日(土) B: 5月23日(木)	近世地方文書を読む ～伊那郡飯島家資料「飯嶋家訓」～	村石正行 (当館学芸部文献史料課)	31 48
A: 6月22日(土) B: 6月20日(木)	近世地方文書を読む1 ～北上州道通路出入一件(済口証文)～	花岡康隆 (当館学芸部文献史料課)	30 45
A: 7月27日(土) B: 7月18日(木)	近世地方文書を読む2 ～北上州道通路出入一件(済口証文)～		31 45

A : 8 月 17 日 (土)	藩政資料を読もう 1	中山 敦 (当館学芸部総合情報)	26
B : 8 月 22 日 (木)	～毛利家文書「公儀所長府帳書拔 全」～		39
A : 10 月 5 日 (土)	藩政資料を読もう 2		29
B : 10 月 3 日 (木)	～真田家文書「信州松本御城請取日記」～		40

③上級

日 時	テ ー マ	講 師	参加者数
5 月 18 日 (土)	正徳五年 上田城下町問屋日記 (抄)	尾崎行也 氏 (元長野県史刊行会常任参事)	12
6 月 15 日 (土)	正徳五年 上田城下町問屋日記 (抄)		12
7 月 20 日 (土)	正徳五年 上田城下町問屋日記 (抄)		13
8 月 24 日 (土)	正徳五年 上田城下町問屋日記 (抄)		13
9 月 28 日 (土)	正徳五年 上田城下町問屋日記 (抄)		12

④ティーンズ

日 時	テ ー マ	講 師	参加者数
8 月 2 日 (金)	ヘンタイ仮名の世界へようこそ	村石正行 (当館学芸部文献史料課員)	6
3 日 (土)	辞書のはなし		6

⑤古文書フォローアップ講座

日 時	テ ー マ	講 師	参加者数
11 月 9 日 (土)	真田昌幸書状	笹本正治 (当館特別館長)	40
11 月 10 日 (日)	農民の心得 商人の教え	村石正行 (当館学芸部文献史料課長)	55

⑥古文書入門教室

月 日	テ ー マ	講 師	参加者数
3 月 20 日 (木)	はじめての古文書学習	新井寛子 (当館学芸部文献史料課)	20

古文書講座 計 992 人

4 考古学セミナー

考古学セミナーは、長野県考古学会との共催事業と位置付けられている。

日 時	テーマ	講 師	参加者数
令和6年6月1日 (土) 13:00～15:30	考古学セミナー1 研究報告会 飯田市 川原遺跡 木島平村 根塚遺跡 上田市 上田城跡「新知見ii 仙石忠政の普請に見えた「地産地消」の痕跡」	春日 皓介 氏 (長野県埋蔵文化財センター) 室 正一 氏 (木島平村教育委員会) 和根崎 剛 氏 (上田市教育委員会)	65

本考古学セミナーは、長野県考古学会、日本旧石器学会、明治大学黒耀石研究センターと共催。

日 時	テーマ	講 師	参加者数
令和6年9月21日 (土) 13:30～15:30	考古学セミナー2 旧石器普及講座 「旧石器時代:信州最古の時代の研究最前線」 竹佐中原遺跡・野尻湖遺跡群・香坂山遺跡・矢出川遺跡の発掘成果などを旧石器時代の研究者が紹介します。	堤 隆 氏 (日本旧石器学会 会長、長野県考古学会 副会長、明治大学黒耀石研究センター 特任教授) 大竹 憲昭 氏 (日本旧石器学会 副会長、明治大学黒耀石研究センター 客員研究員) 鶴田 典昭 氏 (長野県考古学会 事務局長、日本旧石器学会 会員)	47

本考古学セミナーは、長野県考古学会、明治大学黒耀石研究センターと共催。

日 時	テーマ	講 師	参加者数
令和7年2月11日 (土) 13:30～15:30	考古学セミナー3 縄文講座 「縄文人の心を探る 土器文様は何を意味するか」 縄文時代中期、華やかで複雑な土器文様は、地域ごとに似た特徴を持ち、徐々に変化していきます。土器文様は一体何を意味するのでしょうか。また変化の背景には何があるのでしょうか。	藤森 英二 氏 (長野県考古学会員、北相木村教育委員会) 水澤 教子 氏 (長野県考古学会員、長野県立歴史館) 櫻井 秀雄 氏 (長野県考古学会員、長野県立歴史館)	87

合計 199人

5 近世史セミナー

信濃史学会、信州近世史セミナーの主催として実施。「近世の川除と水害」をテーマに、3名の発表があった。

日 時	テーマ	講 師	参加者数
12月7日(土) 10:50～11:50	研究発表 1 「近世後期の松本藩における治水政策と地域社会」	宮坂 和弥 氏 (東北大学大学院)	

12月7日(土) 13:00～14:00	研究発表2 「近世の千曲川水害と流域村々」	山崎 圭 氏 (中央大学教授)	77
12月7日(土) 14:05～15:05	研究発表3 「絵図でみる千曲川の川筋変更(松代藩の瀬直し)の再考」	山浦 直人 氏 (歴史的水害史料活用研究会長野県立歴史館名誉学芸員)	

計 77 人

6 講習会

(1) 考古資料保存技術講習会

月 日	テーマ	講 師	参加者数
第1回 2月18日(火)	『考古資料の見方、保存と管理方法』	石丸 敦史 白沢 勝彦 (当館学芸部考古資料課)	第1回 13名
第2回 3月6日(木) 10:00～15:00			第2回 14名

計 27 人

(2) 長野県史料保存活用連絡協議会講習会

月 日	テーマ	講 師	参加者数
5月30日 12:40～15:30	第1回講習会:須坂市文書館 テーマ「須坂市文書館の活動」 講演会「須坂市文書館の活動」 巡見 須坂の街並み(旧小田切家・旧越家など)	中澤 公明 氏 (須坂市文書館館長)	49
10月25日(金) 13:00～16:15	第2回講習会:長野県立歴史第1研修室 テーマ「文化財の保全と継承—地域資料を残すために—」 基調講演「地域資料の保存・継承をめぐる現代的諸課題」 事例報告1「長野市文化財保存活用地域計画作成事業について」 事例報告2「千曲市文化財保存活用地域計画について」	小野塚 航一 氏 (国立歴史民俗博物館特任准教授) 細井 雄次郎 氏 (長野市文化財課) 平林 大樹 氏 (千曲市歴史文化財センター)	36
11月17日(日) 13:30～16:30	第3回講習会:長野県立歴史館講堂 テーマ:国文学研究資料館主催シンポジウム 「地域資料の所在把握・救出・自治体史編纂・活用」(アーカイブズカレッジ特別講演会) 報告 「奈良県における古文書所在確認調査—地域	山田 淳平 氏	12 (会員)

1月30日(木)・ 31日(金) 各10:00～15:00	資料の現状―」 「地域の文化遺産を災害から守る―山形文化遺産防災ネットワークの取り組み―」 「八王子市の市史編さん事業」 「歴史資料の活用と地域住民への共有―大分県別府市での活動を通して―」 第4回講習会:長野県立歴史館遺物整理室 テーマ「史資料撮影の基本」 実技講習 「史資料撮影の基本」	(奈良県文化財課主査) 土屋 明日香 氏 (山形文化遺産防災ネットワーク世話人) 渡部 恵一 氏 (八王子市市民部元八王子地域事務所加住事務所主査) 円城寺 健悠 氏 (別府大学大学院文学研究科史学・文化財学専攻アーカイブズ学領域博士前期課程2年) 北村 優宇 氏 (有限会社山本マイクロシステムセンター)	39
--	--	---	-----------

計 136人

7 イベント

日時	テーマ	内 容	参加者数
5月5日	歴史館でこどもの日	どきmoドキ	140
7月26・27日	考古学チャレンジ教室	縄文人になろう	248
8月3日	歴史館で夏休み	記念品	46
		プラ板マスコットづくり	56
11月3日	開館記念日	クイズラリー、縄文人になろう	集計未実施
11月23日	須坂市民の日関連	長野電鉄沿線図の鳥瞰図・源氏物語図屏風の展示	106
12月1日	縄文風クリスマスリースを作ろう	クリスマスリースづくり	20
1月18日	KOAの日関連	プラ板マスコットづくり	114
		縄文人になろう	60
		特別館長による特別講演「川中島合戦とその後-事実と物語」	63
3月20日	親子映画会	「うばすて山」「芋ほり長者」ほか	186
3月22日		「小太郎と母龍」「オオカミと娘」ほか	87
3月23日		「雷と悪者」「安珍清姫」ほか	133
合計			1,259

8 展示解説

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
学校数	8	37	55	22	2	10	21	19	4	2	0	0	180
一般団体数	1	2	4	5	4	1	7	4	3	4	0	1	36
計	9	39	59	27	6	11	28	23	7	6	0	1	216

9 学校との連携

(1) 長野県総合教育センターへの研修協力（7月9日）

- ・研修講座「地域素材の教材化Ⅱ～県立歴史館を活用した教材研究～」
- ・演習「県立歴史館の資料を用いた地域の歴史の教材化」で教材化の相談に応じた。
- ・受講者 19 名。

(2) 信州大学学芸員資格取得講座の開設（9月5日、2月13日、2月21日）

- ・9月5日 27 名、2月13日 52 名、2月21日 34 名。

(3) お出かけ歴史館事業の実施

- ・実施計画を立案し、上伊那・下伊那・木曾・諏訪地方の小中学校、公民館に広報活動を行った。
- ・実施した学校数：1校3講座、公民館数2館2講座、実施人数 141 名。詳細は以下の通り。

① 7月30日 高遠町公民館

対象：小学校 1～6 年生 51 名

内容：縄文人になろう

担当：中山、小林

② 1月16日 長地小学校

対象：小学校 6 年生 77 名

内容：縄文人になろう

担当：中山、鈴木

③ 3月25日 木曾町日義公民館

対象：小学生 1～6 年生 13 名

内容：縄文人になろう

担当：中山、小林

10 博物館実習

- ・実習期間

8月22日(木)～9月3日(火)

*8月26日(月)、27日(火)、9月2日(月)を除く10日間

- ・実習生 8名

- ・内容 考古資料の収集・整理・保存、文献史料の収集・整理・保存、展示の実務、文化財の取り扱い、展示の設計、展示解説、広報、資料閲覧・図書の実務、特別館長講話、課題討論「期待する長野県立歴史館像」

11 インターンシップ

本年度は申し込み無し。

12 職場体験学習

(1) 中学生による職場体験学習(4校、20名)

- 7月4日、5日(2日間) 千曲市立更埴西中学校2年生(5名)
- 7月18日、23日(2日間) 長野市立篠ノ井西中学校2年生(5名)
- 7月30日(1日間) 長野市立川中島中学校2年生(5名)
- 10月23日、24日(2日間) 長野市立更北中学校2年生(5名)

(2) 高校生による就業体験学習(1校、2名)

- 8月1日(1日間) 長野県屋代高等学校1年生(2名)

(3) 社会人研修(1校、1名)

- 7月30日、8月1日(2日間) 千曲市立屋代小学校教員キャリアアップ研修Ⅱ(1名)

13 サークル育成活動

- 古文書愛好会 (1)～(4)参加合計 635名

(1) 館蔵文書を読む会

- ①日時 5月30日(木) 35名 6月27日(木) 36名 7月25日(木) 33名
8月29日(木) 30名 9月26日(木) 34名 10月24日(木) 35名
11月21日(木) 32名 12月19日(木) 34名
- ②内容 関川千代丸収集文書
「松前記行漫録 甲・乙・丙・丁」
- ③参加者数(延べ人数) 269名

(2) 古文書探訪会

- ① 日 時 10月10日(木)
- ② テーマ 「上越を巡る旅」
- ③ 目的地 上越市(上越市埋蔵文化財センター・春日山神社・林泉寺・保坂邸)
- ④ 参加者数 25名

(3) 古文書演習

- ① 演習史料 佐久郡長土呂村角田家資料

- ② 演習Ⅰ 夏季(13:00~16:00)

5月18日(土) 18名 6月15日(土) 17名 7月20日(土) 18名
8月24日(土) 7名 9月28日(土) 14名

- ③ 演習Ⅱ 冬季(9:30~15:30)

令和7年(2025年) 1月17日(金) 14名 18日(土) 11名 19日(日) 8名
24日(金) 11名 25日(土) 15名 26日(日) 13名 31日(金) 12人
2月1日(土) 14名 2日(日) 14名 7日(金) 11名 8日(土) 15名
9日(日) 13名 14日(金) 11名 15日(土) 18名 16日(日) 12名
21日(金) 15名 22日(土) 21名 23日(日) 5名

- ④ 参加者数(延べ人数) 演習Ⅰ 74名 演習Ⅱ 233名

(4) 総会・研修講演会

- ① 日 時 2月22日(日)

- ② 総会議題

- ・令和6年度古文書愛好会事業報告・同古文書愛好会会計報告
- ・令和7年度古文書愛好会事業計画案・同古文書愛好会予算案

- ③ 研修講演会 「松代藩士がみたアイヌの人々」

講師 上越教育大学 国際交流推進センター 特任教授 浅倉有子氏

- ④ 参加者数 34名

14 ボランティア活動

(1) 全体的な活動等

- ① 総会の開催 開催。
- ② 保険の加入 5回にわたり手続きした。保険適用は無かった。
- ③ 募 集 ホームページ、エントランスにちらし設置等
- ④ 名簿作成 ボランティア会員数

		体験	解説	作業	合計(延数)	実数
年度当初数(人)	4/1	26	15	50	91	61
年度末数(人)	3/31	30	16	63	109	78

- ⑤ 招待券等の送付

例年、会員を内覧会へ招待していたが、感染症拡大対策のために今年度も招待しなかった。

⑥ ボランティアルームの管理

(2) 解説ボランティア活動

① 一般客への展示解説 「日曜解説」

- ・実施日 毎週日曜日と祝日（通年）66日（実施日数）
- ・実施時間 午前 10:30～12:30 午後 1:30～3:30（1～2月 は 1:00～3:00）
- ・解説人数 午前・午後ともに 1～2 名
- ・解説方法 マスク等の感染防止対策を行い、展示室で声がけをしながら適宜行った。

② イベント時における展示解説と監視

- ・須坂市民の日・企業協賛の日（KOA の日）は、監視も兼ねて解説をしていただいた。

③ 研修 日曜解説研修（研修者の都合に合わせて実施）、自主研修ほか。

(3) 体験ボランティア活動

- ・こどもの日の土器のレプリカづくり、歴史館で夏休みの日のプラ板づくり、クリスマスリースづくり、KOAの日のプラ板づくりで活動を行った。
- ・コロナ感染症等の拡大防止を考慮し、今年度も参加者が密になる勾玉づくりは行わなかった。

(4) 作業ボランティア活動

① 活動内容 ※開館日に活動

- ・木製品処理 ※実施日（延べ人数）：107日（4月～3月） 実会員：14名
- ・文献史料整理（目録作成のパソコン入力やラベル貼り）
※実施日（延べ人数）：243日（4月～3月） 実会員：17名
- ・図書整理 ※実施日（延べ人数）：51日（4月～3月） 実会員：8名

② 運営等 それぞれ考古資料課、文献史料課、総合情報課で連携し、運営した。

15 博物館関係職員等研修会

1 趣 旨

博物館等の運営に携わる職員等を対象に博物館が直面する諸問題について研修を行い、関係職員の資質の向上と交流を図り、県内博物館活動の促進に資する。

2 主 催

長野県県民文化部文化振興課、長野県博物館協議会

3 期 日

令和7年2月20日（木）・2月21日（金）

4 会 場

長野県立歴史館

5 参加対象者

博物館（公立・私立博物館、歴史民俗資料館、考古資料館）等職員
県民文化部文化振興課職員
市町村文化財博物館担当職員
県文化振興事業団職員（埋蔵文化財センター、創造館、文化会館等）

6 内容・日程

令和7年2月20日（木） 1日目

内容

講演会①「文化財保護と文化財レスキュー」

講師：新津 尚治（当館 学芸部長）

講演会②「博物館資料の管理と保存」

講師：木川 りか 氏（九州国立博物館 博物館科学課 課長）

令和7年2月21日（金） 2日目

内容

講演会③「ときめきのミュージアムグッズとその役割」

講師：大澤 夏美 氏（ミュージアムグッズ愛好家）

講演会④「外国人から魅力ある博物館-インバウンドを考える-」

講師：タイラー・リンチ 氏（戸倉上山田温泉「亀清」旅館オーナー）

実務研修

- | | |
|---------------------|--------------|
| ① 紐の扱い（箱の紐等）・掛軸展示方法 | 場所：休養室（1F） |
| ② 考古資料の取扱い | 場所：遺物整理室（1F） |
| ③ 企画展展示解説（佐久間象山遺墨展） | 場所：企画展示室（2F） |

7 参加者数

1日目 50名

2日目 52名（信州大学学芸員資格取得講座参加者27名を含む）

計 102名

16 出前講座

(1)県立歴史館出前講座 ※再掲 p43参照

月 日	派遣先	内 容	参加者数	職員
9月21日	大桑村役場新庁舎	木曾谷・大桑村の縄文時代～縄文遺跡から文化を探る～	14	町田勝則
10月5日	諏訪市博物館	古文書を大切にしようー古文書からみる諏訪信仰と京都諏方氏ー	29	村石正行
10月26日	箕輪町地域交流センター	縄文土器を読み解く視点ー土器文様・技術・胎土	30	水澤教子
11月30日	中川文化ホール	「信濃南朝方勢力の実像」「信濃の仏教と古代寺	16	花岡・柴田

89

(2)お出かけ歴史館事業 ※再掲 p50参照

月 日	派遣先	内 容	参加者数	職員
7月30日	伊那市高遠進徳館	進徳館夏の学校	51	中山・小林
1月16日	岡谷市長地小学校	本物の土器・石器に触れよう	77	中山・鈴木
3月25日	木曾町日義公民館	縄文人になろう	13	中山・小林

141

(3)その他

月 日	派遣先	内 容	参加者数	職員
4月14日	南牧村中央公民館	土からわかった信州縄文人の交流	75	水澤教子
5月9日	市立長野高校	縄文土器に焦点をあてて紐解く縄文時代	27	水澤教子
5月10日	長野市松代公民館	屏風の中の川中島合戦	38	黒川稔
5月18日	安曇野市豊科交流学习センター	博物館見学・切紙作りを楽しもう	62	小林寿英
5月24日	上田市丸子文化ホール	疾風怒濤木曾義仲	55	村石正行
6月15日	安曇野市豊科交流学习センター	緑色の繭になる天蚕の飼育見学をしよう	66	小林寿英
6月21日	長野市松代公民館	子持勾玉について	30	櫻井秀雄
7月4日	長野市立長野高校	史料から“よむ”古代中世の北信濃～古代編～	13	鈴木実
7月11日	長野市立長野高校	史料から“よむ”古代中世の北信濃～中世編～	27	鈴木実
7月11日	高森町福祉センター	武田信玄と伊那谷	100	花岡康隆
7月17日	長野市更北公民館	屏風の中の川中島合戦	88	黒川稔
7月20日	安曇野市豊科交流学习センター	空襲跡見学や学童疎開のDVD鑑賞をして戦争と平和について考えよう	68	小林寿英
7月21日	小諸市市民交流センター	東山道と北国街道～古代の道、近世の道～	120	櫻井秀雄
7月23日	筑北村総合福祉センター	川中島合戦と筑北～武田・上杉・小笠原～	50	村石正行
7月28日	長野市若穂支所	主張するシナノ、北信の古墳	50	石丸敦史
9月7日	東御市中央公民館	室町・戦国期の海野氏～「国衆」への道とその挫折～	28	花岡康隆

9月11日	坂北総合福祉センター	県立歴史館について	15	新津尚治
9月14日	旧小笠原書院	戦国時代の小笠原氏と飯田	33	村石正行
9月21日	上田市立上田図書館	信濃海野氏一族の歴史について	43	花岡康隆
9月22日	長野市会公民館	横田河原の合戦	63	村石正行
9月28日	安曇野市豊科交流学習センター	北アルプス牧場で畜産の仕事を知り、乳製品を味わおう	64	小林寿英
10月5日	すわっチャオ	信濃国の南北朝動乱-諏訪氏VS小笠原氏-	109	花岡康隆
10月17日	エコールみよた	平安文化とその魅力について	25	鈴木幸香
10月17日	若穂中学校	北信地方の古墳の埋葬品について	50	石丸敦史
10月19日	豊科交流学習センター	三郷の自然を学び楽しもう！黒沢洞合自然公園・	52	小林寿英
10月22日	長野市若穂公民館	川田宿、西沢家文書から見る江戸時代	37	新井寛子
10月26日	帝京大学文化財研究所	馬の祭祀～古代から中世へ～	10	櫻井秀雄
10月26日	坂城町文化センター	文献から探る村上義清像	170	花岡康隆
11月3日	森將軍塚古墳	シナノの古墳	20	西山克己
11月15日	飯山高校	博物館と保存科学	50	水澤教子
11月16日	豊科交流学習センター	烏川溪谷緑地での自然観察とマウンテンバイクを楽しもう	64	小林寿英
11月24日	安曇野市穂高会館	木曾義仲とその家臣団	61	村石正行
11月29日	ゆーぱれあ	幕末・明治の風刺画を読む～国芳・暁斎・芳虎～	11	鈴木実
11月30日	法政大学	シナノにおける古墳築造地の移動とその背景	35	石丸敦史
12月14日	安曇野市真々部公民館	土器や石器にふれよう	18	黒川稔・中山敦
12月19日	須坂高校	歴史を学び再発見しよう-歴史系専門職-	37	村石正行
12月20日	湯ーぱれあ	シナノの馬と牧	18	西山克己
12月21日	安曇野市豊科交流学習センター	お雑煮など安曇野の正月料理を楽しく作って食べよう	52	小林寿英
1月19日	梅野記念絵画館	「上小地区の縄文遺跡の特徴」 「久保在家遺跡をはじめとした縄文時代中期後	16	水澤教子・町田勝則
2月15日	御代田町公民館	北國街道～江戸時代の街道・歴史の道について～	36	櫻井秀雄
2月16日	キッセイ文化ホール	奈良時代の信州に古墳はあったのか	98	石丸敦史
2月25日	松本市中央公民館（Mウィング）	武田信玄と松本平の歴史について	45	笹本正治
3月8日	山梨県恩賜林記念館	古墳時代中期の遺物集積祭祀を考える	80	櫻井秀雄
3月22日	軽井沢町離山公園ギャラリー蔵	峠の祭祀古東山道、東山道を往く～入山峠祭祀遺跡～	48	櫻井秀雄

2, 257

Ⅳ 共催事業等

月 日	共催事業	共催団体	参加者数
6月1日, 9月21日, 2月11日	考古学セミナー	長野県考古学会	199
12月7日	近世史セミナー	信濃史学会, 近世史セミナー	77
5月30日	長野県史料保存活用連絡協議会講習会①	長野県史料保存活用連絡協議会	49
10月25日	長野県史料保存活用連絡協議会講習会②	長野県史料保存活用連絡協議会	36
11月17日	長野県史料保存活用連絡協議会講習会③	長野県史料保存活用連絡協議会	12
1月30・31日	長野県史料保存活用連絡協議会講習会④	長野県史料保存活用連絡協議会	39
5月～12月	古文書愛好会 館蔵文書を読む会 (8回)	古文書愛好会	269
10月10日	古文書愛好会 古文書探訪会	古文書愛好会	25
5月～2月	古文書愛好会 古文書演習 (23回)	古文書愛好会	307
2月22日	古文書愛好会 総会講演会	古文書愛好会	34
7月9日	総合教育センター研修	長野県総合教育センター	18
9月22日	信州大学学芸員資格取得講座 (博物館展示論)	信州大学	29
2月13日・21日	信州大学学芸員資格取得講座 (博物館資料・メディア論)	信州大学	79
2月20・21日	博物館関係職員等研修会	長野県博物館協議会	102
7月1日～8月20日	中央日本4県文化財交流展示 (長野県実施)	長野県・山梨県・静岡県・新潟県	1,067
11月11日～17日	アーカイブス・カレッジ	国文学研究資料館	272

2,614

V 出版

1 長野県立歴史館たより

- (1) 夏号 vol. 119 表紙 紙本著色木曾義仲合戦図屏風（江戸時代前期 右隻・部分 国立歴史民俗博物館蔵）

令和 6 年 5 月 31 日発行 A4 判、8 頁（オールカラー）

主な内容：「夏季企画展 疾風怒濤 木曾義仲～文書と絵画で見る義仲の一生～」、「常設展示紹介」、「研究の窓 館蔵木製品 5.1 万件のデータベースの作成と更新」、「文献史料を読む 県立歴史館の公文書館（こうぶんしょかん）機能—特定歴史公文書の移管から公開まで—」、「インフォメーション 2024 年 6 月～9 月の行事予定」、「行事アルバム」

- (2) 秋号 vol. 120 表紙 川中島合戦図屏風（紀州本）（和歌山県立博物館蔵）

令和 6 年 8 月 29 日発行 A4 判、8 頁（オールカラー）

主な内容：「会館 30 周年 秋季企画展 描かれた川中島合戦 ～屏風・錦絵にみる戦の世界～」、「文献史料をよむ 青年は平和運動を如何に推進すべきか」、「考古資料をよむ ～奈良市富雄丸山古墳出土蛇行剣の発見から～ 諏訪市フネ古墳出土の蛇行剣から何がわかるか」、「義仲をめぐる 2 人の文人たち 令和 6 年度夏季企画展「疾風怒濤 木曾義仲」を終えて」、「研究の窓 冬季企画展「佐久間象山遺墨展 ～書は人なり～」」

「インフォメーション 2024 年（令和 6 年）9 月～2025 年（令和 7 年）1 月の行事予定」、「行事アルバム」

- (3) 冬号 vol. 121 表紙 佐久間象山「力士雷電之碑」

令和 6 年 11 月 29 日発行 A4 判、84 頁（オールカラー）

主な内容：「冬季企画展 「佐久間象山遺墨展 ～書は人なり～」」、「30 周年によせて」、「秋季企画展 描かれた川中島合戦をふりかえって」、「冬季企画展 佐久間象山遺墨展 ～書は人なり～」、「研究の窓 歌川貞秀《神奈川横浜新開港図》」、「考古資料収蔵 30 年間のあゆみ」、「インフォメーション 2024 年 12～2025 年 3 月の行事予定」、「行事アルバム」

- (4) 春号 vol. 122 表紙 晴ヶ峯式土器（当館蔵）

令和 7 年 2 月 15 日発行 A4 判、8 頁（オールカラー）

主な内容：「令和 7 年度に向けて」、「研究の窓 古代銭貨—古代のお金のことを知っていますか—」、「展示資料の味わい方 所蔵品展 原始～開館 30 年のあゆみ展～」、「文献史料を読む 旅の記録～松前記行漫録～」、「インフォメーション 2025 年 3 月～6 月の行事予定」、「行事アルバム」、「開館カレンダー、イベント・講座、企画展示」

2 研究紀要

『長野県立歴史館研究紀要』第 31 号 令和 7 年 3 月 31 日発行、A4 判、150 頁、PDF

<内容>

口絵／資料紹介

新収蔵資料 脇坂安元書状

村石 正行

◇研究報告

近世府中小笠原氏の所持していた鈴岡・松尾
小笠原家文書考 ―「伊那譜録」にみえる小
笠原政秀・信定と村上義清―

村石 正行

寛永期の制度改革と飯田藩脇坂安元 ―諸国
巡見使・寛永国絵図・交代寄合伊那衆―

村石 正行

長野県立歴史館所蔵近代郡役所文書について
の基礎的研究 ―伝来経緯の検討を中心に―

花岡 康隆

◇研究ノート

屋代遺跡群出土木製形代による祭祀の具体像

水澤 教子

長野県内出土の子持勾玉（集成補遺）

櫻井 秀雄

戦国初期高梨氏の代替わりをめぐる

―高梨政高・政盛・澄頼―

花岡 康隆

◇事例報告

長野県立歴史館 現代史聞き取り調査の現状
と課題

鈴木 実

〔聞き取り調査概報〕鈴木敏文

～セブン・イレブン長野県展開の契機～

鈴木 実

〔聞き取り調査概報〕下澤静恵

～酒店からの転身。セブン・イレブン長野県
第1号店の経営～

鈴木 実

◇職員執筆抄・研究活動

3 その他

(1) 令和6年度催しもの案内

A4判（21.0×29.7 cm）、三つ折カラー

(2) 『信濃の風土と歴史 29 長野県立歴史館所 蔵品選 第2弾―原始―』令和6年3月15 日発行、B5判、40頁、500円

<内容>

はじめに（笹本正治）、斧形石器の登場（柴
田洋孝）、石槍の製作（石丸敦史）、表裏縄文
土器・押型文土器（町田勝則）、石製装身具
（花岡康隆）、有孔鏝付土器（河野智枝）、縄
文農耕（櫻井秀雄）、内陸部の縄文人骨（水
沢教子）、注口土器（町田勝則）、土器棺再葬
墓（西山克己）、青銅器祭祀（櫻井秀雄）、石
斧の製作（柴田洋孝）、赤い土器（水澤教子）、
木製武具・馬具の製作（西山克己）、黒色土
師器（石丸敦史）、峠の祭祀（櫻井秀雄）、信
濃国印・正倉院白布（河野智枝）、主要参考
文献一覧

VI 閲覧・情報提供

1 図書等資料

(1) 図書資料数 ※

(単位：冊)

区 分	図書	逐次刊行物	図録	県内遺跡報告書	小計
自館制作	1	6	3	0	10
購 入	64	224	1	0	289
寄 贈	223	543	230	57	1,053
令和6年度計	288	773	234	57	1,352
図書資料数(累計)	42,495	50,434	8,186	26,571	127,686

※年次別図書資料数は受入数を計上

(2) 公開用雑誌製本

雑誌製本 5件 改装製本3件

(3) 映像資料

購入DVD 0本、寄贈DVD 2本

寄贈CD-ROM 0本

累計 130本

2 情報提供

(1) レファレンス

122 件(お問い合わせフォーム・電話・閲覧室)

(2) ホームページアクセス数

108,000 件

VII 調査研究

1 調査研究の体制と内容

(1) 趣 旨

歴史館の運営及び事業を行うため、歴史館職員として必要な専門的な知識・技術等の向上を図ることを目的とする。

(2) 体 制

学芸部全職員による学芸研究会および原始、古代・中世、近世、近現代の各時代担当者による時代別研究会によって構成する。

(3) 内 容

史資料の収集・整理、常設展示・企画展示、本館主催の各種講座等の実施に関わる事項および今後の歴史館の運営及び事業を行うために必要と思われる事項について調査研究を進める。

2 学芸研究会

歴史館学芸部職員の職務能力の向上をはかるため、下記のとおり学芸研究会をおこなった。

第1回（5月29日）

○特別館長講話 歴史研究の方法 「薙鎌の形態について」 笹本 正治

第2回（6月19日）

○文化財保護の現状と文化振興課の考える歴史館の今後

長野県教育委員会事務局 文化財・生涯学習課
課長補佐兼文化財係長 三木 陽平

○各自研究テーマ発表

第3回（7月31日）

○各自研究テーマ発表

○長野県内出土の子持勾玉の集成 櫻井 秀雄

第4回（9月25日）

○歴史系博物館の展示をめぐって～令和6年度夏季企画展を素材として～ 村石 正行

○川田宿西沢家文書に残る「中馬」に関する古文書を読み解く 新井 寛子

第5回（10月30日）

○子供たちの資質・能力の育成につながる学校解説の実現に向けて 中山 敦

○長野県立歴史館現代史聞き取り調査の現状と課題
-付【事例報告】長野県コンビニエンスストア事始め- 鈴木 実

第6回（11月27日）

○人類社会の形成（弥生時代） 町田 勝則

○接着剤の応用にみる、文化財修復工程での合成樹脂の使用について 白沢 勝彦

第7回（12月18日）

○長野盆地における木器生産体制復元のための基礎的研究 石丸 敦史

○古代銭貨 無文銀銭～富本銭～和同開珎銀銭～和同開珎銅銭 西山 克己

第8回（1月29日）

○佐久間象山の書 林 誠

○明治期における信州のやきもの～勸業課の目録を読む

柴田 洋孝

第9回(2月26日)

○近代長野県における決裁・回議文書成立過程の基礎的研究

花岡 康隆

○高野辰之のふるさと～唱歌『朧月夜』『故郷』と県内校歌からみる～

鈴木 幸香

第10回(3月19日)

○善光寺仏師妙海は、いつ生まれ、いつ何を造ったのか

小林 寿英

○箱清水式土器の胎土分析

水澤 教子

3 時代別研究会

(1) 令和6年度 時代別所属者名(●代表 ○主管)

	学芸部長	総合情報課	考古資料課	文献史料課
原 始		●町田 勝則 河野 智枝 水澤 教子	○櫻井 秀雄 石丸 敦史	
古 代 中 世		○水澤 教子 柴田 洋孝 ●黒川 稔	西山 克己	鈴木 実 花岡 康隆 村石 正行
近 世		中山 敦 ●小林 寿英	白沢 勝彦	○村石 正行 新井 寛子
近現代	○新津 尚治	●林 誠 鈴木 幸香		鈴木 実 花岡 康隆

(2) 時代別研究会の主な業務

- ① 常設展示内容の検討
- ② 常設展示のリニューアルに向けての検討
- ③ 講座発表の検討
- ④ 企画展に関する検討
- ⑤ 収蔵史資料の調査・研究
- ⑥ ブックレット原稿の検討

Ⅷ 資料の収集・整理・保存

1 資料収集の方針

(平成3年6月建設委員会決定)

(1) 資料収集の基本方針

資料収集は歴史館にとって基本的な機能であり、その規模と質が歴史館の機能を左右することにつながっている。したがって、資料収集は長期的計画的に行うとともに、開館にむけて短期的課題として集中的な対応が必要である。

次の諸点に留意し、資料収集に当たるものとする。

① 資料保存体制の整備

歴史館は埋蔵文化財資料と文献史料を収集保存し、調査研究と活用を図る機関である。そのためには、県内の資料保存問題に深く留意するとともに、資料の分布調査、整理、保存、公開等のための措置と体制を長期的計画的に整備する必要がある。

② 既存諸機関との関係

県内市町村の歴史資料館等既存の類似施設や諸機関は、それぞれ歴史的背景をもち、多くの成果をあげている。歴史館はこれらの諸機関を十分尊重し、友誼的関係を結び、相互に協力しつつ資料保存整備に当たることが重要である。

③ 資料所蔵者との関係

資料は、県民の理解を得て寄贈寄託を図ることが望ましい。その際、所蔵者との信頼関係を長期にわたり維持発展させていくことが重要である。なお、商品として市場にある資料などは、必要なものを機を失せず購入することが望ましい。

④ 歴史情報システムの整備

歴史館は、郷土や地域の歴史についての情報の収集、提供を行う。そのため、収蔵資料情報以外にも、県内外資料情報、歴史情報、各種目録等を長期的計画的に収集し、総合的、有機的に利用できるよう、コンピュータによるデータベース化を図る必要がある。

(2) 資料収集の具体的方針

① 収集資料の種類

(a) 保存用資料

埋蔵文化財資料、行政文書、古文書など歴史的に重要であり、保存、収蔵していること自体に意味があるもの。歴史館としての評価はこの部分の規模と質によって決まる。

埋蔵文化財調査及び、県史編纂の過程で収集した資料を中核としながら、寄贈、寄託、購入などによって収集を図る。

(b) 展示用資料

常設展示や企画、巡回、特別展示などに必要な資料

で、歴史館所有保管にならないものも含み、借用、複製、購入などによって収集を図る。

(c) 研究用資料

教育普及、情報提供や長野県の歴史、郷土に関する調査研究など、館内または外部研究者、来館者の学習、研究上必要な資料を収集する。

(d) 歴史情報資料

諸学会、研究団体、歴史民族資料館などが所有する地域史料の情報、地域史研究に関わる歴史情報などを収集し、総合的、有機的に利用できるよう、コンピュータによるデータベース化を図る。

② 収集資料の範囲

(a) 歴史館は、考古館及び文書館施設としての性格をもった歴史博物館的施設である。従って収集対象とする資料の時代的範囲は、原始から現代に及ぶものとする。

(b) 収集資料の地域的範囲は、おおむね現在の県域を中心とする。しかし、長野県は東西文化の結節点に位置し、東西交流はもとより太平洋側と日本海側を縦断する南北交通の要衝にあり、本県に関連する重要資料は、全国に存在しているため必要に応じて全国的視野からの収集を考慮する。

(c) 歴史館は、長野県に関する埋蔵文化財資料及び文献史料の収集を主とするが、それ以外にも下記のような展示、調査研究等に活用できるものを中心に可能な限り収集する。

ア 信濃の歴史的変遷や生活風土の諸相を示す資料

イ 美術工芸品で長野県に関係が深く展示テーマに合致する資料

ウ 各時代の生活の特色を示す生活民俗資料

エ 地域史研究に役立つ文献以外の諸資料（地名、地図、伝承、風俗、地割等）

③ 資料収集の方法

(a) 資料は、埋蔵文化財センター、信濃史料刊行会、長野県史料刊行会、長野県立図書館などで収集された資料の移管、委譲をはじめ、県民の理解を得て寄贈、寄託が望ましい。そのため、早くから広報活動を行い、必要な資料については、購入、複製収集などに当たる。

(b) 寄贈、寄託、購入などに当たっては必要に応じ専門家の意見を聞くものとし、取扱いについては別途定める。

(c) 本館の活動が、県内市町村の歴史資料館等類似施設の活動に不安を与えることのないように配慮する。資料は、現地保存、現地公開、現地利用を原則とし、寄贈、寄託等を受けるに当たっては、所蔵者との交渉のみならず市町村の了解を得ることが望ましい。これらの諸機関との友誼的関係にたつて収集に当たる。特に歴史的価値が高いもので、

ア 市町村において保存、整理、公開の対応ができないもの

イ 資料散逸の危機性が高く、早急な対応が必要なもの

については優先的に対応する。

- (d) 資料収集は、県内の所在資料について詳細な調査を進めるとともに、県外所在資料についても順次調査を行う中で系統的長期的に行う。資料の選択と評価にあたっては、個人的、時代的な価値判断に陥らないよう、十分留意するものとする。
- (e) 県内における文献史料の所在、分布調査等を行うため、資料調査員制度を設ける。
- (f) 歴史的に重要な行政文書等の収集・保存を組織的系統的に行う。

※寄贈 1 件

大塚初重氏写真資料

(2) 購入・移管資料の内訳

なし

(3) 寄贈・寄託の内訳

なし

2 展示資料

(1) 収集資料数（件）

区 分	製作・購入	移管	寄贈	寄託	計
令和 6 年	0	0	3	0	3

(2) 製作・購入・移管資料の内訳

なし

(3) 寄贈

品名	員数	時代	備考
輻重兵第十三大隊アルバム	1 点	近現代	高田第 13 師団関係記録
黒台信濃村概況小冊子	2 点	近現代	満蒙開拓の記録
軍事手帳	1 点	近現代	陸軍関係の記録

(4) 寄託

なし

(5) 修復

なし

3 考古資料

(1) 収集資料数（件）

区 分	購入	移管	寄贈	寄託	計
令和 6 年	0	6	1	0	0

※移管：6 遺跡 160 箱

南大原遺跡（中野市）95 箱、枇杷島遺跡（中野市）51 箱、柳沢遺跡（中野市）10 箱、壁田遺跡（中野市）1 箱、ねごや遺跡（中野市）2 箱、孫七坂遺跡（南相木村）1 箱

(4) 保存処理・修復・科学分析

- ・館蔵脆弱資料のうち劣化が深刻な資料に対して、集中的な保存処理を継続実施。
- ・当館の設備を用いて、当県の歴史の研究のために必要とされる科学分析を実施した。
- ・長野県埋蔵文化財センター並びに市町村教育委員会への必要な技術協力を行った。

項 目		内 容		件 名 ・ 資 料 名	処理点数	状 況	所 管
木 器	保 存 処 理	大型 木器等 PEG処理 槽一括 処理	P E G法※1	第39シリーズ 〈川田条里遺跡他〉	153	継 続	当 館
				第40シリーズ (川田条里遺跡)	300	継 続	当 館
				第41シリーズ (川田条里遺跡)	301	継 続	当 館
				第42シリーズ (川田条里遺跡)	299	継 続	当 館
			(トレハロース法)	榎田遺跡	2	継 続	当 館
		合 計			1,055		
石 造 物 ・ 金 属 器		保 存 処 理 ・ 修 復	村指定摩利支天石祠(技術協力)	1	完 了	阿智村教育委員会	
			中村遺跡出土鉄・青銅器(技術協力)	4	完 了	中川村歴史民俗資料館	
			久保地尾根遺跡出土鉄器(技術協力)	3	完 了	原村教育委員会	
			長野市長沼城跡出土 漆塗り鉄・青銅器(技術協力)	3	完 了	長野県埋蔵文化財センター	
			北栗・南栗遺跡出土金属器の再処理	20	完 了	当 館	
科 学 分 析		赤外線観察	矢加美神社「俳 額」	2	完了(74カット)	長野市教育委員会	
		X線透過観察	風間神社「扁 額」	1	完 了	長野市教育委員会	
			松本市南栗遺跡 飯田市正泉寺遺跡 長野市長沼城跡	出土金属器	144	完 了	長野県埋蔵文化財センター
			蛍光X線分析				
		分 析 合 計				148	
保存処理・観察・分析・修復・環境管理等の問合せへの回答					20件	15 市町村・県埋蔵文化財センター	

※1 ポリエチレングリコール処理を実施したもの（最終的にポリエチレングリコールを100%まで浸漬）。

4 文献史料

(1) 行政文書

① 収集

- ア 特定歴史文書 情報公開・法務課より 3,165 冊（うち、紙が 3,158 冊 電子が 7 冊）
松本地域振興局より 2 冊
イ 行政資料 174 冊（長野県の行政刊行物等）
ウ 県報 115 件（令和 5 年 1 月～令和 5 年 12 月分を製本）
エ 収集公文書 48 冊（大正 3 年～昭和 6 年）

② 公開・非公開判定

- ア 行政文書の公開・非公開判定会議
9 月 25 日実施（2022 年度追加移管決定分・2023 年度移管決定分・同追加移管決定分）
1 月 23 日実施（2021 年度移管決定分）

③ 整理数・整理作業

- ア 整理数 行政文書 2,750 冊 行政資料 182 冊
イ 整理作業 保存箱作成、金属除去、ラベル貼り

④ 公開

- ア 特定歴史公文書
2023 年度移管分・同追加分 448 冊（うち利用制限なし 238 冊 要審査 210 冊）
2021 年度以前分 1,933 冊（うち全非公開 593 冊 一部非公開 454 冊）
イ 行政資料（2023 年度移管分） 212 冊
ウ 県報 6 冊 124 件（令和 4 年 1 月～12 月）
エ その他
官報 576 冊（明治 16 年～昭和 10 年）
県報 6 冊 117 件（令和 5 年 1 月～令和 4 年 12 月）
2021 年度・2024 年度移管外公文書 514 冊（うち全非公開 62 冊 一部非公開 7 冊）

⑤ 行政利用（県職員等による行政文書・長測図の利用）

- 特定歴史公文書 2 件 9 冊
長測図 2 件 4 点

⑥ 特定歴史公文書の利用請求 なし

⑦ その他

- ア 近代行政文書のデジタル撮影（業者委託） 37 冊（明治 5 年～明治 6 年）

(2) 近現代資料

① 収集・整理

G-16 丸田恒雄 満洲更級郷絵画資料（追加分）など 9 件を収集した。

資料番号	資料名
G 16	丸田恒雄 満洲更級郷絵画資料（追加分）
G 68	久保田篤収集資料
G 69	土屋信・喜代子収集資料
G 70	熊谷家資料
G 71	早稲田大学農学部招致関係資料
G 72	窪田家資料
G 73	戸倉中澤組写真資料
G 74	県政広報関係資料
G 75	鈴木実収集資料

目録の公開は、近現代資料で 5 件、1,114 点の史料目録を公開した。

資料番号	資料名	入力点数
G 2	長野県連合青年団関係史料（追加分）	772 点
G 16	丸田恒雄 満洲更級郷絵画資料（追加分）	2 点
G 51	日本測定器株式会社疎開資料（追加分）	28 点
G 54	鎌田廣忠収集資料	194 点
G 63	石川与四郎収集資料	118 点
		計 1,114 点

② 保存

- ア 長野県史写真フィルム（35mm）の洗浄・複製製作（業者委託）
継続事業 諏訪郡 468 本

(3) 古文書

① 収集 (* = 概数含む) 5,630 点

文 書 名	内 容
寄 贈	
登録有形文化財小林家住宅史料 *4,000 点	更級郡広田村の名主を務めた小林家に伝わる文書
伊那郡三日町村文書 *400 点	伊那郡三日町村より流失した文書。
長野県東筑摩郡生坂村東広津大久保地籍耕図地図 1 点	軍かたばこで知られる中山間地の耕地図。
北安曇郡沢渡村篠崎家文書 *400 点	北安曇郡沢渡村で庄屋を務めた篠崎家に伝わる文書
筑摩郡上神林村野口庄三郎家文書 *400 点	筑摩郡上神林村の材木商である野口家の文書。
埴科郡寂蒔村戸長役場資料 20 点	寂蒔村戸長を務めた宮坂家の資料。
佐久郡豊里村篠原家文書 10 点	佐久郡豊里村篠原家に伝わる売渡証文類の文書。
佐久間象山筆「行書七言絶句軸」 1 点	象山による自作と思われる詩。
8 件 計 5,232 点	
寄 託	
大矢浩登収集文書 7 点	
中嶋克仁収集文書 2 点	
長念寺文書 31 点	
3 件 計 40 点	
購 入	
鳥坂軍記 1 点	桓武平氏城氏の顛末を記す江戸時代の軍記物語。
筑摩郡下西条村文書 *300 点	筑摩郡下西条村の史料で佐倉家所有の史料を含む。
御軍制取調要用書類 1 点	幕末の軍事改革がわかる上田藩松平家の藩政文書。
水野御家松本御代々并大変記 1 点	写本。
信州国小縣郡上田城下差出帳 1 点	写本。
松本藩家臣板倉家出身書 5 点	士官に際し作成した史料の下書。
本多忠正書状 1 点	府中小笠原家に伝来した文書。
小笠原政長・大坪直秀像 2 点	大坪流馬術の祖小笠原政長と大坪直秀の肖像画。
真田昌幸書状 1 点	高野山へ配流された以降の書状。
埴科郡児玉家資料 40 点	児玉勝子の生家、児玉家の資料。
脇坂安元書状 2 点	妻籠宿島崎家に伝来した文書。
信越奥戦中死傷名面 1 点	戊辰戦争の松代藩に関わる書上げ帳。
上田藩御家中年数御改帳 2 点	上田藩藤井松平家の家臣団の分限帳。
13 件 計 358 点	

② 寄託から寄贈へ変更

文 書 名	内 容
該当なし	

③ 整理 (* = 継続整理中)

文 書 名	点数 (点)
佐久郡長土呂村角田家資料*	3,628
長野市千原勝美史料 (追加分)	442
諏訪郡豊田村武井家文書	332
水内郡三輪村左治木家文書	304
筑摩郡旗本近藤家文書	141
佐久郡八重原村黒沢家文書 (追加分)	781
北安曇郡沢渡村篠崎家文書*	255
伊那郡大草村高坂家文書 (桑原巡氏寄託文書)	214
大矢浩登収集文書	7
中嶋克仁収集文書	2
歴史館展示資料	47
小県郡辰口村飯島家文書*	7
歴史館ポスター	136
県立歴史館収集文書 (雑)	7
小県郡神川村尾崎家文書 (盛信文庫) *	985
石川欣一収集史料	241
大町宿曾根原家文書	61
高島藩土三井家文書	113
埴科郡下戸倉村坂井家文書*	122
登録有形文化財小林家住宅史料*	200
水内郡妻科村宮大工山崎家資料*	99
21 件 合計	8,124

④ 公開（WEBも含めて）

番号（地区・通番）	文 書 名	点数（点）
0-30	本池悟収集書簡資料	823
7-65	更級郡上山田村鹿田家史料	130
5-79	麻績宿組頭飯沼家文書	256
9-11	長野市千原勝美史料（追加分）	1151
3-37	諏訪郡豊田村武井家文書	391
9-2	水内郡三輪村左治木家文書	1640
5-81	筑摩郡旗本近藤家文書	143
2-31	佐久郡八重原村黒沢家文書（追加分）	781
4-49	伊那郡大草村高坂家文書（桑原巡氏寄託文書）	217
0-32	大矢浩登収集文書	7
0-33	中嶋克仁収集文書	3
0-99-4	歴史館展示資料	47
0-99-3	県立歴史館収集文書（雑）	7
0-26	石川欣一収集史料	4,554
5-77	大町宿曾根原家文書	293
3-36	高島藩土三井家文書	119
16件	合計	10,562

⑥ 古文書のマイクロ化・紙焼き・製本

マイクロ	佐久郡大井法華堂文書	1,193 カット（継続）
紙焼・製本	佐久郡大井法華堂文書	1,193 カット（継続）

(4) その他

- ① 燻蒸釜による燻蒸10回 行政文書、行政資料、古文書、展示資料など

1 広告・案内

月	掲載・掲示	内 容	規 格	備 考
4月	信濃毎日新聞	2024年所蔵品展「至宝の名品 学芸員のイチオシ 近現代歴史資料編」	新聞	展覧会情報
	朝日新聞	2024年所蔵品展「至宝の名品 学芸員のイチオシ 近現代歴史資料編」	新聞	長野県版（有料）
	長野日報	2024年所蔵品展「至宝の名品 学芸員のイチオシ 近現代歴史資料編」	新聞	イベント情報
	博物館研究4月号	2024年所蔵品展「至宝の名品 学芸員のイチオシ 近現代歴史資料編」	会報	行事報告
	読売新聞	2024年所蔵品展「至宝の名品 学芸員のイチオシ 近現代歴史資料編」	新聞	美術館・博物館情報
	ちくま未来新聞	2024年所蔵品展「至宝の名品 学芸員のイチオシ 近現代歴史資料編」	広報紙	広告
	朝日新聞	2024年所蔵品展「至宝の名品 学芸員のイチオシ 近現代歴史資料編」	新聞	長野県版（有料）
	朝日新聞	2024年所蔵品展「至宝の名品 学芸員のイチオシ 近現代歴史資料編」	新聞	長野県版（有料）
	朝日新聞	2024年所蔵品展「至宝の名品 学芸員のイチオシ 近現代歴史資料編」	新聞	長野県版（有料）
	朝日新聞	2024年所蔵品展「至宝の名品 学芸員のイチオシ 近現代歴史資料編」	新聞	長野県版（有料）
	信濃毎日新聞	歴史館でこどもの日	新聞	イベントガイド
	朝日新聞	歴史館でこどもの日	新聞	インフォメーション
5月	市報千曲5月号	歴史館でこどもの日	広報誌	インフォメーション
	朝日新聞	2024年所蔵品展「至宝の名品 学芸員のイチオシ 近現代歴史資料編」	新聞	長野県版（有料）
	信濃毎日新聞	第1回県立歴史館講座	新聞	イベントガイド
	信濃毎日新聞	2024年所蔵品展「至宝の名品 学芸員のイチオシ 近現代歴史資料編」	新聞	イベントガイド
	信濃毎日新聞	考古学セミナー	新聞	イベントガイド
6月	博物館研究6月号	2024年所蔵品展「至宝の名品 学芸員のイチオシ 近現代歴史資料編」	会報	行事報告
	千曲市報6月号	第2回県立歴史館講座	広報誌	インフォメーション
	信濃毎日新聞	第2回県立歴史館講座	新聞	イベントガイド
	信濃毎日新聞	「土偶展図録」村上義清と信濃村上氏 好評発売中	新聞	広告
	八十二文化財団 催しのご案内	開館30周年記念 令和6年度夏季企画展「疾風怒濤 木曾義仲」	広報紙	美術館・博物館での催し
	毎日新聞	開館30周年記念 歴史館寄席	新聞	情報プラザ
7月	千曲市報7月号	長野県立歴史館30年のあゆみ（巻頭特集）	広報誌	巻頭特集（カラー）
	千曲市報7月号	第3回県立歴史館講座	広報誌	インフォメーション
	信濃毎日新聞	第3回県立歴史館講座	新聞	イベントガイド
	朝日新聞	開館30周年記念 令和6年度夏季企画展「疾風怒濤 木曾義仲」	新聞	長野県版（有料）
	全国高等学校野球選手権長野	開館30周年記念 令和6年度夏季企画展「疾風怒濤 木曾義仲」	大会冊子	有料広告
	大会冊子	開館30周年記念 令和6年度夏季企画展「疾風怒濤 木曾義仲」	新聞	イベントガイド
	信濃毎日新聞	開館30周年記念 令和6年度夏季企画展 講演会・イベント	新聞	イベントガイド
	信濃毎日新聞	開館30周年記念 令和6年度夏季企画展「疾風怒濤 木曾義仲」	新聞	有料 BLUE INFO
	信濃毎日新聞	開館30周年記念 令和6年度夏季企画展「疾風怒濤 木曾義仲」	新聞	長野県版（有料）
	朝日新聞	公開講座「新説 川中島合戦」	新聞	情報バレット
	毎日新聞	開館30周年記念 令和6年度夏季企画展「疾風怒濤 木曾義仲」	新聞	県内美術館・博物館
	読売新聞	開館30周年記念 令和6年度夏季企画展「疾風怒濤 木曾義仲」	広報紙	情報
	ちくま未来新聞	開館30周年記念 令和6年度夏季企画展「疾風怒濤 木曾義仲」	新聞	広告
	朝日新聞	開館30周年記念 令和6年度夏季企画展「疾風怒濤 木曾義仲」	新聞	長野県版（有料）
	朝日新聞	開館30周年記念 令和6年度夏季企画展「疾風怒濤 木曾義仲」	新聞	長野県版（有料）
	読売新聞	開館30周年記念 令和6年度夏季企画展「疾風怒濤 木曾義仲」	新聞	県内美術館・博物館情報

8月	千曲市報8月号 信濃毎日新聞 八十二文化財団 催しのご案内 八十二文化財団 催しのご案内 朝日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 朝日新聞 朝日新聞	開館30周年記念 令和6年度夏季企画展 講座 歴史館で夏休み 開館30周年記念 令和6年度夏季企画展「疾風怒濤 木曾義仲」 開館30周年記念 令和6年度秋季企画展「描かれた川中島合戦」 開館30周年記念 令和6年度夏季企画展「疾風怒濤 木曾義仲」 開館30周年記念 令和6年度夏季企画展講座 展示会 よみがえる若穂の古墳時代 開館30周年記念 令和6年度夏季企画展「疾風怒濤 木曾義仲」 開館30周年記念 令和6年度夏季企画展「疾風怒濤 木曾義仲」	広報誌 新聞 広報紙 広報紙 新聞 新聞 新聞 新聞 新聞	インフォメーション イベントガイド 美術館・博物館での催し 美術館・博物館での催し 長野県版（有料） イベントガイド イベントガイド 長野県版（有料） 長野県版（有料）
9月	千曲市報9月号	県立歴史館 館棟蒸による休館	広報誌	インフォメーション
10月	千曲市報10月号 千曲市報10月号 ちくま未来新聞 なかの情報NEXT 10月号 博物館研究10月号 朝日新聞 朝日新聞 読売新聞 八十二文化財団 催しのご案内 信濃毎日新聞 朝日新聞 朝日新聞 信濃毎日新聞 朝日新聞	開館30周年記念 令和6年度秋季企画展「描かれた川中島合戦」 開館30周年記念 令和6年度秋季企画展 講演会・講座 開館30周年記念 令和6年度秋季企画展「描かれた川中島合戦」 開館30周年記念 令和6年度秋季企画展「描かれた川中島合戦」 開館30周年記念 令和6年度秋季企画展「描かれた川中島合戦」 開館30周年記念 令和6年度秋季企画展「描かれた川中島合戦」 開館30周年記念 令和6年度秋季企画展「描かれた川中島合戦」 開館30周年記念 令和6年度秋季企画展「描かれた川中島合戦」 開館30周年記念 令和6年度秋季企画展「描かれた川中島合戦」 開館30周年記念 令和6年度秋季企画展「描かれた川中島合戦」 開館30周年記念 令和6年度秋季企画展「描かれた川中島合戦」 開館30周年記念 令和6年度秋季企画展「描かれた川中島合戦」 開館30周年記念 令和6年度秋季企画展「描かれた川中島合戦」 開館30周年記念 令和6年度秋季企画展「描かれた川中島合戦」 開館30周年記念 令和6年度秋季企画展「描かれた川中島合戦」	広報誌 広報誌 広報紙 広報紙 会報 新聞 新聞 新聞 新聞 新聞 新聞 新聞 新聞 新聞 新聞	インフォメーション インフォメーション 行事報告 長野県版（有料） 長野県版（有料） 長野県版（有料） 美術館・博物館での催し イベントガイド 長野県版（有料） 長野県版（有料） ORANGE INFO 長野県版（有料）
11月	博物館研究11月号 朝日新聞 朝日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞	開館30周年記念 令和6年度秋季企画展「描かれた川中島合戦」 開館30周年記念 令和6年度秋季企画展「描かれた川中島合戦」 開館30周年記念 令和6年度秋季企画展「描かれた川中島合戦」 開館30周年記念 令和6年度秋季企画展講演会 縄文風クリスマスリース作り 開館30周年記念 令和6年度秋季企画展「描かれた川中島合戦」 終了間近！	会報 新聞 新聞 新聞 新聞	行事報告 長野県版（有料） 長野県版（有料） イベントガイド イベントガイド 東北信版（有料）
12月	信濃毎日新聞 千曲市報12月号 千曲市報12月号 八十二文化財団 催しのご案内 信濃毎日新聞	近世史セミナー 第5回県立歴史館講座 近世史セミナー 開館30周年記念 令和6年度冬季企画展「佐久間象山遺墨展」 第5回県立歴史館講座	新聞 広報誌 広報誌 広報紙 新聞	イベントガイド イベントガイド
1月	朝日新聞 信濃毎日新聞 千曲市報1月号 千曲市報1月号 千曲市報1月号 千曲市報1月号 博物館研究1月号 朝日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 朝日新聞 なかの情報NEXT 2月号 朝日新聞	開館30周年記念 令和6年度冬季企画展「佐久間象山遺墨展」 開館30周年記念 令和6年度冬季企画展「佐久間象山遺墨展」 開館30周年記念 令和6年度冬季企画展「佐久間象山遺墨展」 冬季企画展関連行事 長野県立歴史館無料デー（KOAの日） 第6回県立歴史館講座 開館30周年記念 令和6年度冬季企画展「佐久間象山遺墨展」 開館30周年記念 令和6年度冬季企画展「佐久間象山遺墨展」 佐久間象山遺墨展 書は人なり 県立歴史館・KOAの日 開館30周年記念 令和6年度冬季企画展「佐久間象山遺墨展」 開館30周年記念 令和6年度冬季企画展「佐久間象山遺墨展」 開館30周年記念 令和6年度冬季企画展「佐久間象山遺墨展」	新聞 新聞 広報誌 広報誌 広報誌 広報誌 会報 新聞 新聞 新聞 新聞 新聞 新聞 新聞	長野県版（有料） 展覧会 県内 行事報告 長野県版（有料） イベントガイド イベントガイド 長野県版（有料） 長野県版（有料）

	読売新聞	開館30周年記念 令和6年度冬季企画展「佐久間象山遺墨展」	新聞	県内美術館・博物館情報
2月	信濃毎日新聞 朝日新聞 毎日新聞 八十二文化財団催しのご案内 信濃毎日新聞 毎日新聞	開館30周年記念 令和6年度冬季企画展「佐久間象山遺墨展」 開館30周年記念 令和6年度冬季企画展「佐久間象山遺墨展」 佐久間象山遺墨展 講演会「佐久間象山研究の現在」 開館30周年記念令和7年所蔵品展「原始～開館30年のあゆみ展～」 冬季企画展講演会「佐久間象山研究の現在」 新規収蔵文書展	新聞 新聞 新聞 広報紙 新聞 新聞	東北信版（有料） 長野県版（有料） 情報プラザ 週間ガイド 情報プラザ
3月	信濃毎日新聞 朝日新聞 博物館研究3月号 信濃毎日新聞 読売新聞 読売新聞 朝日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 読売新聞 朝日新聞 朝日新聞 読売新聞 朝日新聞 読売新聞	かるいざわ歴史・文化講座 開館30周年記念 令和7年所蔵品展「原始」 開館30周年記念 令和7年所蔵品展「原始」 春休み親子映画会 開館30周年記念 令和7年所蔵品展「原始」 開館30周年記念 令和7年所蔵品展「原始」 開館30周年記念 令和7年所蔵品展「原始」 開館30周年記念 令和7年所蔵品展「原始」 開館30周年記念 令和7年所蔵品展「原始」 開館30周年記念 令和7年所蔵品展「原始」 開館30周年記念 令和7年所蔵品展「原始」 開館30周年記念 令和7年所蔵品展「原始」 開館30周年記念 令和7年所蔵品展「原始」 開館30周年記念 令和7年所蔵品展「原始」 開館30周年記念 令和7年所蔵品展「原始」 令和7年度所蔵品展 原始～開館30周年のあゆみ～	新聞 新聞 会報 新聞 新聞 新聞 新聞 新聞 新聞 新聞 新聞 新聞 新聞 新聞 新聞	週間ガイド 長野県版（有料） 行所版、後援カラーページ 週間ガイド 県内美術館・博物館情報 長野県版（有料） 長野県版（有料） 週間ガイド 長野県版（有料） 県内美術館・博物館情報 長野県版（有料） インフォメーション 長野県版（有料） 長野県版（有料） 県内美術館・博物館情報

2 記事・報道

当館に関する主な記事・番組等は以下のとおりである。ケーブルテレビ局と有線放送局作成番組については、提携各局において随時放送されている。

月	掲載・掲示	タイトル	規格	備考
4月	信濃毎日新聞 屋代有線 屋代有線 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 中日新聞 信濃毎日新聞 毎日新聞 須坂新聞	松本城主・戸田康長の肖像画 1世紀の時を超え出会えた 今年度の古文書講座募集について 「歴史館で子どもの日」のイベントについて 天皇巡幸のため施設新築や修繕 「市中学び」迎えた長野県民 雑誌創刊1号 1500冊コレクション 大量生産社会に光る個性・地域性 川中島の一騎打ち「現実」隠す 長野県立歴史館の村石正行さん 検証本で解説 信濃国における黒船来航の影響 苦勞を伝える清水家文書 今週の本棚 検証 川中島の戦い 相森にあった日測工場を紹介 県立歴史館 新町宮本家の寄贈図面等公開	コラム 有線放送 有線放送 コラム コラム 記事 コラム 記事 記事	研究紀要 古文書講座 体験イベント 所蔵品展 所蔵品展 所蔵品展 所蔵品展 所蔵品展 所蔵品展
5月	信濃毎日新聞 屋代有線 屋代有線 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 市民タイムス 信濃毎日新聞	鳥形の諏訪大社御柱祭「薙鎌」「竜体の男神 鳳凰の女神」意識か 所蔵品展の見どころの解説 県立歴史館講座について 塩尻 平出遺跡の発掘調査記録 足元の歴史解明へ 熱い思い 更級郷 埴科郷 開拓団史跡は 県立歴史館名誉学芸員青木さん長野で語る 木曾・塩尻の遺跡情報共有 県立歴史館企画展に向け 大正末から昭和初期の観光パンフ 色鮮やかな「鳥瞰図」で誘客	コラム 有線放送 有線放送 コラム 記事 記事 コラム	県立歴史館講座 所蔵品展 県立歴史館講座 所蔵品展 所蔵品展 (R7) 常設展示

	信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 読売新聞 信濃毎日新聞	サトイモ「善光寺」名前のルーツどこ…？ 須坂の宮本組とソニー井深氏 急告げる戦局 屈いたリング 鉾を握る満蒙開拓からの問い 満州の写真 募集しています 学芸員のおススメ！天皇巡幸 配慮や調整 緊急発掘 弥生土器の中の「黒曜石」 近現代史となった記録類	記事 コラム 記事 コラム コラム	所蔵品展 所蔵品展 所蔵品展
6月	読売新聞 信濃毎日新聞 長野市民新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 中日新聞 信濃毎日新聞 南信州新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞	学芸員のおススメ！絵と句 微妙な連れ合い 若き上田藩士・岡部九郎兵衛 一揆に対応 当時29歳の胆力 貴族社会を支えた「租庸調」 稲が古代社会を変革 高速交通網整備に伴う発掘調査 信州の歴史に多くの新知見 屋代遺跡群から出土の木製祭祀具 疫病にあらがう人々の祈り 原村・久保地尾根遺跡 平安後期の出土品 謎の「鉄の棒」に関係者注目 県立歴史館30周年 春季展へ勉強会 教委担当者ら文化財の知識深める 千し柿の製法 時代経て改良 受け継がれてきた渋抜く知恵 県立歴史館 文化財担当者と勉強会 開館30周年春季企画展に向け 「検証 川中島の戦い」 信州×本・雑誌 県立歴史館 来月初の寄席 上田出身 立川談慶さん登場	コラム コラム 記事 コラム コラム 記事 記事 コラム 記事 記事 記事	所蔵品展 常設展示 写真提供 所蔵品展 県立歴史館講座 所蔵品展 (R7) 常設展示 所蔵品展 (R7) 書評 夏季企画展
7月	信濃毎日新聞 屋代有線 屋代有線 知事会見 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 FM長野 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞	芥川龍之介も情熱的に論じた一生 木曾義仲から学ぶ「教訓」は 夏季企画展「疾風怒濤 木曾義仲」見どころの解説 「歴史館で夏休み」のイベントについて 開館30周年及び記念企画展 発掘30年を機に 屋代遺跡群学ぶ 県立歴史館で 乱暴狼藉停止を命じ官職を理解 木曾義仲の人物像を問い直す 木曾義仲展 五感で楽しんで 千曲の県立歴史館喫茶店でコラボカレー Best Style!しあわせ信州ナビゲーション 県立歴史館へ行こう！ 県立歴史館 きょうから30周年企画展 絵や古文書「生」の記録に見る実像 県立歴史館30周年 時を刻む収蔵品たち1 徳川家書状1584(天正12)年 恩人の斎藤実盛の死に落涙 人情味ある義仲に時代超え共感 県立歴史館30周年 時を刻む収蔵品たち2 紫式部・清少納言双幅(江戸時代後期) 伝承と資料で触れる義仲「疾風」の生涯 義仲支えたコアな家臣団 依田庄など東信が根拠地か	コラム 有線放送 有線放送 会見 記事 コラム 記事 ラジオ放送 記事 記事 コラム 記事 記事 コラム	夏季企画展 夏季企画展 体験イベント 開館30周年 県立歴史館講座 夏季企画展 夏季企画展 開館30周年 夏季企画展 開館30周年 夏季企画展 開館30周年 夏季企画展 夏季企画展
8月	信濃毎日新聞 屋代有線 文化放送 長野放送 上田ケーブルテレビ 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 読売新聞 ちくま未来新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 長野日報 信濃毎日新聞 岡谷市民新聞 信濃毎日新聞 中日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞	横田河原の戦いと越後平氏城氏 北信濃まで広範ネットワーク 夏季企画展「疾風怒濤 木曾義仲」見どころの解説 峰竜太とみんなの信州 長野県立歴史館 長野県立歴史館 大看板披露 長野千曲市 UCVレポート 長野県立歴史館 大看板披露 「大力の女武者・巴御前」の役割 義仲の最期を伝える語り部に 信州の武将躍動 戦国武将列伝第4巻「甲信編」刊行 県立歴史館 大看板を披露 開館30周年 令和6年度夏季企画展「疾風怒濤 木曾義仲」 初の「ティーンズ考古学講座」 開館30周年記念 看板を新調 書家の川村龍洲さん揮毫 各地の遺跡の最新情報収集 県立歴史館春季展へ勉強会 「兄玉勝子日記」展示(見出し無し) 地元の遺跡や出土品に理解 県立歴史館が各地で勉強会 義仲の菩提を弔ったとされる妹・菊 頼朝も政子も多くの情 木曾義仲の生涯たどる 木像や書状・屏風 県立歴史館で企画展 義仲の「木曾物語」二つの絵巻物 頼朝を直接描かず「神格化」 信州の南北朝時代に光を 諏訪で10月歴史愛好家の全国組織などが「フェス」 県立歴史館30周年 時を刻む収蔵品たち3 兄玉勝子日記1925(大正14)年～1995年	コラム 有線放送 ラジオ放送 テレビ放送 ケーブルテレビ放送 コラム 記事 記事 記事 記事 記事 記事 記事 記事 記事 記事 記事 記事 記事 記事	夏季企画展 夏季企画展 開館30周年 開館30周年 開館30周年 開館30周年 開館30周年 開館30周年 夏季企画展 ティーンズ考古学講座 開館30周年 所蔵品展 (R7) 常設展示 所蔵品展 (R7) 夏季企画展 夏季企画展 夏季企画展 開館30周年

	信濃毎日新聞	「山岳考古学」など提唱 鳥居龍蔵らの功績 蓄積された知見から課題解決を	コラム	常設展示
9 月	ちくま未来新聞	書家・川村龍洲さん揮毫の木曾ヒノキ板大看板が完成	記事	開館 30 周年
	毎日新聞	昌幸の書状、残したい 長野県立歴史館 購入目指し CF 開始	記事	クラウドファンディング
	信濃毎日新聞	「真田昌幸書状 購入へ協力を」県立歴史館が CF 「貴重な文書 散逸しないよう」	記事	クラウドファンディング
	信濃毎日新聞	県内の峠にいたる恐ろしい自然神 古代人 祭祀でたたり鎮める	コラム	県立歴史館講座
	信濃毎日新聞	斜面	記事	古文書
	信濃毎日新聞	鉄を握る 更級郷開拓団の実情は 団員遺族の宮本さんが資料保管	記事	常設展示
	信濃毎日新聞	江戸期・信濃の輸送業者「中馬」 山中の経済活動・生活の支えに	コラム	常設展示
	信濃毎日新聞	規則にとらわれない自由な「錦絵」 「横浜絵」 活気あふれる幕末描く	コラム	常設展示
	東信ジャーナル	県立歴史館が来春企画展の充実へ 青木で上小地域の研究会	記事	所蔵品展 (R7)
	信濃毎日新聞	川中島の真実 地域武士こそが戦いの主役	コラム	秋季企画展
10 月	信濃毎日新聞	古墳時代から生産 土師器と須恵器 善光寺平 内面黒色の杯も	コラム	常設展示
	屋代有線	秋季企画展「描かれた川中島合戦」見どころの解説	有線放送	秋季企画展
	信濃毎日新聞	川中島合戦 信玄と謙信の名場面 「一騎打ち」描写複数の設定存在	コラム	秋季企画展
	信濃毎日新聞	武田方と上杉方それぞれの視点 描かれ伝わる川中島合戦	記事	秋季企画展
	信濃毎日新聞	信玄と謙信に足利将軍から停戦命令 「川中島」の行方 信長も注視	コラム	秋季企画展講座
	信濃毎日新聞	オープンから 30 年 館のこれからは 未来へ資料充実 寄付活動も	コラム	秋季企画展
11 月	信濃毎日新聞	流転する善光寺如来や鉄砲の使用 近世につながる川中島合戦	コラム	秋季企画展
	屋代有線	秋季企画展「描かれた川中島合戦」見どころの解説	有線放送	秋季企画展
	信濃毎日新聞	県立歴史館あすからポスター展 開館 30 年を振り返る 120 枚	記事	開館 30 周年
	NHK	おはよう日本 失われゆく古文書 どう守る	テレビ放送	古文書
	信濃毎日新聞	「川中島合戦図屏風」岩国本の来歴は 何人ものつながり見える魅力	コラム	秋季企画展
	信濃毎日新聞	「川中島合戦図屏風」紀州本誕生の謎 背景に徳川家兄弟の争いか	コラム	秋季企画展
	北信ローカル	文化財担当職員と意見交換 県立歴史館 来春「原始」テーマに企画展	記事	所蔵品展 (R7)
	読売新聞	学芸員のおススメ！激戦の一部始終 壮大に	コラム	秋季企画展
	中日新聞	真田昌幸の書状「協賛憑み候」長野県立歴史館 史料購入クラファン	記事	クラウドファンディング
	信州の東京	しなの歩き一千曲市ー 長野県立歴史館から森將軍塚古墳と科野縄文ムラ	記事	常設展示
	信濃毎日新聞	県立歴史館 30 周年 時を刻む収蔵品たち 4 縄文人骨 縄文時代後期	記事	開館 30 周年
	信濃毎日新聞	屏風や錦絵に描かれた「戦」の世界 芸術品の半面 戒めも伝える	コラム	秋季企画展
	信濃毎日新聞	「春近五人衆」の研究会 発足へ 駒ヶ根であす講演会	記事	秋季企画展
	読売新聞	「川中島の戦い」繊細に描く 屏風展示 中島千波さんら対談	記事	秋季企画展
	読売新聞	学芸員のおススメ！信玄 寺尾氏に気遣い	コラム	秋季企画展
	信濃毎日新聞	30 周年県立歴史館と私① 将来の夢きっかりに	記事	
	信濃毎日新聞	30 周年県立歴史館と私② 自分を生かせる場所	記事	
	信濃毎日新聞	30 周年県立歴史館と私③ 読み継ぐ人材を育成	記事	
	信濃毎日新聞	30 周年県立歴史館と私④ 身近な歴史 親しむ場	記事	
	信濃毎日新聞	八ヶ岳山麓の縄文集落遺跡 高地暮らしの工夫随所に	コラム	県立歴史館講座
	信濃毎日新聞	30 周年県立歴史館と私⑤ 埋もれた歴史を世に	記事	
12 月	ちくま未来新聞	第 32 回森將軍塚まつり 古墳上で青空教室と民族音楽	記事	
	信濃毎日新聞	継続することに意味があった？ 「縄文」受け継いだ弥生土器	コラム	常設展示
	信濃毎日新聞	漫画「逃げ若」で話題 北条時行 市河文書で浮かぶ縁起	コラム	開館 30 周年
	信濃毎日新聞	没後 160 年 佐久間象山の肖像画 重厚な写実 強烈な個性表現	コラム	冬季企画展
	信濃毎日新聞	回顧 1 年 2024 歴史 県立歴史館 30 周年 災害伝える活動活発に	記事	

1月	信濃毎日新聞 屋代有線 屋代有線 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 Eテレ 信濃毎日新聞 ちくま未来新聞 信濃毎日新聞	しなの歴史再見 古代から特別視された蛇 生命力の強さや水とのかわり KOAの日 冬季企画展「佐久間象山遺墨展」見どころの解説 県立美術館できょうから展示 現代アート×考古資料＝新価値創出 独特な字形は篆書習熟の証し 象山の隷書・卓越した腕前 書でたどる佐久間象山の人生 千曲の県立歴史館きょうから企画展 冷遇されても忠義尽くした顔真卿 象山の人となりに影響か 県立歴史館30周年 時を刻み収蔵品たち5 長野県之温泉と名勝1932 昭和17年「大正の広重」作 巖光を照 ザ・バックヤード 善光寺平の古代木製農具の変遷 地域間交流や政治的な影響も 長野県立歴史館 縄文風クリスマスリース作り 天覧された佐久間象山の書「読武」 政治の舞台へ戻る追い風に	コラム 有線放送 有線放送 記事 コラム 記事 コラム 記事 テレビ放送 コラム 記事 コラム	冬季企画展 冬季企画展 冬季企画展 冬季企画展 開館30周年 バックヤード紹介 県立歴史館講座 体験イベント 冬季企画展
2月	屋代有線 ちくま未来新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 読売新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 読売新聞 中日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 佐久市民新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞	県立歴史館講座 冬季企画展 佐久間象山遺墨展～書は人なり～ 県立歴史館30周年 時を刻み収蔵品たち6 六角堂鐘 平安時代末期 国内初出土 木製の仏塔 佐久間象山 中国古典への情熱 徹底した臨書 迫る書の本質 佐久間象山 天文への関心示す書簡 洋学者で一流の文人で 学芸員のおススメ!! 雷電を顕彰 隷書の代表作 信長の朱印状 新たに発見 県立歴史館の活動に賛同 名古屋の個人が寄託 日本の原史に重要な県内の遺跡 貴重な遺物 郷土のほこり 県立歴史館30周年 時を刻み収蔵品たち7 雛人形(田中家コレクション) 明治時代 学芸員のおススメ!! 懇意な誘い にじむ記憶 信長 新発見の朱印状 安土入城時、登用の家臣に宛て 戦国武将の書状 県立歴史館新規収蔵品から 武田信玄書状 7種類、どれが出る? 県立歴史館キーホルダーガチャ 県立歴史館で30周年のあゆみ展 佐久市でPR兼ねた勉強会 明治・大正期に存在「群役所」の文書 地域の特色知る貴重な資料 戦国武将の書状 県立歴史館新規収蔵品から 上杉輝虎(謙信) 書状 今日の視点 ハケ岳山麓の「縄文王国」	有線放送 記事 記事 コラム コラム コラム 記事 コラム 記事 記事 記事 記事 記事 記事 記事 記事 記事	県立歴史館講座 冬季企画展 開館30周年 冬季企画展 冬季企画展 冬季企画展 新規収蔵資料 県立歴史館講座 開館30周年 冬季企画展 新規収蔵資料 新規収蔵資料 ミュージアムグッズ 所蔵品展(R7) 研究紀要 新規収蔵資料
3月	屋代有線 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 美術新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞	令和7年所蔵品展「原始～開館30年のあゆみ展～」見どころの解説 戦国武将の書状 県立歴史館新規収蔵品から 北条氏政書状写 信長・信玄・謙信 古文書を間近に 豊臣秀吉朱印状 家臣に命令 厚く大きな高級紙で 原村・久保尾根遺跡で出土の鉄製品 「祭祀用の矛」か「武器」可能性 県境の峠の祭祀遺跡 実像は 県内コンビニ誕生50年 「今」を生き 挑戦を続けた軌跡 大桑で出土「かわいい」土器 装飾の表現力 模造し触れる 県立歴史館30周年 時を刻み収蔵品たち8 国司から郡司への命令書 国符木簡 8世紀初頭 旧石器～古墳時代の信州考える 県立歴史館所蔵品展 「佐久間象山遺墨展」開く 幕末の傑物、初遺墨展 出身地の長野県立歴史館で 祭祀に使われた弥生時代の青銅器 聞く・見る物から「埋める」物へ 刻み続ける動きの北信と南信 塩田村の道 クニづくり巡る豪族の戦跡学かぶ	有線放送 記事 記事 記事 記事 記事 コラム コラム 記事 記事 記事 コラム コラム 記事 記事 記事 記事 コラム コラム	所蔵品展(R7) 新規収蔵資料 新規収蔵資料 新規収蔵資料 研究紀要 所蔵品展(R7) 開館30周年 所蔵品展(R7) 冬季企画展 所蔵品展(R7) 所蔵品展(R7)

一 資料

I 資料利用

(点)

資料利用	展示資料 (復元・模型等)	考古資料 (一括資料も1点)	文献史料 (文書・絵図等)	全件数
貸出	6	18	8	32
掲載	22	19	37	78
複製(資料・写真)	1	0	3	4

II 閲覧利用・情報利用

月	閲覧者数 右＝1日平均		閲覧者数の内訳							複写 件数	撮影 件数	レファレン ス件数	HP アク セス数	図書登 録数	逐次刊行 物等の登 録数
			図 書	歴史 情報	映像 情報	行政 文書	古文書	考古 資料	その他						
4	187	7	144	12	0	9	17	1	4	77	422	6	7,614	71	127
5	178	7	127	10	0	7	16	6	12	59	313	12	8,642	100	83
6	209	8	162	11	0	11	14	3	8	58	419	7	9,841	100	70
7	270	10	212	22	0	11	12	3	10	63	141	12	11,073	100	55
8	350	13	273	17	0	12	30	0	18	78	604	12	10,719	60	40
9	118	7	84	8	0	8	12	1	5	36	40	5	9,016	19	50
10	171	6	114	6	0	18	16	9	8	41	618	8	8,928	82	56
11	392	15	320	14	0	8	30	6	14	61	404	7	8,043	90	46
12	140	6	102	3	0	15	13	5	2	33	474	4	6,306	70	54
1	186	8	149	8	0	6	9	8	6	60	210	16	11,132	69	50
2	203	10	154	10	0	10	14	3	12	60	459	17	8,032	88	41
3	214	8	171	10	0	5	20	4	4	34	163	16	8,654	186	78
計	2,618	9	2,012	131	0	120	203	49	103	660	4,267	122	108,000	1,035	750

III 利用者

令和6年度利用者

月	常設展示室		企画展示室		講演会・講座等		閲覧室		出前講座		地域展		利用者 計
	観覧者 数	日数	観覧者 数	日数	受講者 等数	日数	観覧者 数	日数	受講者 数	日数	観覧者 数	延べ 日数	
4	1,683	25	1,411	25	0	0	187	25	75	1	0	0	3,356
5	4,339	27	3,751	27	495	9	178	27	182	4	0	0	8,945
6	5,394	26	2,699	14	337	9	209	26	96	2	0	0	8,735
7	3,058	26	2,186	16	990	11	270	26	567	11	0	0	7,071
8	2,836	27	3,040	23	601	15	350	27	0	0	0	0	6,827
9	1,462	16	0	0	206	6	118	16	260	7	0	0	2,046
10	2,263	27	1,305	17	369	9	171	27	512	9	0	0	4,620
11	3,660	26	3,488	21	782	16	392	26	257	7	0	0	8,579
12	519	23	0	0	205	5	140	23	125	4	0	0	989
1	1,082	24	1,223	18	532	12	186	24	93	2	1,067	13	4,183
2	1,211	20	1,346	20	675	20	203	20	179	3	0	0	3,614
3	1,652	25	1,054	13	516	6	214	25	141	3	0	0	3,577
計	29,159	292	21,503	194	5,708	118	2,618	292	2,487	53	1,067	13	62,542
					・出前講座を除く ・埋文センター 速報展を含む				・p55、56 出前 講座に同じ				

入館者数等推移

区分 年度	常設展示室	企画展示室	講演講座等 (出前講座含む)	閲覧室	合計
平成6年度	50,375	34,685	1,033	6,797	92,890
7年度	99,478	23,470	3,086	11,887	137,921
8年度	74,438	21,029	2,299	10,466	108,232
9年度	59,968	15,585	3,133	8,067	86,753
10年度	53,651	32,586	3,608	8,362	98,207
11年度	53,814	30,392	3,617	8,461	96,284
12年度	47,604	25,781	3,540	9,355	86,280
13年度	46,303	34,352	4,346	7,573	92,574
14年度	45,106	33,887	6,384	7,566	92,943
15年度	43,813	33,400	12,952	7,070	97,235
16年度	43,889	32,797	12,429	6,287	95,402
17年度	44,855	33,585	12,263	8,232	98,935
18年度	46,362	37,866	14,360	13,642	112,230
19年度	46,874	42,691	15,217	12,454	117,236
20年度	41,790	32,316	13,089	10,815	98,010
21年度	41,089	32,507	14,774	10,002	98,372
22年度	40,839	29,969	12,175	9,916	92,899
23年度	43,383	33,676	11,057	6,118	94,234
24年度	42,154	37,674	11,953	7,201	98,982
25年度	39,323	32,603	13,091	7,205	92,222
26年度	39,897	34,614	21,004	7,855	103,370
27年度	41,609	31,886	24,536	6,963	104,994
28年度	44,673	32,199	31,424	4,094	112,390
29年度	40,765	25,780	32,263	4,244	103,052
30年度	40,002	26,848	30,743	3,731	101,324
令和元年度	54,247	40,950	23,095	4,024	122,316
令和2年度	21,764	16,127	3,364	2,523	43,778
令和3年度	25,831	22,162	30,649	2,419	81,061
令和4年度	25,689	18,929	19,048	1,513	65,179
令和5年度	24,493	16,847	22,747	2,446	66,533
令和6年度	29,159	21,503	9,262	2,618	62,542
合計	1,393,237	918,696	422,541	219,906	2,954,380

※常設展示室は巡回展の人数を含む。

企画展等入館者数

企＝企画展

季＝季節展

区分 年度	名 称	期 日	入館者数
平成6年度 企画展	開館記念 赤い土器のクニ	11/3～12/11 38日	29,848
平成7年度 夏企	絵図にみる信濃 ―江戸時代の村や町―	7/15～8/20 32日	7,095
秋企	信濃における戦国争乱の世界	10/21～11/26 30日	10,873
平成8年度 夏企	縄文人の一生 ―北村遺跡に生きた人びと―	7/20～8/25 32日	8,228
秋企	木簡が語る古代の信濃 ―掘り出された地方行政と暮らし―	10/5～11/10 31日	8,450
平成9年度 夏企	殖産興業と万国博覧会―明治期における長野県と世界の交流―	7/19～8/24 32日	5,538
秋企	長野県にみる世界の文化 ―シルクの歴史と文化―	10/12～11/16 31日	7,011
館蔵品展	平成9年度新指定の県宝をみよう	1/31～3/1 29日	1,174
平成10年度 特別展示	屋代木簡展	6/5～6/20 14日	-
夏企	古代シナノの武器と馬具 ―古墳時代の武人のすがた―	7/18～8/23 32日	5,950

秋企	諏訪信仰の祭りと文化	10/17～11/23	33日	7,912
平成11年度 館蔵品展	館蔵品展	4/4～5/9	33日	9,866
夏企	信濃名宝展 ー鎌倉時代の文化財ー	7/16～8/22	38日	7,458
秋企	蘭学万華鏡 ー江戸時代 信濃の科学技術ー	10/9～11/14	32日	7,321
考古資料特別公開	運動する縄文土器・里帰りした信州の出土品ー重文新指定時代田町川原田遺跡出土品とその周辺ー	1/15～2/27	38日	3,719
平成12年度 夏企	千曲川歴史紀行 ーともに生きた人びとの記録ー	7/22～8/27	32日	4,443
秋企	歴史の宝庫 秋葉みち ー信濃古道をたどるー	10/5～11/12	34日	7,807
長野県の20世紀展	信州に生きた20世紀の女たち	12/12～1/28	36日	2,117
平成13年度 館蔵品展	屏風の世界	5/29～7/1	30日	5,096
夏企	阿久遺跡と縄文人の世界	7/20～9/2	40日	4,935
秋企	文人墨客がつどう ー十九世紀北信濃の文芸ネットワークー	10/2～11/11	36日	9,332
特別展示	雛人形と雛道具『天下の糸平』田中家コレクション	1/26～3/3	32日	3,431
平成14年度テーマ	北村縄文人の時代 ー仮面土偶をつくった人びとー	5/25～6/30	32日	7,671
夏企	世界と地域を見つめた長野県教育 ー信山育材ー	7/20～9/1	39日	3,113
秋企	開設四百年 中山道 ー信濃二十六宿と間宿ー	10/5～11/17	38日	9,318
特別公開	雛人形と雛道具 ー田中平八コレクションと北信濃の雛人形ー	1/25～3/2	31日	3,545
平成15年度 テーマ	おらが善光寺さん ー秘仏の寺ものがたりー	5/16～6/22	33日	6,579
夏企	SOSふるさとの文化財をすくえー伝えたい古人の心と技ー	7/15～8/24	36日	4,287
原爆展	ヒロシマ・ナガサキ巡回原爆展ー風化させてはならない歴史ー	9/27～10/26	26日	-
秋企	もみじ 夕焼け 里の秋 ー唱歌・童謡のふるさと信州ー	9/27～11/9	38日	9,426
特別公開	重要文化財神子柴遺跡の石器群 ー石の時代の槍と斧ー	1/10～2/29	43日	3,944
特別公開	雛人形と雛道具 ー子どもの祝いー	1/10～2/29	43日	3,944
平成16年度 春季	神がみへの願い 人びとの祈り ー古代のまつりー	5/22～6/27	32日	4,386
夏季	善光寺道 ー街道を行き来した人・物・文化ー	7/17～8/29	38日	4,860
秋季	中世信濃武士意外伝 ー義仲から幸村までー	10/2～11/14	38日	10,543
新春特別公開	新春屏風絵図展	1/1～1/16	14日	462
冬季	天下の糸平ゆかりの雛人形 ー横浜を目指した信州の生糸商人たちー	1/29～3/6	32日	2,954
平成17年度特別展	里帰りした赤羽刀 ーGHQ接收刀剣の輝きー	5/21～6/26	37日	4,057
夏企	地下4mの「縄文伝説」ー屋代遺跡群 愛と出会いの4千年ー	7/16～9/4	45日	5,012
秋企	信州舞台物語ー団十郎も須磨子もやってきたー	10/1～11/13	38日	8,877
特別公開	六角木幢 極楽浄土への道しるべ	11/19～1/15	42日	2,867
特別公開	雛人形と雛道具 ー身だしなみとよそおいー	1/28～3/5	32日	3,498
平成18年度 春季	古瓦からみた信濃の古代ー神津墓・米山ー政府資料を中心にー	5/19～6/25	33日	6,979
夏企	幕末の信州 ー時代を駆けた草莽たちー	7/22～8/27	32日	4,212
秋企	戦時下の子どもたち ー信州の一五年戦争ー	9/30～11/12	33日	10,004
冬季	信州の歴史遺産Ⅰ ー新指定長野県宝と歴史館のお宝ー	11/25～1/8	35日	2,434
平成19年度 春季	埋もれていた信州遺産の発見ー長野県埋蔵文化財センター25年の歩みからー	5/19～7/1	38日	5,962
夏季	絵地図の魅力 ー私の城下町ー	7/21～8/19	27日	3,374
文巡回展	発掘された日本列島2007 ー新発見考古速報展ー	9/1～9/30	26日	5,906
秋企	武田・上杉・信濃武士【前期】	10/13～11/18	32日	9,084
秋企	武田・上杉・信濃武士【後期】	12/8～1/14	28日	3,143
冬季	信濃の人形 ー雛人形と郷土の人形ー	1/26～3/2	32日	2,362
平成20年度 春季	うつわは語る ー縄文から近世までー	5/24～6/29	32日	5,426
夏企	大庄屋って何？安曇郡・清水家文書の350年	7/19～8/24	33日	2,625
秋企	よみがえる氷河時代の狩人	9/25～11/24	53日	11,145
冬季	信州の歴史遺産Ⅱ ー長野県宝と歴史館のお宝ー	12/13～3/1	61日	3,020
平成21年度 春季	善光寺信仰ー流転と遍歴の動化ー	4/11～6/7	51日	11,776
夏季	信州 知の遺産の系譜 ー歴史を記録した先人たちー	8/1～9/6	32日	4,248
秋企	山を越え川に沿う ー信州弥生文化の確立ー	9/26～11/23	50日	8,896

冬季	信州の歴史遺産Ⅲー諏訪地域の“いのり”と“まつり”ー	12/12~2/28	60日	2,097
平成22年度 春企	ひめゆり 平和への祈り [沖縄戦から65年]	5/29~7/11	38日	8,728
夏季	あの世への想いー日本人はどのように埋葬されてきたかー	7/31~8/29	26日	2,552
秋企	東の牛伏寺 西の若澤寺ー古代に創建された松本平の二つの寺院ー	9/18~11/7	42日	8,272
冬季	信州の歴史遺産Ⅳー文字のちから 墨書土器から新聞の時代までー	12/11~2/27	61日	2,741
平成23年度 春季	武士の家宝ーかたりつがれた御家の由緒ー	5/28~7/3	32日	8,901
夏企	激動を生きぬくー信濃武士市河氏の400年ー	7/23~9/4	39日	4,731
秋企	観光地の描き方ー浮世絵版画から観光パンフレットまでー	9/23~11/13	44日	6,164
冬季	信州の歴史遺産Ⅴー郷土のお宝『重文・県宝』を見ようー	12/10~2/26	44日	3,302
小企画展	ありがとう墨代線	3/10~5/13	58日	-
平成24年度 春企	長野県の満洲移民ー三つの大日向をたどるー	5/26~7/16	45日	8,871
夏季	「戦争と宣伝」 阿智村ポスターが語る	7/28~9/2	33日	5,209
秋企	縄文土器展 前期展 八ヶ岳山麓の名作	9/15~11/4	44日	6,871
	〃 後期展 千曲川流域、土器1万年の旅	11/10~12/16	32日	2,669
冬季	愛娘の調度品ー姫君様の婚礼道具から雛人形までー	1/12~3/3	39日	3,668
平成25年度 夏企	信州の野球史	6/29~8/18	45日	4,608
	ー大正から昭和初期にかけて全国屈指の強さを誇った中等学校野球ー			
秋企	刃が語る信濃ー武器、象徴、そして芸術へー	9/14~11/4	45日	7,904
冬季	山国の水害ー戊の満水と善光寺地震ー	11/23~1/19	41日	2,573
館蔵品	戦前の観光信州ーパンフレットでたどる昭和初期の鉄道・山岳・温泉ー	2/1~3/9	29日	1,130
速報展	長野県の遺跡発掘2014ー長野県埋蔵文化財センター速報展ー	3/21~6/1	65日	12,680
平成26年度				
館蔵品	歴史に煌めく日本の美ー信濃の歴史を彩る名品たちー	6/14~7/13	26日	4,794
夏季	山とともに生きるー「信州山の日」制定を記念してー	7/26~8/31	33日	4,592
速報展	長野県の遺跡発掘2014 (伊那会場)	7/19~8/24	31日	1,602
秋企	信濃武士の決断ー信長・秀吉・家康の時代ー	9/27~11/9	38日	7,052
冬季	縄文土器展 デコボコかざりのはじまり	11/29~2/1	45日	2,131
平成27年度 春企	山と海の廻廊をゆくー信濃と北陸をつなぐ道ー	(4/1)~5/17	42日	7,390
速報展	長野県の遺跡発掘2015	5/30~7/12	37日	8,332
夏企	長野県民の1945ー疎開・動員体験と上原良司ー	7/25~9/15	45日	5,643
秋企	樹木と人の交渉史ー発掘された木製品、樹木信仰のみる3万年の歴史ー	10/3~11/29	49日	6,570
冬企	地図の「明治維新」ー残された明治初期の町村地図ー	12/19~2/28	58日	2,838
巡回展	埋蔵文化財センター速報展 長野県の遺跡発掘2016	3/12~6/26	95日	18,438
平成28年度 夏企	夢をのせた信州の鉄道ー失われた鉄道の軌跡ー	7/9~8/28	45日	4,192
秋企	木曾の宝ー文化の十字路ー	9/17~11/27	61日	6,782
冬季	信濃国の城と城下町ー発掘調査が謎を解くー	12/17~2/26	55日	2,927
巡回展	長野県の遺跡発掘2017	3/18~(3/31)	12日	973
平成29年度巡回展	長野県の遺跡発掘2017	4/1~6/25	75日	12,066
夏企	長野県誕生！ー公文書・古文書から読みとくー	7/8~8/28	46日	3,089
秋企	縄文土器展Ⅱ 進化する縄文土器ー流れるもようど区画もようー	9/16~11/26	61日	7,727
冬季	田中芳男ー「虫捕御用」の明治維新	12/16~2/25	54日	2,292
巡回展	長野県の遺跡発掘2018	3/17~(3/31)	12日	606
平成30年度巡回展	長野県の遺跡発掘2018	4/1~6/3	56日	8,485
夏企	君は河童を見たか！ー水辺の出会いー	6/16~7/29	38日	5,594
秋企	最古の信州ブランド黒曜石 先史社会の石材獲得と流通	9/15~11/25	62日	8,848
冬季	自然を見つめた田淵行男展	12/15~2/17	50日	3,063
巡回展	長野県の考古学2019「長野県の考古学 時代を映す“匠”の技」	3/16~(3/31)	13日	858
平成31年度巡回展	長野県の考古学2019	4/1~6/23	73日	12,117
夏季	長野県立歴史館の名品	7/6~8/18	39日	3,840

秋企	戦国 小笠原三代 長時・貞慶・秀政	9/7～10/14 33日	5,049
特別企画	土偶展前期展 国宝土偶～縄文文化の多様な個性～	10/26～11/10 16日	15,041
特別企画	土偶展後期展 中部高地の土偶～暮らしに寄り添う小さな女神～	11/23～2/2 57日	4,127
春季展	長野県の考古学2020「長野県の考古学 いのちをつなぐ技と交流」	3/14～(3/31) 6日	240
令和2年度春季展	長野県の考古学2020	4/1～6/14 24日	642
夏企	地酒王国 信州	7/11～8/23 39日	2,646
秋企	稲作とクニの誕生 ー信州と北部九州ー	9/15～11/29 65日	9,519
冬企	洋画家・書家・コレクター 中村不折ー伊那谷から世界へ	1/9～2/21 37日	2,432
所蔵品展	至宝の名品ー学芸員のイチ押し 絵画工芸編ー	3/13～(3/31) 16日	888
令和3年度所蔵品展	至宝の名品ー学芸員のイチ押し 絵画工芸編ー	4/1～6/13 63日	5,590
夏企	青少年義勇軍が見た満州ー創られた大陸の夢	7/10～8/22 38日	4,858
秋企	全盛期の縄文土器ー圧倒する褶曲文ー	9/18～11/23 55日	8,562
冬企	郷愁の画家 丸山晚霞 ー師友とその時代	1/15～2/27 37日	2,371
所蔵品展	至宝の名品 ー学芸員のイチオシ 考古資料編ー	3/19～(3/31) 11日	781
令和4年度所蔵品展	至宝の名品 ー学芸員のイチオシ 考古資料編ー	4/1～6/12 62日	6,658
夏企	山伏ー佐久の修験 大井法華堂の世界ー	7/9～8/21 37日	4,078
秋企	諏訪と武田氏	10/8～11/20 37日	5,287
冬企	高遠藩の遺産ー最後の藩主が残したものー	1/14～2/26 37日	2,249
所蔵品展	至宝の名品 ー学芸員のイチオシ 古文書編ー	3/18～(3/31) 11日	657
令和5年度所蔵品展	至宝の名品 ー学芸員のイチオシ 古文書編ー	4/1～5/28 50日	4,683
夏企	主張する古墳ー新たなシナノの古墳時代像ー	7/1～8/20 44日	4,936
秋企	信州のやきもの紀行ー江戸から明治へー	10/7～11/26 44日	4,185
冬企	和田 英 ー糸づくりに懸けた明治の女性ー	1/13～2/25 38日	2,478
所蔵品展	至宝の名品 ー学芸員のイチオシ 近現代歴史資料編ー	3/23～(3/31) 8日	565
令和6年度			
令和6年度所蔵品展	至宝の名品 ー学芸員のイチオシ 近現代歴史資料編ー	4/1～6/16 58日	7,861
夏企	疾風怒濤 木曾義仲ー文書と絵画で見る義仲の一生ー	7/13～8/25 39日	4,793
秋企	描かれた川中島合戦ー屏風・錦絵にみる戦の世界ー	10/12～11/24 44日	2,569
冬企	佐久間象散遺墨展ー書は人なりー	1/11～2/24 38日	1,054
所蔵品展	原始ー開館30年のあゆみ展ー	3/15～3/30 14日	

ミニ展示	「県宝 六角宝幢」(長野県の遺跡発掘2017同時開催)	12,066人 75日
ミニ展示	「県歌 50 年」作詞家「浅井冽の書を見る」	965人 26日
ミニ展示	「信州の野球史 夏」	996人 32日
ミニ展示	「平成とともに歩んだ歴史館」(ポスター展)	1,121人 50日
ミニ展示	「掘るしん 2021」(長野県埋蔵文化財センター速報展)	1,993人 50日
ミニ展示	「掘るしん 2022」(長野県埋蔵文化財センター速報展)	3,427人 73日

IV 収蔵史資料数

区分 年度	展示資料 (件)	増加数 (件)	図書・逐次刊 行物 (冊)	増加数 (冊)	考古資料 (箱)	受入数 (箱)	文献史料 (点)	増加数 (点)
平成6年度	1,996		27,156		4,930		79,060	
7年度	2,015	19	30,628	3,472	6,202	1,271	96,165	17,105
8年度	2,034	19	34,470	3,842	7,259	1,057	109,711	13,546
9年度	2,051	17	38,533	4,063	8,415	1,156	117,392	7,681
10年度	2,107	56	44,888	6,355	9,886	1,471	122,944	5,552
11年度	2,141	34	48,748	3,860	11,685	1,799	131,498	8,554
12年度	2,156	15	59,590	10,842	14,724	3,039	136,191	4,693
13年度	2,182	26	64,405	4,815	17,614	2,890	138,360	2,169
14年度	2,197	15	69,306	4,901	19,982	2,368	148,562	10,202

15 年度	2,217	20	73,292	3,986	21,199	1,217	153,394	4,832
16 年度	2,238	21	77,364	4,072	23,302	2,103	155,339	1,945
17 年度	2,250	12	81,196	3,832	25,223	1,921	156,921	1,582
18 年度	2,264	14	85,133	3,937	25,655	1,571	160,595	3,674
19 年度	2,278	14	87,216	2,083	26,806	1,150	162,268	1,673
20 年度	2,282	4	95,555	8,339	27,309	503	163,135	867
21 年度	2,287	5	101,730	6,175	27,856	547	165,496	2,361
22 年度	2,293	6	103,577	1,847	27,974	118	168,485	2,989
23 年度	2,295	2	107,308	3,731	28,296	302	169,555	1,070
24 年度	2,296	1	111,124	3,816	28,707	971	172,318	2,763
25 年度	2,299	3	115,553	4,429	28,419	▲ 288	287,611	115,293
26 年度	2,301	2	119,736	4,183	29,204	785	291,848	4,237
27 年度	2,304	3	122,762	3,026	29,204	0	295,611	3,763
28 年度	2,308	4	125,628	2,866	29,204	0	281,897	▲ 13,714
29 年度	2,315	7	128,344	2,716	29,204	0	301,999	20,102
30 年度	2,320	5	132,036	3,692	29,204	0	311,453	9,454
令和元年度	2,328	8	134,573	2,537	29,222	18	346,729	35,276
2 年度	2,333	5	145,306	10,733	29,222	0	365,011	18,282
3 年度	2,418]	85	147,336	2,030	29,222	0	379,745	14,734
4 年度	2,418	0	150,618	2,304	29,222	0	395,971	16,226
5 年度	2,420	2	152,398	1,780	29,222	0	412,599	16,628
6 年度	2,423	3	154,183	1,785	29,382	160	429,282	16,683

※考古資料の総数は収納用箱数で計上しており、この他に箱収納していない資料に木製品がある。令和5年度時点で保存処理済

(PEG 処理等) の点数は、32,992 点があり、当館第2収蔵庫で収納している。

※平成28年度の文献史料総数は、重複分があったため修正した。

※文献史料数は、整理を終了した確定数であり、必ずしも受入数とは一致しない。

※図書・逐次刊行物は、登録数を計上している。

一日誌

- 5月 5日(木) 歴史館でこどもの日①記念品プレゼント②どきもドキ
18日(土) 県立歴史館講座①笹本正治特別館長
「薙鎌を知っていますか」
18日(土) 古文書講座上級①、古文書演習
23日(木) 古文書講座初級B①・中級B①
長野県博物館協議会総会・研修会(伊那市)
25日(土) 古文書講座中級A①
26日(日) 古文書講座初級A①
30日(木) 館蔵文書を読む会①
30日(木) 長野県史料保存活用協議会総会・講習会①(須坂市文書館)
6月 1日(木) 考古学セミナー研究報告会
飯田市川原遺跡(長野県埋蔵文化財センター 春日皓介氏)
木島平村根塚遺跡(木島平村教育委員会 室正一氏)
上田市上田城跡(上田市教育委員会 和根崎剛氏)
9日(日) 科野のムラお田植えまつり(入館無料)
15日(土) 古文書講座上級②、古文書演習
県立歴史館講座② 大町岳陽高校教諭 小野和英氏
「岩波其残について」
16日(日) 所蔵品展「至宝の名品 学芸員のイチオシ 近現代歴史資料編
～長野県民がみた幕末から現代～」終了
20日(木) 古文書講座初級B②・中級B②
22日(土) 古文書講座中級A②
23日(日) 古文書講座初級A②
27日(木) 館蔵文書を読む会②
22日(木) 長野県史料保存活用協議会総会・講習会①(南木曾町)
7月 6日(土) 県立歴史館講座③水澤敦子総合情報課長「県宝屋代木簡出土30周年特別講座」
9日(火) 長野県総合教育センター研修
12日(金) 夏季企画展「疾風怒濤 木曾義仲～文書と絵画でみる義仲の一生～」
オープニングセレモニー
13日(土) 夏季企画展「疾風怒濤 木曾義仲～文書と絵画でみる義仲の一生～」開始
開館30周年記念 歴史館寄席「源平盛衰記」落語家 立川談慶師匠
18日(木) 古文書講座初級B③・中級B③
19日(金) 令和6年度県立歴史館資料調査員会議
20日(土) 古文書講座上級③古文書演習③
24日(水) 令和6年度長野県立歴史館協議会
25日(木) 令和6年度県立歴史館資料委員会
館蔵文書を読む会③
27日(土) 夏季企画展講演会①富山大学講師 長村祥知氏
「源頼朝と木曾義仲」
古文書講座中級A③
28日(日) 古文書講座初級A③
30日(火) おでかけ歴史館 高遠進徳館
8月 2日(金) ティーンズ古文書講座①
3日(土) ティーンズ古文書講座②
歴史館で夏休み①プラ板マスコットづくり②記念品プレゼント
8日(木) ティーンズ考古学講座①
9日(金) ティーンズ考古学講座②
10日(土) 夏季企画展講演会②村石正行文献史料課長
「木曾義仲武将列伝！」

- 17日(土) 古文書講座中級A④
18日(日) 古文書講座初級A④
22日(木) 古文書講座初級B④・中級B④
24日(土) 古文書講座上級④、古文書演習
夏季企画展講演会③村石正行文献史料課長
「義仲 北陸路をゆくー義仲合戦ばなしー」
25日(日) 夏季企画展「疾風怒濤 木曾義仲～文書と絵画でみる義仲の一生～」終了
29日(日) 館蔵文書を読む会④
9月 5日(木) 信州大学工学部学芸員養成講座「博物館展示論」(当館)
9日(月) 全館燻蒸(常設展示室)のため休館(～19日)
20日(金) 燻蒸終了に伴い、開館
21日(土) 県立歴史館出前講座①(大桑村)
26日(木) 館蔵文書を読む会⑤
28日(土) 古文書講座上級⑤・古文書演習
県立歴史館講座③櫻井秀雄考古資料課長「峠の祭祀」
10月 3日(木) 古文書講座初級B⑤中級B⑤
5日(土) 県立歴史館出前講座②(諏訪市)
古文書講座中級A⑤
6日(日) 古文書講座初級A⑤
10日(木) 県立歴史館古文書愛好会探訪会(上越市)
11日(金) 秋季企画展「描かれた川中島合戦～屏風・錦絵にみる戦の世界～」
オープニングセレモニー
8日(土) 秋季企画展「描かれた川中島合戦～屏風・錦絵にみる戦の世界～」開始
19日(土) 秋季企画展講演会①笹本正治特別館長「川中島合戦の真実」
20日(日) 考古学体験講座①石丸敦史考古資料課文化財専門員 ほか
「遺跡から出土した木製品～木製品の観察と保存処理実習～」
24日(木) 館蔵文書を読む会⑥
25日(金) 長野県史料保存活用講習会②(当館第1研修室)
26日(土) 県立歴史館出前講座③(箕輪町)
秋季企画展ギャラリートーク①
11月 2日(土) 秋季企画展講演会②村石正行文献史料課長
「新・川中島合戦論」
3日(日) 30周年開館記念日・千曲市森將軍塚まつり(入館無料)
ポスター展示 企画展から振り返る歴史館の30年(～3月21日)
秋季企画展ギャラリートーク
9日(土) 古文書フォローアップ講座(上級・中級)
10日(日) 古文書フォローアップ講座(初級)
11日(月) アーカイブズカレッジ(～17日)
16日(土) 秋季企画展講演会③守屋正彦氏(山梨県立博物館長)
「絵画に見る川中島合戦」
17日(日) 考古学体験講座②白沢勝彦考古資料課文化財指導主事
「遺跡から出土した金属製品～金属製品の観察と科学分析実習～」
17日(日) 長野県史料保存活用協議会講習会③(アーカイブズカレッジ共催)
21日(木) 館蔵文書を読む会⑦
23日(土) 須坂市連携「須坂市民の日」
24日(日) 秋季企画展「描かれた川中島合戦～屏風・錦絵にみる戦の世界～」終了
27日(水) 全国博物館大会(松本市 ～29日)
30日(土) 県立歴史館出前講座④(中川村)
12月 1日(日) イベント「クリスマスリースづくり」
7日(土) 近世史セミナー
「近世後期の松本藩における治水政策と地域社会」(宮坂和弥氏)
「近世の千曲川水害と流域村々」(山崎圭氏)
「絵図でみる千曲川の川筋変更(松代藩の瀬直し)の再考」(山浦直人氏)
14日(土) 県立歴史館講座⑤勝田勝則総合情報課文化財指導主事
「八ヶ岳山麓の縄文中期文化」

- 15 日 (日) 考古学体験講座③西山克己考古資料課文化財指導主事 ほか
「遺跡から出土した土器～土師器と須恵器の観察と分析～」
- 19 日 (木) 館蔵資料を読む会⑧
- 1 月 10 日 (金) 冬季企画展「佐久間象山遺墨展～書は人なり～」オープニングセレモニー
- 11 日 (土) 冬季企画展「佐久間象山遺墨展～書は人なり～」開始
- 16 日 (木) お出かけ歴史館 岡谷市立長地小学校
- 17 日 (金) 古文書演習①
- 18 日 (土) 企業協賛 KOA の日 (入館無料)
①笹本正治特別館長による特別講演「川中島合戦とその後」
②プラ板マスコットづくり③縄文人になろう
古文書演習②
- 19 日 (日) 古文書演習③
- 24 日 (金) 古文書演習④
- 25 日 (土) 冬季企画展トークセッション「書家としての佐久間象山」
川村龍洲氏 (驪山館館長) 中村信宏氏 (台東区立書道博物館学芸員)
古文書演習⑤
- 26 日 (日) 古文書演習⑥
- 30 日 (木) 長野県史料保存活用連絡協議会講習会④ (～31 日)
- 31 日 (金) 古文書演習⑦
- 2 月 1 日 (土) 県立歴史館講座⑥白居易直之氏 (安曇野市史編纂専門調査会)
「善光寺平の古代木製品が語ることー石川条里遺跡の木製農具を中心としてー」
古文書演習⑧
- 2 日 (日) 古文書演習⑨
- 7 日 (金) 古文書演習⑩
- 8 日 (土) 古文書演習⑪
- 9 日 (日) 古文書演習⑫
- 13 日 (木) 信州大学工学部学芸員養成講座「博物館資料・メディア論」 (当館)
- 14 日 (金) 古文書演習⑬
- 15 日 (土) 冬季企画展講演会「佐久間象山研究の現在」降幡浩樹氏 (真田宝物館館長)
古文書演習⑭
- 16 日 (日) 古文書演習⑮
- 20 日 (木) 令和 6 年度博物館等関係職員研修会 (当館 長野県教育委員会主催)
- 21 日 (金) 令和 6 年度博物館等関係職員研修会 (当館 長野県博物館協議会主催)
信州大学工学部学芸員養成講座「博物館資料・メディア論」 (当館)
古文書演習⑯
- 22 日 (土) 古文書演習⑰古文書愛好会総会
- 23 日 (日) 古文書演習⑱
- 24 日 (月) 冬季企画展「佐久間象山遺墨展～書は人なり～」終了
- 18 日 (火) 第 1 回考古資料保存技術講習会
- 26 日 (火) 収蔵庫点検のため休館 (～2/28)
- 3 月 1 日 (土) 県立歴史館講座⑦「2025 年所蔵品展 原始編」町田勝則総合情報課文化財指導主事
- 6 日 (土) 第 2 回考古資料保存技術講習会
- 14 日 (金) 所蔵品展「原始～開館 30 年のあゆみ展～」オープニングセレモニー
- 15 日 (土) 所蔵品展「原始～開館 30 年のあゆみ展～」開始
- 20 日 (木) 古文書入門教室
親子映画会 (22・23 日も実施)
- 25 日 (火) お出かけ歴史館 木曽町日義公民館

長野県立歴史館年報 第27号 2024年度（令和6年度）

2025（令和7）年 7月発行

編集・発行 長野県立歴史館
〒387-0007 千曲市大字屋代 260-6
TEL 026-274-2000（代表）
FAX 026-274-3996
